

令和五年度
病院年報

伊東市民病院

伊東市民病院 2023 年度年報 巻頭言

関係者の皆様のご尽力により 2023 年度の年報が編集・出来上がりました。今、2023 年度を振り返ってご挨拶の文をしたためております。2023 年度になって未曾有の出来事であった COVID-19 パンデミック、所謂“コロナ禍”は過去になりつつあり、病院業務は日常の診療をとり戻しております。大きな院内クラスタを経験、“非常事態”を宣言して連日幹部を中心として対策に奔走したことが昨日のここのように思い出されます。コロナ禍によって激減した病床稼働数、救急受け入れ件数も回復しつつあり患者動向も以前に戻りつつあることを実感しております。そんななかで、コロナ禍に紛れて消えてしまった、超高齢化社会になりつつある地域の医療ニーズの検証、併せて病院機能の充実を考えることが急務になっています。伊東市においても少子高齢化の波はあつという間に届き拡がりを見せております。医療資源の減少と確保の困難さが日本中の地域において叫ばれる昨今です。われわれ伊東市民病院もコロナを越えて、新たな難題となる地域医療の確保、継続を念頭に邁進してゆかねばなりません。

年報中にはその年度毎の病院での診療内容を実績として見てとることができます。2023 年度はコロナ禍を越えてこんな形で次の一步を踏み出したのだなあ感慨しきりです。中身を振り返りながら、更に頑張ろうと勇気づけられるのも年報をひろげるいつもの思いです。この場をお借りして、一年間御指導・御協力をいただいた医師会、他施設、関係者の皆様に深謝申し上げます。そしてお忙しい中を年報の発刊に漕ぎつけていただいた編集委員の皆様に心より感謝申し上げます。

2024 年 12 月

伊東市民病院管理者 川合耕治

目 次

I. 概要、沿革	1
II. 現況と実績、業績等	
1. 診療部	
(1) 死亡統計、剖検とCPC	5
(2) 救急診療の現状	10
(3) 内科	14
リウマチ	17
(4) 消化器内科	18
(5) 循環器内科	19
(6) 小児科	21
(7) 外科	23
(8) 整形外科	27
(9) 脳神経外科	29
(10) 泌尿器科	30
(11) 産婦人科	31
(12) 耳鼻咽喉科	33
(13) 眼科	35
(14) 形成外科	36
(15) 皮膚科	37
(16) 麻酔科	38
(17) 放射線科	39
(18) 心療内科	40
(19) 総合診療科	41
2. 臨床研修センター・シミュレーションセンター	
(1) 臨床研修センター	43
(2) シミュレーションセンター	52

3. 医療技術部	
(1) 薬剤室	56
(2) 放射線室	62
(3) 臨床検査室	66
(4) 栄養室	71
(5) リハビリテーション室	74
(6) 臨床工学室	80
4. 看護部	
(1) 看護部総括	83
(2) 外来	101
(3) 手術室・中央材料室	102
(4) 集中治療室	103
(5) 3南病棟	104
(6) 4南病棟	105
(7) 4北病棟	106
(8) 5南病棟	107
(9) 5北病棟	108
(10) 在宅療養支援準備室	109
5. 事務部	
(1) 総務課	112
(2) 医事課	113
(3) 診療支援課	114
6. 医療安全管理室	115
7. 感染対策室	120
8. 診療情報管理室	122
9. 入退院支援室	123
10. 医療福祉相談室	125
11. ドック・健診センター	127
12. 認知症疾患医療センター	129

13. 医事統計	
(1) 入院患者数	132
(2) 外来患者数	135
(3) 救急患者、手術・主要検査件数	141
(4) 紹介・逆紹介件数	144
(5) 地域別患者数・分娩件数	149
14. その他	
(1) 指定・認定、土地、建物、設備等	150
(2) 施設基準一覧	150
(3) 主要医療機器一覧	152
(4) 組織図	159
(5) 職員の状況	160
(6) 委員会一覧	161
巻末資料	
(1) 合同ケースカンファレンス	164
(2) 院内研究発表会	165

I 概要、沿革

【名 称】

公益社団法人地域医療振興協会 伊東市民病院

【所在地】

〒414-0055 静岡県伊東市岡196番地の1

【経営形態】

開設者 伊東市

運営者 公益社団法人地域医療振興協会

指定管理者として管理する施設

伊東市が設置する地方自治法 244 条の規定に基づく住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設（公の施設）。伊東市は、伊東市病院事業の設置等に関する条例（平成 12 年条例第 35 号）第 9 条の第 1 項の規定により当協会を指定管理者として指定し、当協会に管理運営をさせている。当協会は、設置者との間で管理運営協議会を設け、管理運営等について協議することとしている。

【環境等】

伊豆半島の東玄関口、国際観光温泉文化都市として発展している伊東市（人口約 6.4 万人）の中心地より、西方 1.5 km の豊富な温泉に恵まれた温泉地区の高台に位置しており、東に温泉繁華街を隔て相模湾に浮かぶ初島や、三浦・房総の両半島を眺め、南は小室山から大室山へと広がる伊豆高原、西に遠笠山から連なる天城の山々を一望に眺め、四季を通じ温暖な海洋性気候と共に、医療環境としての立地条件に恵まれている。

【交 通】

J R伊東線伊東駅下車、東海バスにて 10 分（2.5 km）

私鉄伊豆急行線南伊東駅下車北西へ徒歩 10 分

【二次保健医療圏の状況】

伊東市の二次保健医療圏は、熱海・伊東保健医療圏であり、構成市は熱海市及び伊東市である。人口は伊東市 64 千人、熱海市 20 千人である。主な病院の設置状況は以下のとおりである。

伊東市

伊東市民病院	一般	250 床
--------	----	-------

熱海市

国際医療福祉大学附属熱海病院	一般	234 床
	療養	31 床
	感染症	4 床
熱海所記念病院	一般	144 床
熱海ちとせ病院	療養	89 床
熱海海の見える病院	一般	76 床
	療養	36 床

【病院の特徴】

当院は、伊東市はもとより伊豆半島東部の地域医療を担う急性期中核病院として機能しています。

- ・ 24 時間 365 日の救急医療体制を提供している。
- ・ 急性期入院医療を提供している。
- ・ 周産期医療を提供している。
- ・ 回復期リハビリテーション病棟を有し、回復期医療を提供している。
- ・ へき地診療所等への診療支援を行っている。
- ・ 臨床機能病院であり、研修医の育成・教育を行っている。
- ・ 地域医療研修センターとして、地域医療指向型卒後医師臨床研修プログラムを提供している。
- ・ 県指定の災害拠点病院であり、DMAT(災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム)を配備している。
- ・ 高度医療機器 (CT・MRI) を所有しており、共同利用を積極的に推進している。
- ・ 認知症疾患医療センターとして、地域における認知症対策に取り組んでいる。

【規模】

許可病床数 250 床

(内訳) 一般病床 194 床

回復期リハビリテーション病床 42 床

HCU 14 床

診療科目 内科、消化器内科、循環器内科、内分泌・代謝内科、心療内科、
小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、
泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、
リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科
計 19 診療科

【沿革】

昭和14年12月 2日	傷痍軍人伊東温泉療養所として創設
昭和20年12月 1日	国立伊東温泉療養所として発足
昭和25年 4月 1日	国立病院に転換し、国立伊東温泉病院となる
平成13年 1月31日	MRI・ANGIO装置導入
平成13年 2月26日	手術室・中央材料室増設及び改修工事竣工
平成13年 3月 1日	伊東市に経営移譲 市立伊東市民病院として開院
平成13年 3月20日	マルチスライスCT装置導入
平成15年 9月26日	多項目自動血球分析装置導入
〃	緊急マルチ自動分析装置導入
平成16年10月25日	全自動化学発光酸素免疫測定システム装置導入
平成17年10月24日	血管内超音波診断装置導入
平成19年 6月 8日	外来治療室新設及び内視鏡室移設工事竣工
平成19年12月 4日	マルチスライスCT装置更新
平成20年 9月16日	電子カルテシステム導入
平成20年11月17日	病院機能評価 Ver.5.0 認定
平成21年 4月 1日	生活習慣病予防健診事業開始
平成21年 7月 1日	DPC対象病院 認定
平成21年11月11日	人間ドック事業開始
平成22年 7月 1日	皮膚科標榜
平成24年 4月 1日	泌尿器科標榜
平成24年 9月 1日	消化器内科標榜
平成25年 3月 1日	新病院移転
〃	伊東市民病院に名称変更
〃	循環器内科標榜
平成25年10月 1日	ハイケアユニット病棟開棟
〃	回復期リハビリテーション病棟開棟
平成25年10月 1日	災害拠点病院認定
平成25年10月 1日	看護師宿舎竣工
平成27年 2月 1日	救急科標榜
平成29年 1月 1日	形成外科標榜
平成29年 2月 1日	認知症疾患医療センター認定
平成30年10月 1日	地域医療支援病院認定
平成30年11月 1日	病院機能評価 3rdG: Ver.2.0 認定
令和 2年 7月 1日	新型コロナウイルス重点医療機関 認定

伊東市民病院令和 5 年度死亡統計、剖検と CPC

令和 5 年度の死亡統計を死亡診断書より集計いたしました。直接死因の診断名は死亡診断書の診断名とカルテ内容を再検討して集計しました。

年齢別・性別集計を入院・外来別に表 1. に集計いたしました。死亡件数は女性が 47 歳から 102 歳まで 190 件、男性が 33 歳から 103 歳まで 252 件、全 442 件でした。

居住地別では(表 2. 令和 5 年度死亡統計 地区別集計)、伊東市内が 398、東伊豆町 16、伊豆市 1、熱海市 5、他 22 であります。

月別死亡数を入院と外来に分けて表 3. 令和 5 年度院内死亡統計 月別集計に示しました。入院死亡件数が 272 件、外来死亡件数が 169 件でした。

担当科別にみますと (表 4. 令和 5 年度院内死亡統計 診療科別集計)、内科が 356、総合診療科 34、外科 18、救急科 13、循環器内科 7、消化器内科 6、脳外科 3、産婦人科 3、耳鼻科 1、形成外科 1、の順となっております。

直接死因の診断名を一表 5. 令和 5 年度院内死亡統計 直接死因一に示しました。入院死亡原因は例年通り悪性腫瘍、肺炎、心不全、急性心筋梗塞、間質性肺炎が多く、以下、老衰、消化管出血の順でした。外来死亡原因では悪性腫瘍、原因不明死 (CPA)、急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離の順です。

悪性腫瘍 113 件についてその詳細を一表 6. 令和 5 年度院内死亡統計 悪性腫瘍による死亡一に示しました。肺癌、大腸癌 (直腸癌)、膵臓癌、胃癌、他の順です。膵臓癌死亡件数の増加が顕著でした。

剖検数は 3 件で詳細は一表 7. 令和 5 年度剖検症例一に示しました。

一表 8. 令和 5 年度 CPC一に示しましたように 6 回の CPC を開催し、6 例の剖検例について検討いたしました。内容の概ねを提示してありますが、今年度も内職員に止まらず医師会、関連病院の先生方にも参加していただき、症例の検証について活発な議論がなされました。

表1. 令和5年度死亡統計 年齢・性別集計

年齢	男	女	合計
0～19	0	0	0
20～29	0	0	0
30～39	2	0	2
40～49	3	2	5
50～59	6	4	10
60～69	21	5	26
70～79	62	36	98
80～89	105	78	183
90～99	51	62	113
100～	2	3	5
計	252	190	442

表2. 令和5年度死亡統計 地区別集計

	伊東市	熱海市	東伊豆町	西伊豆町	下田市	三島市	南伊豆町	伊豆市	県外	合計
男	223	2	9	1	1	1	1	1	13	252
女	175	3	7	0	0	0	0	0	5	190
計	398	5	16	1	1	1	1	1	18	442

表3. 令和5年度死亡統計 月別集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	24	19	21	18	33	18	20	19	21	31	24	24	272
外来	13	12	9	12	10	14	12	8	22	32	12	14	170
計	37	30	30	30	43	32	32	27	43	63	36	38	442

表4. 令和5年度死亡統計 診療科別集計

	内科	循環器内科	消化器内科	外科	脳神経外科	形成外科	耳鼻いんこう科	産婦人科	救急科	総合診療科	合計
男	205	3	4	10	2	1	0	0	8	19	252
女	151	4	2	8	1	0	1	3	5	15	190
計	356	7	6	18	3	1	1	3	13	34	442

表5. 令和5年度院内死亡統計 直接死因

診断名	ICD10	入院			外来			総計
		男	女	計	男	女	計	
悪性腫瘍	C80	41	35	76	19	18	37	113
肺炎	J189	27	9	36	5	2	7	43
原因不明の死亡(CPA)	R99	1	0	1	20	14	34	35
急性心不全	I509	11	8	19	4	5	9	28
急性心筋梗塞	I219	4	7	11	8	5	13	24
脳梗塞	I639	5	8	13	0	0	0	13
老衰	R54	6	4	10	1	1	2	12
胸・腹部大動脈瘤破裂	I713	1	3	4	2	5	7	11
間質性肺炎	J849	8	2	10	1	0	1	11
急性大動脈解離	I710	0	0	0	4	5	9	9
低酸素血症	R090	2	0	2	3	4	7	9
致死性不整脈	I490	1	3	4	4	0	4	8
くも膜下出血	I609	5	1	6	0	2	2	8
敗血症	A419	2	2	4	2	1	3	7
肝硬変症	K746	3	3	6	1	0	1	7
消化管出血	K929	3	3	6	0	1	1	7
脳出血	I619	3	2	5	1	0	1	6
腎不全	N19	1	0	1	0	4	4	5
尿路感染症	N390	2	2	4	1	0	1	5
溺水	T751	0	0	0	2	3	5	5
低酸素性脳症	G931	3	1	4	0	0	0	4
肺気腫	J439	1	0	1	3	0	3	4
腸閉塞	K567	1	2	3	1	0	1	4
COVID-19	U071	2	1	3	1	0	1	4
大動脈弁狭窄症	I350	1	1	2	1	0	1	3
出血性十二指腸潰瘍	K264	1	2	3	0	0	0	3
急性硬膜下血腫	S065	2	1	3	0	0	0	3
首吊り自殺	X70	0	0	0	3	0	3	3
偽膜性腸炎	A047	2	0	2	0	0	0	2
非結核性抗酸菌症	A319	0	1	1	0	1	1	2
虚血性心疾患	I259	0	0	0	2	0	2	2
閉塞性動脈硬化症	I706	2	0	2	0	0	0	2
膿胸	J869	2	0	2	0	0	0	2
気胸	J939	1	0	1	1	0	1	2
非閉塞性腸間膜虚血	K550	1	1	2	0	0	0	2
胆管炎	K830	0	1	1	0	1	1	2
急性腎障害	N288	1	1	2	0	0	0	2
心原性ショック	R570	0	1	1	0	1	1	2
低体温	T68	2	0	2	0	0	0	2
活動性肺結核	A162	1	0	1	0	0	0	1
下肢ガス壊疽	A480	1	0	1	0	0	0	1
カンジダ血症	B379	1	0	1	0	0	0	1
小球性貧血	D508	0	1	1	0	0	0	1
血球貪食症候群	D763	0	0	0	0	1	1	1
糖尿病性ケトアシドーシス	E111	0	0	0	0	1	1	1
心アミロイドーシス	E854+I431*	1	0	1	0	0	0	1
低ナトリウム血症	E871	0	1	1	0	0	0	1
レビー小体型認知症	G318+F028*	0	0	0	1	0	1	1
肺血栓塞栓症	I269	0	0	0	1	0	1	1
心タンポナーデ	I319	0	0	0	0	1	1	1
感染性心内膜炎	I330	0	1	1	0	0	0	1
大動脈弁閉鎖不全症	I352	0	1	1	0	0	0	1
完全房室ブロック	I442	0	1	1	0	0	0	1

急性呼吸窮迫症候群	J80	1	0	1	0	0	0	1
クローン病	K509	1	0	1	0	0	0	1
結腸穿孔	K631	0	1	1	0	0	0	1
膠原病性間質性肺炎	M351+J991*	0	1	1	0	0	0	1
廃用症候群	M6259	0	1	1	0	0	0	1
急性巣状細菌性腎炎	N10	1	0	1	0	0	0	1
結石性腎盂腎炎	N209	0	1	1	0	0	0	1
CO2ナルコーシス	R068	1	0	1	0	0	0	1
胸膜炎	R091	1	0	1	0	0	0	1
出血性ショック	R571	0	0	0	1	0	1	1
脳挫傷	S0620	1	0	1	0	0	0	1
骨盤骨折	S3280	0	0	0	1	0	1	1
		158	114	272	94	76	170	442

表6. 令和5年度院内死亡統計 悪性腫瘍による死亡

診断名	ICD10	男	女	計
肺癌	C349	12	13	25
膀胱癌	C259	8	6	14
大腸癌	C189	5	7	12
胃癌	C169	7	4	11
直腸癌	C20	5	2	7
乳癌	C509	0	7	7
遠位胆管癌	C240	5	1	6
肝癌	C220	2	2	4
前立腺癌	C61	3	0	3
膀胱癌	C679	3	0	3
咽頭癌	C139	1	1	2
食道癌	C159	2	0	2
子宮体癌	C549	0	2	2
腎細胞癌	C64	1	1	2
原発不明癌	C80	1	1	2
上顎歯肉癌	C030	1	0	1
歯肉癌	C039	0	1	1
耳下腺癌	C07	0	1	1
十二指腸癌	C170	1	0	1
上顎洞癌	C310	1	0	1
悪性黒色腫	C439	0	1	1
子宮頸癌	C539	0	1	1
子宮内膜間質肉腫	C541	0	1	1
卵巣癌	C56	0	1	1
悪性リンパ腫	C859	1	0	1
多発性骨髄腫	C900	1	0	1
総計		60	53	113

表7. 令和5年度剖検症例

No.	剖検日	年齢と性	診断名
1	令和5年6月	80歳代、男性	原発性肺小細胞癌の疑い 転移性骨腫瘍
2	令和5年11月	80歳代、女性	慢性心不全の急性増悪
3	令和5年11月	90歳代、女性	胸腔出血

表8. 令和5年度CPC

第1回（第90回） 令和5年4月17日

【症例】80歳代 男性

【概要】「高血糖高浸透圧症候群が原因と思われる意識障害に腸管虚血の合併がう疑われた一例」

【病理診断】①非閉塞性腸管虚血 ②コロナ感染症治療後 両側気管支肺炎 他

【病理示説】大野 水季(研修医)、病理検査科 平野 博嗣

【臨床担当医】柴沼 正(研修医)、内科 庄司 亮、川合 耕治

第2回（第91回） 令和5年6月19日

【症例】70歳代 男性

【概要】「急性腎盂腎炎と気管支肺炎による敗血症性ショックで死亡した一例」

【病理診断】①敗血症 肺炎 ②肝萎縮 ③左心室求心性肥大 ④心のう液 両側胸水 他

【病理示説】富澤 央(研修医)、病理検査科 平野 博嗣

【臨床担当医】井上 晶博(研修医)、内科 小野田 圭佑

第3回（第92回） 令和5年8月21日

【症例】90歳代 男性

【概要】「肺炎に十二指腸潰瘍出血を併発し、第5病日にショック状態となり死亡に至った70歳代男性」

【病理診断】①急性出血性十二指腸潰瘍 ②肝硬変 ③肺炎 他

【病理示説】柴沼 正(研修医)、病理検査科 東京医科大学病理診断科 沖村 明

【臨床担当医】上原 弘成(研修医)、総合診療科 田中 まゆみ

第4回（第93回） 令和5年10月16日

【症例】80歳代 男性

【概要】「腰痛を主訴に来院し多発転移を認め、急速な経過で死亡した原発不明悪性腫瘍の一例」

【病理診断】①左原発性肺小細胞癌 ②多臓器転移 肝、脾、脾、両側副腎、骨、リンパ節 ③左心室肥大 他

【病理示説】牛嶋 紗里衣(研修医)、病理検査科 平野 博嗣

【臨床担当医】富澤 央(研修医)、総合診療科 田中 まゆみ

第5回（第94回） 令和5年12月18日

【症例】80歳代 女性

【概要】「膠原病性間質性肺炎でHOT導入中に心筋梗塞を発症して保存的治療で第11病日に死亡した80歳代女性」

【病理診断】①冠動脈硬化・3枝病変 ②心巣状線維化 ③膵臓癌 ④間質性肺炎 他

【病理示説】春山 高毅(研修医)、病理検査科 平野 博嗣

【臨床担当医】濱野 一太(研修医)、総合診療科 田中 まゆみ

第6回（第95回） 令和6年2月19日

【症例】90歳代 女性

【概要】「大腿骨髄内固定術後8日目に急変し約3時間の経過で死亡した93歳女性」

【病理診断】①肝硬変 ②門脈圧亢進症(巨大脾腫、腹水、胃上部静脈拡張) ③直腸癌術後 ④うっ血性心不全 他

【病理示説】春山 高毅(研修医)、病理検査科 平野 博嗣

【臨床担当医】井上 晶博(研修医)(研修医)、総合診療科 田中 まゆみ

(2) 救急診療の現状

伊東市民病院の救急診療部門について令和5年度の診療状況と疾病統計について紹介します。救急診療は平日診療時間内の救急車搬送患者の診療と時間外（平日夜間、土・日・祭日）受診患者の診療です。当院の時間外診療は内科医1名、外科系医1名（外科・整形外科・脳外科・耳鼻科・麻酔科）、産婦人科医1名が常駐し、小児科他、各科がオンコール体制で対応しています。地域がら（伊東市周辺の医療圏で唯一の総合病院であること）所謂2.5次救急的な診療内容で運営されております。

令和5年度伊東市民病院救急部門について、その診療件数、入院件数を集計しました（表1～4）。時間内救急受診件数は総数1,474件（人）、時間外救急受診件数は総数5,413件（人）で、各月概ね合わせて4,632件（人）から7,204件（人）で、総数6,887件（人）でした。

入院件数は時間内688件（人）、時間外1,267件（人）、合計1,955件（人）でした。

救急車搬送件数は時間内が1,474件（人）、時間外3,004件（人）、計4,478件（人）でした。救急診療件数のうち救急車搬送件数の割合はおよそ65%と計算されます。

各科において救急診療での入院件数は時間内で約46.7%、時間外では約23.4%と計算されます。

救急診療の中で、その時のベッドの空き状況や診療体制を理由にやむを得ず他院に転送しなければならない症例もあり、これら他院への転送例214件（人）でした。

表1 救急件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間内	104	99	101	125	178	134	118	121	131	133	102	128	1474
時間外	359	495	357	494	542	461	436	407	466	563	388	445	5413
計	463	594	458	619	720	595	554	528	597	696	490	573	6887

表2 救急入院件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間内	53	48	53	60	84	67	59	55	57	58	38	56	688
時間外	97	120	80	110	117	108	110	104	107	130	81	103	1267
計	150	168	133	170	201	175	169	159	164	188	119	159	1955

表3 救急車搬送件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間内	104	99	101	125	178	134	118	121	131	133	102	128	1474
時間外	201	270	173	260	289	257	242	226	275	323	223	265	3004
計	305	369	274	385	467	391	360	347	406	456	325	393	4478

表4-1 時間内・科別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	74	76	68	87	130	110	81	81	96	106	74	96	1,079
小児科	1	1	2	2	6		1	1		2	1	1	18
外科	4	2	7	5	8	4	7	5	4	7	6	6	65
整形外科	20	18	17	24	19	17	23	23	21	12	19	18	231
脳神経外科	3	2	7	6	12	3	6	8	9	6	2	6	70
産婦人科	1							1	1			1	4
眼科					1			1					2
耳鼻咽喉科								1					1
泌尿器科	1			1	1								3
皮膚科													0
麻酔科													0
形成外科					1								1
合計	104	99	101	125	178	134	118	121	131	133	102	128	1,474
(うち入院数)	53	48	53	60	84	67	59	55	57	58	38	56	688
入院率	51.0%	48.5%	52.5%	48.0%	47.2%	50.0%	50.0%	45.5%	43.5%	43.6%	37.3%	43.8%	46.7%

表4-2 時間外・科別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	238	316	242	330	369	320	299	268	308	391	264	282	3,627
小児科	12	34	32	42	36	30	31	27	32	32	26	26	360
外科	30	33	26	39	38	33	29	24	38	38	26	39	393
整形外科	62	81	31	64	71	60	52	56	66	62	51	65	721
脳神経外科	11	22	21	15	15	14	11	22	16	30	12	30	219
産婦人科	1	3	2	2	3	1	5	2	2	3	2	1	27
眼科			1						1	1			3
耳鼻咽喉科	4	3	2		5	2	4	3	2	4	3	2	34
泌尿器科		3		1	1	1	2	2		1	3		14
皮膚科					3			1					4
麻酔科													0
形成外科	1			1	1		3	2	1	1	1		11
合計	359	495	357	494	542	461	436	407	466	563	388	445	5,413
(うち入院数)	97	120	80	110	117	108	110	104	107	130	81	103	1,267
入院率	27.0%	24.2%	22.4%	22.3%	21.6%	23.4%	25.2%	25.6%	23.0%	23.1%	20.9%	23.1%	23.4%

病名	ICD10	男性	女性	合計
急性心筋梗塞/急性冠症候群	I219	36	17	53
骨折/外傷	T1420/T149	11	11	22
脳梗塞	I639	6	8	14
完全房室ブロック/不整脈	I442	3	7	10
脳出血	I619	5	5	10
解離性大動脈瘤	I710	5	4	9
イレウス	K562	1	8	9
腎不全	N179	5	4	9
心不全	I509	4	4	8
穿孔性腹膜炎	K650	2	2	4
意識障害	R402	4	0	4
敗血症	A419	2	1	3
大腸穿孔	K631	2	1	3
蘇生に成功した心停止	I460	1	1	2
肺炎	J189	1	1	2
胃穿孔	K255	1	1	2
右単径ヘルニア嵌頓	K403	2	0	2
上部・下部消化管出血	K921	1	1	2
血尿	R31	1	1	2
尿閉	R33	2	0	2
めまい	R42	1	1	2
痙攣重積発作	R568	2	0	2
出血性ショック	R571	0	2	2
アデノウイルス感染症	B340	0	1	1
子宮体癌	C549	0	1	1
転移性肝癌	C787	0	1	1
卵巣腫瘍茎捻転	D27	0	1	1
髄膜腫	D329	0	1	1
卵巣腫瘍	D391	0	1	1
腎腫瘍	D410	0	1	1
出血性貧血	D600	1	0	1
髄膜炎	G039	1	0	1
パーキンソン病	G20	1	0	1
虚血性心筋症	I255	1	0	1
肺血栓塞栓症	I269	1	0	1
心膜炎	I319	1	0	1
心筋炎	I514	1	0	1
たこつぼ型心筋症	I518	0	1	1
くも膜下出血	I609	0	1	1
閉塞性動脈硬化症(ASO)	I709	1	0	1
大腿動脈瘤	I724	1	0	1
下肢急性動脈閉塞症	I743	1	0	1
気管支喘息	J459	0	1	1
誤嚥性肺炎	J690	0	1	1
腹腔内出血	K661	0	1	1
アルコール性肝硬変に伴う食道静脈瘤出血	K703+H982*	1	0	1
仮性脾のう胞	K863	1	0	1
膝関節偽痛風	M1126	0	1	1
腰椎椎間板ヘルニア	M512	0	1	1
尿路感染症	N390	1	0	1
精巣捻転症	N44	1	0	1
窒息	R090	1	0	1
発熱	R509	1	0	1
熱性痙攣	R560	1	0	1
咽頭異物	T172	0	1	1
塩素ガス中毒	T594	1	0	1
ヘビ咬傷	T630	1	0	1
減圧症	T703	1	0	1
術後感染症	T814	1	0	1
計				214

内科 令和5年度

【診療担当者】

◇常勤医師（カッコ内は主な専門、担当分野、または診療期間）

小野田圭佑（内科、消化器内科）
川合耕治（消化器内科、内科）
築地治久（内科、神経内科、認知症）
藤井幹久（循環器）
飯笹泰蔵（リウマチ・膠原病）
西垣正憲（呼吸器）
庄司亮（内科、消化器内科）
永山竜士（内科、消化器内科）
松田浩直（内科）
田中まゆみ（総合診療）

◇非常勤医師

諸井泰興（リウマチ・膠原病）
山田佳彦（国際医療福祉大学熱海病院 糖尿病）
夏山卓（精神科、認知症）
横山健（横山医院、腎臓内科）
和田英樹（順天堂大学医学部附属静岡病院 循環器内科）
三澤恭平（順天堂大学医学部附属静岡病院 血液内科）
秋本知則（内科）

◇当院専攻医

佐藤駿一（4月～9月）
岡田暁生（4月～3月）
浅野晃輔（10月～3月）

◇東京ベイ・浦安市川医療センター所属の専門科・総合内科専攻医（支援・研修）

和田俊成、山本興幸、後藤大輔（4月～6月）
越智航、宮岡慎一（7月～9月）
奈須滉典、田中志穂（10月～12月）
遠藤卓也、海老原賢治、松岡杏奈（1月～3月）

◇横須賀市立うわまち病院所属専攻医（研修）
辻大河（10月～12月）

◇聖マリアンナ医科大学病院所属専攻医
前田貴央（7月～9月）

◇飯塚病院所属専攻医
横井一樹（4～6月）

◇東海大学医学部附属病院所属専攻医
加藤博之（4月～3月）

◇特定ケア看護師
小川法之、進士勇介

【診療責任者】

小野田圭佑

【外来患者数】

延人数 31,161 人/年
1日平均 128.3 人/年

【入院患者数】

入院人数 37,060 人/年
1日平均 101.3 人
平均在院日数 16.3 日

【DPC からみた主要入院疾患】

1. 肺炎等	208 件
2. 腎臓又は尿路の感染症	155 件
3. 脳梗塞	122 件
4. その他の感染症（真菌を除く）	118 件
5. 胆管（肝内外）結石、胆管炎	111 件
6. 誤嚥性肺炎	80 件
7. ヘルニアの記載のない腸閉塞	61 件
8. 穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患	57 件

9. 頻脈性不整脈	52 件
10. 胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄 (穿孔を伴わないもの)	46 件
11. 小腸大腸の良性疾患 (良性腫瘍を含む)	46 件
12. 高血圧性疾患	35 件
13. 結腸 (虫垂を含む) の悪性腫瘍	36 件
14. 間質性肺炎	31 件
15. 膵臓, 脾臓の腫瘍	31 件
16. 膿皮症	31 件
17. 肺の悪性腫瘍	30 件
18. 非外傷性頭蓋内血種 (非外傷性硬膜下血種以外)	29 件
19. 肝硬変 (胆汁性肝硬変を含む)	29 件
20. 肺・縦隔の感染、膿瘍形成	27 件

リウマチ

当院は、静岡リウマチネットワークの一角として指定されています。このホームページで、関節リウマチ、膠原病を診療できる病院として紹介されています。

【診療担当者】

飯笹泰藏 (常勤、診療責任者)
諸井泰興 (非常勤、元国立伊東温泉病院院長)

【診療患者】

関節リウマチ 150-200例
全身性エリテマトーデス 8例
強皮症 8例
多発性筋炎、皮膚筋炎 3例
リウマチ性多発筋痛症 10例
結節性多発動脈周囲炎 3例
顕微鏡的多発血管炎 2例
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 2例
側頭動脈炎 1例
ベーチェット病 3例
混合性結合組織病 2例
シェーグレン症候群 4例
成人スチル病 3例
再発性多発軟骨炎 1例
乾癬性関節炎 2例

消化器内科

1. 消化器内科スタッフ（令和6年3月現在）

以下に令和5年度消化器内科担当医を紹介します。

常勤医 ■ 診療責任者

■ 川合 耕治

□ 小野田 圭祐

□ 庄司 亮

2. 診療実績

令和5年度の実績を内視鏡診療について報告します（都合上令和5年1月1日から同12月31日で集計しています）。消化管・肝胆膵に関わる診療は以上3人が中心となりました。消化器疾患を有する患者さんの受け持ち医については必ずしも3人のみでなく、内科医全員で担当しております。

内視鏡件数は上部消化管内視鏡件数 2328（うち健診 1111）、下部消化管内視鏡件数 1231（うち健診 206）、ERCP(Endoscopic Retrograde Cholangio-Pancreatography)265、EUS(Endoscopic UltraSonography)11、小腸内視鏡検査（小腸内視鏡を使用した ERCP 含む）29 でした。治療についてみるとESD(Endoscopic Submucosal Dissection)件数は食道2、胃12、大腸12 でした。EMR(Endoscopic Mucosal Resection)件数は食道0、胃0、十二指腸2、大腸365 でした。切除した癌については食道2、胃10、十二指腸1、大腸48 でした。ステント留置件数(EMS)は食道2、胃6、十二指腸1、大腸17 でした。胆管ドレナージ(ERBD)件数は75 でした。止血術についてみると上部で59件、下部で21件 でした。EVL(Endoscopic Variceal Ligation)件数は5、EIS(Endoscopic Injection Sclerotherapy)件数は1 でした。

内視鏡検査	総数	ESD	EMR	切除癌	EMS	ERBD	止血	EVL	EIS
上部									
食道		2	0	2	2			5	1
胃	2328	12	0	10	6		59		
十二指腸			2	1	1				
小腸	4								
下部	1231	12	365	48	17		21		
ERCP	265				5	75			
EUS	11								

他、腹部血管塞栓術6件、肝生検4件、インターフェロンフリー療法を18件実施しています。

内科（循環器内科）

1、 担当医

（1） 藤井 幹久

日本循環器学会専門医

日本心血管インターベンション学会認定医

日本内科学会認定医

（2） 非常勤医師 和田英樹（毎週水）

片山卓志（第2金）、本田雅希（第3金）

濱畑安梨沙/小澤千尋/辻武志（第4金）

2、 入院患者数 年間サマリー数で 藤井担当 35 件 コンサルト併診症例 143 件

外来患者数 一日平均 藤井初再診 21 再診 41、和田 40、本田 12、片山 15、辻 8 人
年間の紹介患者の初診 393 人で、藤井 168、和田 146（順天から 59）人

3、 診療内容

今年度も、循環器内科の常勤医は、藤井ひとりであったため、心カテは施行せずに、外来診療中心の診療となった。循環器内科宛の紹介状は、393 件と多く、その多くを、藤井と和田先生で対応した。尚、金曜日の循環器内科外来とペースメーカー外来の支援には、辻先生・片山先生・本田雅希先生に月一回来て頂いている。

ACS 患者さんは、そのほとんどが救急の現場から直接順天堂大学静岡病院（順天）に搬送されていますが、心不全患者さんでトロポニン I が上昇しているだけで搬送になっても、ACS ではない症例は送り返されており、順天さんとより密接な関係が保たれています。順天さんで PCI された症例のほとんどが、水曜日の和田英樹先生外来でフォローされており、その数は和田先生への紹介患者の約 1/3 を占めている。ここでは狭心症疑いで紹介して頂いた患者さんの実態を、冠動脈 CT 施行患者さんから検討した結果を述べる。53 件のうち、狭心症疑いで順天に 22 件 CAG 目的で紹介され、うち 15 症例に PCI（ステント留置）施行されました。狭心症の否定は 12 件で、9 件は PVC や発作性心房細動が原因でした。冠攣縮性狭心症として加療されたのは 5 例。CHF 入院中に IHD 否定目的で施行されたのが 5 例で、たこつぼ心筋症 1 例、心サルコイドーシス 4 例であった。

心エコー専門技師によるオフィシャル心エコーは、今年度も 1798 件と多数施行され、循環器内科診療レベルに絶大なる貢献をしてもらっている。

去年から、順天さんと岡村記念病院さんと静岡医療センターの 3 施設で、TAVI が施行さ

れるようになったので、去年の3月の時点で生存していた Vmax4m/sec 以上の重症 AS の 36 例の経過を詳細にフォローしたところ、平均年齢 85 歳（女性 8 割）で、主に順天で TAVI を 13 例、AVR 1 例施行された。全く無症状でフォローのみが 5 例、TAVI 適応ありながら拒否症例 4 例、高齢で認知症症状や合併症多く TAVI 適応なしのフォローが 5 例いた。肺炎や CKD の悪化や心不全増悪で 5 例が亡くなり、突然死が 2 例であった。CHF 後の TAVI 症例が確実に増えている一方、全く無症状の症例も存在している実臨床の現状を理解することが出来た。

入院患者さん 35 名の内、7 名が亡くなったが、3 例は心疾患以外であったが、一例は西垣先生がなくなれて受け持った COPD の増悪症例であった。肺炎の合併や CKD の進行 2 例亡くなり、長年フォローしてきた心アミロイドーシス患者さんも亡くなったので、今年度の循環器疾患の状態を、心エコー症例から拾ってみた。相変わらず、慢性心房細動からの慢性心不全症例が断トツで多かったが、その原因に心サルコイドーシスの合併が非常に多く含まれていた。そんな中、入眠中に CPA になり、救急隊が CPR して Vf だったので、DC にて ROSC した、61 歳の男性が、ACS として順天さんに搬送試みたが、脳が不可逆的だろうと却下され当院でお亡くなりになった症例がいたが、心エコー所見では典型的な心サルコイドーシス所見（左室心基部の菲薄化）が見られており、死因としては ACS より心サルコイドーシスが強く疑われた。心アミロイドーシス症例は 10 例前後いたが、最近発見した症例の多くは、順天さんに紹介になっている。肺高血圧症例は難病指定でフォローして 3 例以外にも 10 例以上多数いるのだが、多くは高齢で認知症や腎障害が強く、PH の新規の薬の導入をするための右心カテの施行がためらわざるをえない症例がほとんどある。HOCM 症例も骨折後の一過性のものや、そうでない重症の症例も多数見られた。その他、最近の新規の治療法としての M 弁クリップ症例や、リードレスペースメーカー植込み症例も見られた。フォロー四徴症の術後の 72 歳男性の生存例もいて感動した。ペースメーカーの電池交換 3 例を辻先生にして頂いた。

最後に、伊東周辺に循環器内科専門医の常勤医が小生しかおらず、近隣の循環器施設から通えなくなったとフォロー依頼が絶えず、外来が飽和状態であるので、一刻も早く若くて地域医療に関心のある循環器内科専門医の常勤医を誘致したい一心で活動します。

4 研究実績など

なし

令和5年度 小児科

【診療担当者】

荒川 洋一（常勤）中島 芳博（非常勤→退職）

鈴木 徹也（非常勤）

【診療責任者】荒川 洋一

【外来延べ患者数】 (R3) (R4) (R5)

年間延べ患者数： 2 1 4 8 例 1 5 9 9 例 1 4 0 7 例

月平均延べ患者数： 1 7 9 例 1 3 3 例 1 1 7 例

年間初診患者数： 4 7 8 例 6 1 6 例 7 1 4 例

年間紹介患者数： 1 3 1 例 3 0 例 1 1 8 例

【救急患者数】 (R3) (R4) (R5)

年間救急患者数： 2 8 2 例 4 1 0 例 3 7 8 例

【外来診療の内容】

感染症、アレルギー疾患(気管支喘息、アトピー性皮膚炎、慢性蕁麻疹、食物アレルギー、花粉症等)、便秘・夜尿、神経疾患、重症心身障害児者、発達障害関連疾患、静岡県立こども病院通院患児のフォローアップなど。

【入院患者数(実数)】(2023年4月～2024年3月)

	患者数	延在院日数	平均在院日数
小児	36	793	5.4
新生児	10	66	6.6
合計	46	259	5.6

【入院患者の内容】

症例(実数)(2023年4月から2024年3月)入院患者数 46例
(病名の重複あり)

小児科入院患者 病名(患者数)

アデノウイルス 11

低酸素血症 10

気管支肺炎 8

気管支喘息 6

RSV感染症 6

hMPV肺炎 1

川崎病 3

脱水 3

起立性調節障害 1

心身症 1

パニック発作 1

不登校	1
急性胃炎	1
閉塞性イレウス	1
感染性胃腸炎	2
低身長症	2
尿路感染症	1
蕁麻疹	1
ASD	1

新生児入院患者 病名 (患者数)

新生児高ビリ血症	2
新生児貧血	1
左下腿母斑	1
帝王切開児	3
低出生体重児	1
新生児嘔吐	2
無呼吸発作	2
周期性呼吸	1
縦隔気腫	2
新生児呼吸障害	2
Air leak 症候群	1
呼吸性アシドーシス	1
左下葉無気肺	1

(以上)

外科

【診療担当者】

*令和5年度（令和5年4月から令和6年3月まで）の外科は常勤医師4名と外科専門専攻医1名、特定ケア看護師1名の体制で診療をおこないました。

*常勤医師；令和5年3月末現在

- 神谷 紀之 副病院長兼診療部長兼外科部長（H15. 4月～）
日本外科学会外科専門医
日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
日本消化器病学会専門医
検診マンモグラフィ読影認定医師
乳がん超音波検診実施者
日本乳癌学会所属

- 天池 寿 副病院長兼肝胆膵外科部長（R2. 7月～）
日本外科学会外科専門医・指導医
日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
日本内視鏡外科学会技術認定医（胃）
日本がん治療機構認定医
（所属学会）
日本肝胆膵外科学会、日本大腸肛門病学会、日本肝臓学会、日本癌治療学会、
日本癌学会

- 城野 晃一 救急科部長兼外科科長（H23. 1月～）
日本外科学会外科専門医
日本救急医学会救急専門医
検診マンモグラフィ読影認定医師

- 小倉 礼那 医師（H31. 4月～）
日本外科学会外科専門医
検診マンモグラフィ読影認定医師
日本乳癌学会所属

□ 橋本 知哉 医師
(R 5. 4月～R 5. 9月)
日本専門医機構外科専門専攻医

□ 廣原 真芳 医師
(R 5. 10月～R 5. 3月)
日本専門医機構外科専門専攻医

【診療責任者】

神谷 紀之 副病院長兼診療部長兼外科部長

【外来患者数】

延人数	35.4 人
1 日平均	8,595 人

【外来患者の内容】

- ・ 消化器癌
- ・ 乳癌
- ・ 急性虫垂炎、穿孔性腹膜炎、腸閉塞など消化器救急疾患
- ・ 胆石症など消化器良性疾患
- ・ 痔核・痔瘻などの肛門疾患
- ・ 単径ヘルニア、大腿ヘルニア、閉鎖孔ヘルニアなどの各種ヘルニア
- ・ 乳腺症、良性乳腺腫瘍など乳腺疾患
- ・ 外傷（領域により整形外科や脳神経外科、形成外科と連携）
- ・ 体表の炎症・化膿性疾患
- ・ 乳がん検診（2次検診）

【入院患者数（令和5年度）】

総入院患者数	503 人
--------	-------

平均在院日数

すべて	13.1 日
手術あり	13.7 日
手術なし	12.0 日

【入院患者の内容（令和5年度）】

保存的治療（緩和ケアを含む）	140人
化学療法	34人
内視鏡手術（ポリープ切除/EMR/ESD）	7人
検査入院	5人
手術（定時）	253人
手術（緊急）	63人
その他	0人
合計	503人

【手術件数（令和5.4.1～令和6.3.31、および令和3年度、4年度）】

手術診断名	3年度	4年度	5年度
乳癌	18	22	23
乳腺良性疾患	2	0	1
急性虫垂炎（15才未満）	2	1	1
急性虫垂炎（15才以上）	22	21	16
慢性虫垂炎（interval appendectomy）	5	4	5
食道癌	0	0	0
胃癌・胃粘膜下腫瘍（腹腔鏡）	6	1	3
胃癌・胃粘膜下腫瘍（開腹）	9	8	5
結腸癌/直腸癌/結腸ポリープ（腹腔鏡）	25	25	31
結腸癌/直腸癌/結腸ポリープ（開腹）	18	11	15
消化管その他 （大腸切除（良性）、人工肛門閉鎖など）	27	20	28
経肛門内視鏡手術（TAMIS）		2	1
肛門疾患（痔核、痔瘻、肛囲膿瘍、直腸脱）	19	23	17
胆石症・胆嚢炎・胆嚢ポリープ（腹腔鏡）	40	37	32
胆石症・胆嚢炎（開腹）	2	4	0
総胆管結石症	0	2	1
転移性肝癌・原発性肝癌（肝切除術）	2	4	2
胆道癌（膵頭十二指腸切除術）	1	1	1
胆道癌（肝切除）	1	1	1
胆道癌（胆管切除など）	0	0	1
膵癌/膵腫瘍（膵頭十二指腸切除術）	0	0	1
膵癌/膵腫瘍	1	1	0
腸閉塞	20	13	20
穿孔性腹膜炎	13	15	18
成人単径ヘルニア（腹腔鏡）	72	66	75
成人単径ヘルニア（前方アプローチ）	21	19	8

小児鼠径ヘルニア	3	1	1
その他ヘルニア（閉鎖孔、大腿、腹壁癒痕、臍）	6	9	12
その他ヘルニア（閉鎖孔、大腿、腹壁癒痕、臍） （腹腔鏡）	3	7	3
その他（体表、頭頸部、四肢）	0	3	1
その他（腹部）	0	0	0
下肢静脈瘤（ストリッピング術）	0	0	0
CV ポート植込み術	27	23	17
合計	365	344	337

【業績】

- ・ 腺癌の成分を伴った胃原発神経内分泌癌の 1 例

橋本 知哉、天池 寿、小倉 礼那、城野 晃一、神谷 紀之]

2024年3月1日第96回日本胃癌学会ワークショップ（NET/NECに対する治療戦略）

- ・ Laparoscopic repair of a primary parahiatal hernia combined with gastric volvulus: a case report and literature review

Hirotda Muramatsu, Hisashi Amaike, Rena Ogura, Kouichi Shirono and Noriyuki Kamiya

Surgical Case Reports (2024) 10:135

（文責 神谷紀之）

整形外科

【診療担当者】

渡邊安里
平田一博
古川直樹
三原徳明
神田章男(非常勤)
間部 毅(非常勤)

退職者

古川直樹

【診療責任者】

渡邊安里

【外来患者数】

延人数 18526 人 一日平均 76.3 人

【外来患者の内容】

変性疾患(変形性関節症、変形性脊椎症、骨粗鬆症)外傷、関節リウマチ 等

【入院患者数】

延入院患者数 20236 人 一日平均 55.3 人

【入院患者の内容】

大腿骨頸部骨折、転子部骨折、脊椎圧迫骨折、骨盤骨折、上腕骨近位端骨折、橈骨遠位端骨折、人工関節置換術(膝、股関節)、関節リウマチ、肩関節疾患

【治療成績】

【手術件数】

382 件

【主な手術】

骨折観血的手術 (大腿・上腕・肩甲骨)	83 件
人工骨頭挿入術 (股)	54 件
骨折観血的手術 (下腿・前腕)	30 件
骨折観血的手術 (手 (舟状骨を除く))	15 件
人工関節置換術 肩、股、膝	14 件
関節内骨折観血的手術 (手)	9 件
脱臼整復術 (股関節)	7 件
骨内異物 (挿入物) 除去術 (膝蓋骨)	6 件

骨折非観血的整復術（前腕、下腿）	5 件
アキレス腱断裂手術	4 件
骨折非観血的整復術（大腿）	2 件
骨折非観血的整復術（手）	2 件
骨内異物（挿入物を含む）除去術（上腕）	2 件
骨内異物（挿入物）除去術（肘）	2 件
人工関節再置換（股）	2 件

等

【改良事項】

大腿骨頸部骨折で比較的年齢の若い人には、人工関節置換術を行うことがある。stem 周囲骨折の頻度が高くなり手術数も増えている。人工骨頭は CPP 法で行っている。術中に stem により近位大腿骨骨折を起こした際に遠位固定型 stem に変更している。

リウマチ治療で JAK 阻害剤を一部の症例で使用している。

脳神経外科

【診療担当者】

中島 進 (常勤)

浅野 真利子 (非常勤)

順天堂大学医学部附属静岡病院支援医師

【外来診療時間】 月～金 午前 救急診療 24時間

【外来患者数】

一日平均患者数 6.0人 延べ患者数 1,458人

一日平均初診患者数 1.7人 初診患者数 392人

【外来患者内容】

頭痛、神経痛、認知症、脳梗塞、脳出血、脳腫瘍、頭部外傷、慢性硬膜下血腫など

【入院患者数】

年間延人数 1,748人

一日平均患者数 4.8人

平均在院数 4.8日

【入院患者内容】

頭部外傷、脳挫傷、頭蓋骨骨折、慢性、急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫、
血(脈)管障害、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など

【治療内容】 内科的治療、経過観察、手術治療、三次救急病院への紹介

【手術】

手術総数 37件

【主な手術実績】

慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術 24件

脳動脈瘤頸部クリッピング (1箇所) 4件

水頭症手術 (シャント手術) 2件

穿頭脳室ドレナージ術 1件

頭蓋内出血腫瘍摘出術 1件

泌尿器科

【診療担当者】

東 直隆【責任者】(常勤) : 日本専門医機構認定泌尿器科専門医、日本泌尿器内視鏡学会会員、身体障害者福祉法指定医(ぼうこう又は直腸機能障害)

栗山 学(非常勤) ※～令和5年12月で退職

順天堂静岡派遣医師(非常勤)

【外来患者数】

延人数 3,659名

1日平均 15.1名

【外来患者の内容】

尿路悪性腫瘍、前立腺肥大症、神経因性膀胱、尿失禁、尿路感染症、尿路結石、EDなど

【入院患者数】

延人数 102名

1日平均 0.3名

平均在院日数 2.8日

【入院患者の内容】

前立腺針生検、尿管ステント留置術、経尿道的膀胱腫瘍切除術 など

【手術件数】

令和5年度 41件

前立腺針生検法 24件

経尿道的尿管ステント留置術 11件

経尿道的膀胱腫瘍切除術 5件

女子尿道脱手術 1件

産婦人科

【診療担当者】 ■－診療責任者

- 吉永 浩介
- 早川 篤正
- 三川 猛

【外来患者数】

延べ人数 2,443 人

1 日平均 10.1 人

【外来患者の内容】

妊婦検診、子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮内膜症、月経困難症、更年期症候群、膀胱瘤および子宮脱、子宮がん検診（人間ドックとクーポン）、子宮がん検診精密検査、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、外陰がん

【入院患者数】

延べ人数 574 人

1 日平均 1.6 人

平均在院日数 5.9 日

【分娩件数】

20件／年

【入院患者の内容】

産科・・・流産手術のみ

婦人科・・・良性疾患手術 悪性腫瘍の緩和医療

【治療成績】概ね良好（インシデントおよびアクシデント発生なし）

【手術件数】

令和 5 年度手術統計

Kコード	手術名	件数
K867	子宮頸部切除術	8
K893	吸引分娩	6
K8981	帝王切開術（緊急切開）	5
K877	子宮全摘術	2
K6113	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置 （頭頸部その他）	1
K861	子宮内膜搔爬術	1
K8653	子宮脱手術（マンチェスター手術）	1
K872-31	子宮内膜ポリープ切除術（電解質溶液利用）	1
K877-2	腹腔鏡下膣式子宮全摘術	1
K8861	子宮附属器癒着剥離術（両側）（開腹）	1
K8862	子宮附属器癒着剥離術（両側）（腹腔鏡）	1
K8982	帝王切開術（洗濯切開）	1
K9092	流産手術（妊娠 11 週を超え妊娠 21 週までの場合）	1

【手術成績】概ね良好（インシデントおよびアクシデント発生なし）

【検査件数】MRI/CT 以外の特殊検査なし

【改良事項】

令和 5 年 4 月 1 日より人員・体制・物品を整備し約 2 年ぶりに分娩応需再開。周産期診療に関しては総合周産期センターである順天堂静岡病院と綿密に連携。

婦人科悪性腫瘍についてはがん診療拠点病院である静岡県立静岡がんセンターと綿密に連携。緩和患者の逆紹介を受け入れ。

婦人科良性腫瘍については当院治療希望者の手術療法を施行。

【実績】なし

耳鼻咽喉科

【診療担当者】

山田哲也 (常勤)

診療統計 令和5年4月～令和6年3月

【外来患者数】

*延人数 1152人

1日平均 4.8人

*新患人数 194人

【入院患者数】

*延人数 73人

*1日平均 0.2人

*平均在院日数 4.2日

【外来患者の内容】

アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎、鼻出血、鼻腔腫瘍
めまい、難聴、耳鳴症、慢性外耳道炎、慢性中耳炎
口腔咽喉頭腫瘍、頸部腫瘍、頭頸部感染症等

診療内容に大きな変化はありませんでした。

入院内訳

	疾患	件数
口腔咽喉頭	慢性扁桃炎	2
	扁桃周囲膿瘍	2
	気管切開術後、気管口狭窄	1
	両側声帯麻痺	1
鼻	鼻出血	1
	慢性副鼻腔炎	2
	術後性上顎のう胞	2
頸部	顎下腺腫瘍	1
	耳下腺腫瘍	1
その他	睡眠時無呼吸症候群	5
計		18

入院手術内訳

	手術名	件数
口腔咽喉頭	口蓋扁桃摘出術	4
鼻	内視鏡下鼻・副鼻腔手術 II 型	1
	内視鏡下鼻・副鼻腔手術 III 型	1
	内視鏡下鼻・副鼻腔手術 IV 型	3
頸部	耳下腺腫瘍摘出術	1
	顎下腺腫瘍摘出術	1
	気管口狭窄拡大術	1
	気管切開	5
計		17

その他、鼓膜切開、鼻腔粘膜焼灼術など外来で手術を施行しています。

眼科

【診療担当者】 (令和6年3月末日現在)

伊藤浩一

杉田丈夫 (非常勤)

【診療責任者】

伊藤浩一

【外来患者数】 (延人数、1日平均)

延人数97052人、1日平均26人

【外来患者の内容】

白内障患者、緑内障患者、加齢黄斑変性患者、
糖尿病網膜症患者など

【入院患者数】 (延人数、1日平均、平均在院日数)

延人数145人、1日平均0.4人、平均在院日数3日

【入院患者の内容】 (主たる疾患別患者数)

白内障手術患者

【治療成績】 (主たる疾患毎、治療法別、治療法の根拠)

白内障手術、術後は問題なし

緑内障については点眼治療

加齢黄斑変性に対しては抗 VEGF 抗体硝子体注射

【手術件数】

手術件数196件、白内障手術107件、硝子体注射89件

【手術成績】 (手術内容毎)

白内障手術は前例術後視力向上

硝子体注射については概ね網膜所見改善

【検査件数】 (検査内容毎)

視力検査、眼圧検査、眼底検査、視野検査など

形成外科

【診療担当者・診療責任者】 古元将和（常勤）

【外来患者数】 外来患者：延べ 2 1 0 5 名 1 日平均 8. 7 名

【入院患者数】 入院患者：延べ 5 5 0 名 1 日平均 1. 6 名

【外来患者の内容】

形成外科的疾患全般、熱傷、褥瘡、難治性皮膚潰瘍、小児外傷、顔面外傷等必要に応じ入院治療を行います。

【手術実績】

総件数 2 3 6 件(手術室分)

【主な手術内容】

眼瞼下垂手術（眼瞼挙筋前転法）	8 件
四肢切断術（下腿）	5 件
皮膚切開（1 0 ～ 2 0 c m）	3 件
形デブリドマン 1 0 0 ～ 3 0 0 0 c m 2	3 件
皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	3 件
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	3 件
眼瞼下垂手術（その他）	3 件
皮膚切開術 長径 1 0 c m 未満	2 件
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）長径 4 センチメートル以上	2 件
全層植皮術（2 5 c m 2 未満）	2 件
全層植皮術（2 5 c m 2 未満以上 1 0 0 c m 2 未満）	2 件
創傷処理（筋肉、臓器に達する）（長径 1 0 c m 以上）（その他）	1 件
創傷処理（筋肉、臓器に達しない）（長径 5 c m 未満）	1 件
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）長径 2 c m 以上 4 c m 未満	1 件
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）長径 1 2 c m 以上	1 件
腋臭症手術（皮膚有毛部切除術）	1 件
全層植皮術（2 5 c m 2 未満以上 1 0 0 c m 2 未満）	1 件

等

皮膚科

【診療担当者】

H26年10月に常勤1名体制（それまで週2回の非常勤体制でした）となり10年経過しました。

■竹下 芳裕（常勤医） 診療責任者

診療日 月・火・水・木

金曜日は神奈川県相模原市の内科クリニックで皮膚科外来診療午前半日、

第1・3金曜日午後は相模原市の往診クリニックで皮膚科訪問診療を担当。

第2・4金曜日午後は神奈川県藤沢市の緩和ケアクリニックで皮膚科訪問診療を担当。

土曜日は第1・3・4・5は藤沢市の皮膚科クリニックで外来診療午前半日、

第2は国際医療福祉大学熱海病院で皮膚科外来診療半日を担当しています。

【外来患者数】

R5年度のべ患者数 6,202人

R5年度1日平均（週5日で計算になるため実情より少ない人数です） 25.6人

【外来患者の内容】 湿疹・皮膚炎群、

（アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、うっ滞性皮膚炎など）

炎症性角化症（尋常性乾癬、類乾癬など）、

良性腫瘍（色素性母斑、脂漏性角化症）、

水疱症（天疱瘡、類天疱瘡）、

ウイルス感染症（帯状疱疹、伝染性軟属腫、尋常性疣贅など）、

中毒疹・薬疹、

皮膚リンパ腫（菌状息肉症）、

付属器疾患（爪疾患、脱毛症など）、

掌蹠膿疱症など

【入院患者数】 R5年度入院者なし

【手術内容】 月から木曜日の午後予約制で皮膚科外来にて

局所麻酔下の手術や皮膚生検を行っております。

病理組織診断を要する手術が令和4年度は36件ありました。

麻酔科

【診療担当者】 富樫秀彰 飯田武彦
非常勤麻酔科医師

【診療責任者】 富樫秀彰

【麻酔科管理麻酔件数】 737症例

種類別

全身麻酔（硬・脊・伝麻 併用を含め） 499例

脊髄くも膜下・硬膜外併用麻酔（CSEA） 8例

脊髄くも膜下麻酔 225例

その他（伝達麻酔、静脈麻酔など） 4例

【実績】 救急救命士挿管実習（ビデオ喉頭鏡を含む） 2名終了

ペインクリニック外来 火曜日午後・随時

【外来患者数】 週平均 約12名

【外来患者の内容】 頭痛、三叉神経痛、非定型顔面痛、顔面神経麻痺、頸椎症、頸椎ヘルニア、頸肩腕症候群、帯状疱疹、帯状疱疹後神経痛、肋間神経痛、肩関節周囲炎、腰椎椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、会陰部痛、閉そく性動脈硬化症、筋筋膜疼痛症候群、etc.

【ブロック治療（外来）】 後頭神経ブロック、眼窩上神経ブロック、眼窩下神経ブロック、オトガイ神経ブロック、星状神経ブロック、頸・胸・腰部硬膜外ブロック、頸部神経根ブロック、仙腸関節ブロック、肩峰下滑液包注射、トリガーポイント注射、関節内注射、etc.

【ブロック治療（手術室）】 高周波パルス神経根ブロック、椎間関節ブロック、仙腸関節ブロック、脊髄後枝内側枝高周波熱凝固、超音波下神経根ブロック、仙腸関節高周波熱凝固、梨状筋ブロック、坐骨神経ルートパルス、etc.

放射線科

【診療担当者】

画像診断 ■眞鍋知子（常勤医）
IVR □小坂哲也（非常勤：東京北保険病院）
遠隔画像診断 □東京北医療センター・練馬光が丘病院 放射線科医

【診療責任者】 眞鍋知子

【読影件数】 CT 9041 件 （前年度比 92.8%）
 （うちオープン検査 617 件 前年度比 100.0%）
 MRI 2894 件（前年度比 109.8%）
 （うちオープン検査 958 件 前年度比 94.3%）
 遠隔読影件数も含む
 検診マンモグラフィー 543 件（前年度比 125.4%）
 IVR 5 件（前年比 62.5%）

【診療内容】

画像診断：CT, MRI の画像診断は 1 名の常勤の放射線科専門医と、東京北医療センター・練馬光が丘病院の放射線科医による遠隔画像診断で行っています。

開業院の先生方からの直接予約していただく CT・MRI 検査（オープン検査）も行っています。

また検診マンモグラフィー読影認定を取得しており、検診センターのマンモグラフィーの読影も行っています。

IVR：東京北医療センターからの非常勤医師により行われており、令和 5 年度は TACE4 件 BRT-O 1 件でした。

【改良事項】

検査終了後、速やかに読影結果が報告出来るようにしております。

医療放射線管理や適切な検査オーダー推進の観点から、事前に CT, MRI のオーダーをチェックし、検査の適応について疑問がある場合には主治医に連絡するようにしています。

心療内科

【診療担当者】

- 精神科専門医 夏山 卓（非常勤）
公認心理師 瀧川 徹

【基本方針】

病院都合により標榜は心療内科となっているが、診療内容は精神科である。認知症疾患医療センター業務を主として、器質性精神障害としての BPSD への対応を行っているため、外来では一般の精神障害の初診は原則として行っていない。BPSD への薬物調整が終了したものは本来のかかりつけ医に逆紹介しており、院内他科がかかりつけの場合のみ器質性精神障害の治療を外来で行っている。それ以外の精神科診療業務としては紹介された精神障害のセカンドオピニオン、職域での産業保健衛生であり、さらに薬物療法では対応困難であるパーソナリティ障害、適応障害、不安障害に対しマインドフルネスによる認知行動療法を行っている。認知行動療法対象者は一般に寛解するため、1年以上の治療期間が必要となる症例はない。また院内リエゾンとして精神障害やせん妄などに対するコンサルテーションを行っている。

【人員構成】（令和3年3月現在）

精神科専門医	1名
公認心理師	1名

【内訳】

* 外来件数

- ・精神科クリニック紹介 2件
- ・メンタルヘルス関連 13件
- ・うつ病、不安障害 8件

* 院内コンサルテーション 月10数件程度

【内容】

認知症疾患医療センターと重複しないものは、うつ病・適応障害・パーソナリティ障害・大人の神経発達障害など、ただし院内リエゾンを含む。今年度は PTSD なし

【発表実績】

なし

総合診療科

【診療担当者】

荒川洋一 静岡伊豆半島総合診療後期研修プログラム責任者

アレルギー科部長・小児科(兼務)・総合診療科(兼務)・臨床研修センター顧問

昭和 55 年自治医科大学卒

日本小児科学会専門医

日本アレルギー学会専門医

日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医

インфекションコントロールドクター

日本医師会産業医

総合診療特任指導医

築地治久 認知症疾患医療センター長・神経内科・総合診療科

昭和 54 年自治医科大学卒

総合内科専門医

神経内科専門医

総合診療科専門医

田中まゆみ 臨床研修センター長・総合診療科

昭和 54 年京都大学医学部卒

医学博士

公衆衛生学修士

プライマリケア学会認定医

総合診療特任指導医

山田哲也 総合診療科科長・耳鼻咽喉科科長

平成 17 年自治医科大学卒

耳鼻咽喉科専門医

総合診療特任指導医

小川法之 NDC (特定ケア看護師)

坂本真弓 NDC (特定ケア看護師)

進士勇介 NDC (特定ケア看護師)

【診療責任者】

山田哲也 総合診療科科長

【外来患者数】

新規患者数 16 名
のべ回数 693 名
1 日平均 2.9 人

【入院患者数】

延べ人数 61 名
1 日平均 0.16 人
平均在院日数 8.7 日
主に在宅診療導入に向けての入院や在宅診療患者のお看取り目的

【在宅診療患者】

新規患者数 36 名 8 割ほどは癌患者
訪問診療回数 231 回
往診回数 47 回
総看取り患者数 36 名 うち在宅看取り数 30 名 在宅看取り率 83%
常時 10-15 名程度の患者対応をしています

【在宅診療の内容】

平成 30 年 06 月から在宅診療(訪問診療、往診)を開始しました。

対象患者 ・ 疾病などで通院が困難な場合 (疾患についての制限はない)
・ かかりつけ医が在宅診療を実施していないか、対応できない場合
・ 訪問看護ステーションでの訪問看護が導入済
・ 伊東市内で病院から 16 km 以内の居住者 (診療報酬上の制限)

安定している患者はなるべく診療所にお願ひし、癌以外も含めた終末患者を主に担当しています。そのため末期癌患者の対応が多く、短期間で在宅看取りとなることが多いです。看取り患者のうち在宅看取りは 83% 程度となっており、前年度より増えています。

臨床研修センター

【基本方針、目標】

基本方針

臨床研修センターは平成16年4月より、当院の医師・スタッフ及び協会内外施設のご協力をいただきながら、地域医療振興協会の「地域医療専門医」育成のための初期臨床研修のサポートを行っております。

目標

* 初期臨床研修における

- 研修医各自の研修目標達成に考慮した2年間の研修ローテーション作成
- 各科ローテーション研修のサポート（目標設定・研修科調整・形成的評価）
- オリエンテーション日程と内容の作成・講師依頼・調整(医師としての基本的心得・社会人としての常識・多職種医療チームとの協同講義/実習病棟看護業務見習(かるがも実習)・診療技術講義等)
- 「一般外来」研修
- ハーフデイバック(基本的手技実習・テーマ別医学的講義)の日程と内容の作成・講師依頼・調整
- 各専門科・技術研修の調整
- 学会方式症例提示カンファレンス
- 専攻医講義カンファレンス
- EBMのステップでの問題解決サポート（二次資料検索・ジャーナルクラブ）
- 東京ベイ・浦安市川医療センターのコアレクチャーへの参加
- 静岡医師会/保健所共催の県下研修病院合同セミナーへの参加
- 医学生の病院実習の受け入れ調整
- 医学生の病院見学の受け入れ調整

* 初期臨床研修及び静岡伊豆半島総合診療専門研修プログラム共通のサポートとして

- 基本的外来・病棟手技指導
- 臨床的な疑問・課題への個別アドバイス
- 研修医主催の勉強会等のサポート
- 研修内外に関する悩みの相談
- 学会発表に準じたプレゼンテーションを行うカンファレンスの開催

- * 「地域医療専門医」 「静岡伊豆半島総合診療専門研修プログラム」における
 - 長期・短期の目標・研修内容設定・評価サポート
 - 外来診療サポート（プリセプターシステム）

- * 院内全スタッフとの知識共有・研修サポート
 - 看護研修システムの構築・指導看護師養成
 - 将来的には看護部以外も含めた研修教育システムの構築、相互活動のサポート

【人員構成】（令和6年3月末現在） ■－責任者

■田中 まゆみ 臨床研修センター長 昭和54年京都大学卒
 昭和63年京都大学大学院卒 医学博士
 平成12年米国ボストン大学公衆衛生大学院卒公衆衛生学士
 臨床研修指導医
 プライマリ・ケア学会認定医
 総合診療領域特任指導医
 臨床研修プログラム責任者

□荒川 洋一 臨床研修センター顧問 昭和55年自治医科大学卒
 日本小児科学会専門医
 日本医師会認定産業医
 日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医
 日本アレルギー学会専門医
 臨床研修指導医
 静岡伊豆半島総合診療専門研修プログラム責任者

□川合 耕治 臨床研修センター副センター長 昭和59年自治医科大学卒
 日本内科学会指導医
 日本内科学会総合内科専門医
 日本消化器学会専門医
 日本内視鏡学会専門医
 臨床研修指導医

□井上 晶博 2年目初期臨床研修医 令和2年帝京大学卒
 □牛嶋 紗里衣 2年目初期臨床研修医 令和4年東邦大学卒
 □大野 水季 2年目初期臨床研修医 令和4年慶応義塾大学卒
 □柴沼 正 2年目初期臨床研修医 令和4年日本大学卒
 □富澤 央 2年目初期臨床研修医 令和4年名古屋市立大学卒
 □春山 高毅 2年目初期臨床研修医 令和4年杏林大学卒

□上原 弘成	1年目初期臨床研修医	令和4年東邦大学卒
□越後谷 雅一	1年目初期臨床研修医	令和5年帝京大学卒
□岡田 奈那	1年目初期臨床研修医	令和5年国際医療福祉大学卒
□陶山 里佳	1年目初期臨床研修医	令和5年筑波大学卒
□高安 崇真	1年目初期臨床研修医	令和5年川崎医科大学卒
□張 一弛	1年目初期臨床研修医	令和5年慶応義塾大学卒
□濱野 一太	1年目初期臨床研修医	令和5年川崎医科大学卒
□本多 洋貴	1年目初期臨床研修医	令和5年慶応義塾大学卒

【実績】

当院が基幹病院である初期研修プログラム(「地域医療指向プログラム」および「地域医療重点プログラム」)の「理念」と「基本方針」を、以下のように更新しました。

【理念】

地域医療の現場で高い臨床能力をもって、健康に関わるあらゆる問題に向き合うことのできる医師を育成する。

【基本方針】

1. 傾聴と共感から出発する患者中心の医療を実践する。
2. 広く深い系統的鑑別診断から臨床推論に基づいて効率的に検査治療を進める診療能力を培う
3. 医療技術の限界と社会資源の有限性を認識し、多職種医療チームで実現可能性を検討しつつ患者家族の地域での生活の質の向上を支援する。
4. 自学自習の習慣を育む環境を提供し、学術活動に継続的に参加する医師を育成する。

月	活 動 内 容 <場所>
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・2023 年度新人研修医オリエンテーション <本部> ・新入初期研修医オリエンテーション・かるがも研修 <病棟>
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県医師会主催「Welcome Seminar in Shizuoka 2023」第1回<Web> (1年目初期研修医8名参加)
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・マッチング登録開始 ・静岡県医師会主催「Welcome Seminar in Shizuoka 2023」第2回<Web> (1年目初期研修医8名参加) ・JADECOM WEB 病院合同説明会 <Teams> 初期研修医(1名参加) ・レジナビ Fair 病院説明会実施 (1年目初期研修医2名参加) ・第16回へき地・地域医療学会 <本部・WEB> (参加なし) ・第1回研修管理委員会 ・広報誌「伊東市民病院でございます」Vol.21 発行
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県臨床研修病院(初期・後期)合同説明会in浜松 <浜松> 初期研修医2名参加(1、2年目各1名) ・静岡県医学修学研修資金利用者意見交換会 <浜松> (2年目初期研修医1名参加) ・静岡県医師会主催「Welcome Seminar in Shizuoka 2023」第3回<Web> (1年目初期研修医8名参加)
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・2023 年度初期臨床研修プログラム採用試験 8月7日(月)、8月14日(月)、8月28日(月)、9月4日(月) 実施。医学生受験者26名(*) ・ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ夏季セミナー <グランディエール ブケトーカイ> (2年目初期研修医1名参加) ・ふじのくに主催 病院見学バスツアー<伊東市民病院> (中止)
9 月	マッチング順位登録開始
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・マッチング結果発表(マッチ者8名) ・第2回研修管理委員会
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・JADECOM 地域医療セミナー2023<短期研修・合同研修> (参加なし) ・第2回研修管理委員会 ・ふじのくに地域医療支援センターメールマガジン メッセージ掲載 初期研修医1名
12 月	
1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的臨床研修能力評価試験 初期研修医14名参加
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根瓦塾in静岡 2023(中部地区) <静岡県立総合病院>

月	活 動 内 容 <場所>
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 3 回研修管理委員会 (外部委員出席) <WEB> ・ 静岡県臨床研修病院 (初期・後期) 合同説明会in静岡 <静岡> (1 年目初期研修医 1 名参加) ・ レジナビフェア東京春 <東京ビックサイト> (1 年目初期研修医 2 名参加) ・ 初期臨床研修修了式 初期研修医 6 名修了 (**)

(*) マッチング対象見学・実習等受入 人数： 37名

(**) 初期研修修了者進路

井上 晶博 国際医療福祉大学脳神経外科専攻医

牛嶋 紗里衣 東邦大学麻酔科専攻医

大野 水季 医療機関以外

柴沼 正 浜松医科大学循環器内科専攻医

富澤 央 横浜市立大学整形外科専攻医

春山 高毅 順天堂大学整形外科専攻医

2023年度 ハーフデイバック 木曜日 13:00～14:00

月日	曜日	テーマ	講師
4月6日	木	超音波検査(1) 心エコー 多職種	小塚裕之技師
4月13日	木	超音波検査(2) 腹部エコー 多職種	田中健太郎技師
4月20日	木	超音波検査(3) 血管エコー 多職種	田中健太郎技師
4月20日	木	12:00～13:00 入院患者の栄養管理 (試食あり) 多職種	栄養室 須藤優希管理栄養士
4月27日	木	中心静脈カテーテル	救急部長/外科科長 城野晃一医師
5月10日	水	在宅訪問診療☆	総合診療科/耳鼻咽喉科 科長 山田哲也医師
5月11日	木	リハビリテーション(1) 理学療法 ・言語聴覚療法 多職種	理学療法士・言語聴覚 士
5月12日	金	外科縫合	形成外科部長 古元将和医師
5月18日	木	医療機器実習 多職種	
5月25日	木	リハビリテーション(2) 作業療法 多職種	医療技術部長 梶原幸 信作業療法士
5月31日	水	めまい	総合診療科/耳鼻咽喉科 科長 山田哲也医師
6月1日	木	13:30～14:30 画像診断の基礎(1) 放射線被ばく	放射線科部 眞鍋知子医師
6月8日	木	13:30～14:30 // (2) 単純写真	//
6月15日	木	13:30～14:30 // (3) CT	//
6月22日	木	13:30～14:30 // (4) CT	//
6月29日	木	13:30～14:30 // (5) MRI	//
7月6日	木	13:30～14:30 // (6) MRI	//
7月13日	木	13:30～14:30 // (7) 核医 学・放射線治療学等	放射線科部 眞鍋知子医師
7月20日	木	脳血管障害(1) 脳神経外科	脳神経外科部長 中島進医師
7月27日	木	脳血管障害(2) 神経内科	総合診療科/神経内科 築地治久医師
8月3日	木	意識障害・けいれん・脳波➡12/21	//
8月10日	木	循環器疾患(1) 心電図	循環器科部長

			藤井幹久医師
8月17日	木	循環器疾患(2) 急性冠症候群	〃
8月24日	木	循環器疾患(3) 不整脈	〃
8月31日	木	せん妄・認知症	心療内科 夏山卓医師
9月7日	木	嚥下内視鏡検査	総合診療科・耳鼻咽喉科科長 山田哲也医師
9月14日	木	医療倫理 4分割法	〃
9月21日	木	消化管出血➡延期	内科 庄司亮医師
9月28日	水	胆嚢炎・胆管炎	内科部長 小野田圭佑医師
10月5日	水	急性腹症・急性虫垂炎	外科 小倉礼那医師
10月12日	木	肝炎・肝硬変	消化器内科部長 川合耕治医師
10月19日	木	腸閉塞	外科部長 神谷紀之医師
10月26日	水	糖尿病周術期血糖管理～ジョスリン・クリニックガイドライン～	総合診療科 田中まゆみ医師
11月2日	木	身体症状障害	〃
11月9日	木	感染症診療の基礎(1) 抗生物質の使い方/アンチバイオグラム	〃
11月16日	木	感染症診療の基礎(2) 敗血症 qSOFA その後	〃
11月23日	木	勤労感謝の日	〃
11月30日	木	感染症診療の基礎(3) 呼吸器感染症 ➡お休み	〃
12月7日	木	感染症診療の基礎(4) 心内膜炎	〃
12月14日	木	感染症診療の基礎(5) 皮膚・軟部組織・深部感染症	〃
12月21日	木	意識障害・けいれん・脳波	総合診療科/神経内科 築地治久医師
12月28日	木	お休み	
1月4日	木	お休み	
1月10日	水	骨折	整形外科部長 渡邊安里医師
1月17日	水	骨粗しょう症	整形外科科長 平田一博医師
1月25日	木	お休み	
2月1日	木	お休み	

2月8日	木	「地域で家庭医専攻医を育てるとい う生きがいについて」	Robert Bob Jackman 先 生 (OHSU 助教授)
2月15日	木	妊婦への処方注意事項	産婦人科 三川猛医師
2月22日	木	避妊(アフターピルを含む)・妊娠中 絶(内服薬を含む)	産婦人科 三川猛医師
2月29日	金	産婦人科がん検診・HPV ワクチン・ 更年期障害	産婦人科部長 吉永浩介医師
3月2日	木	肝炎・肝硬変	消化器内科 川合耕治医師
3月6日	水	新生児ケア・乳児検診	小児科部長 荒川洋一医師
3月14日	木	お休み	

2023年度 東京ベイ・浦安市川医療センター コアレクチャー

火曜日 15:30～16:00

日程	テーマ	Presenter	Supervisor
4月18日	血ガス・血算	松下①	ICU：下谷陽子
4月25日	透析療法	田中①	腎臓内科：吉野かえで
5月2日	予備日		
5月9日	カルテの書き方・操作につい て	井原①	
5月16日	医療安全 CLIP		大場師長
5月23日	診療上の保険請求について		医事課
5月30日	輸液	松下②	腎臓内科：北村浩一
6月6日	初期ミーティング		
6月13日	抗菌薬	川上①	感染症内科：堀内正夫
6月20日	腰椎穿刺	田中②	救急科：
6月27日	急性膵炎	伊東①柴沼正	消化器内科：中嶋 悟・吉岡 翼
7月4日	CV	沖田①	救急科：
7月11日	心エコー	鈴木①	内科：酢谷俊介
7月18日	麻酔科キャリア	伊東②牛嶋紗里 衣	静岡医療センター麻酔 科：小川 美穂
7月25日	ツムラ漢方薬講座		
8月1日	胸腔穿刺、ドレナージ、腹腔 穿刺	野田①	外科：

8月8日	初期ミーティング		
8月15日	脳神経外科医の役割	伊東③井上晶博	伊東脳神経外科：中島進
8月22日	心不全	井原②	循環器内科：
8月29日	ERで、当直で、どうする？難聴の対応	伊東④大野水季	伊東耳鼻咽喉科：山田哲也
9月5日	ショック	木原①	ICU：山本一太
9月12日	ショートプレゼンの練習		
9月19日	鎮痛・緩和	鈴木②	薬剤部：塚谷
9月26日	予備日		
10月3日	臨床的栄養管理	沖田②	ICU：下谷陽子
10月10日	初期ミーティング		
10月17日	骨粗鬆症	伊東⑤富澤央	伊東整形外科：平田一博
10月24日	予備日		
10月31日	骨折・シーネ固定	川上②	整形外科：仲津留恵日
11月7日	皮疹	井原③	皮膚科：江原
11月14日	予備日		
11月21日	腹部エコー	木原②	外科：
11月28日	予備日		
12月5日	冰山モデルで読み解く患者・家族の心理	伊東⑥春山高毅	シティタワー診療所：島崎 享司
12月12日	ACS	野田②	循環器内科：
12月19日	頭痛	PGY1	脳神経外科：木野智幸
12月26日	予備日		
1月9日	初期ミーティング		
1月16日	呼吸困難	PGY1	呼吸器内科：
1月23日	予備日		
1月30日	胸痛	PGY1	循環器内科：
2月6日	発熱	PGY1	内科：山本興幸
2月13日	地域での研修について	木原③	PGY2
2月20日	腰痛	PGY1	救急科：
2月27日	麻痺、しびれ	PGY1	脳神経外科：木野智幸
3月5日	悪心・嘔吐・めまい	PGY1	内科：古川亜美
3月12日	腹痛	PGY1	外科：

(2) シミュレーションセンター

【基本方針、目標】

シミュレーションとは、機材を用いて仮想的な方法で模擬動作を行なうことです。

飛行機のパイロットがフライトシミュレーターで飛行訓練を行なうように、シミュレーションセンターの機材には、単純な採血練習を行なうものから、迅速に対処しなければ死に至る不整脈治療訓練を行なう高度なものまで、さまざまな機材があります。当院のシミュレーションセンターは平成25年春に医師、看護師などの医学教育、医療の安全管理に貢献することを目的に開設されました。

機材には医療職以外の方が、専門的な器具や薬品なしで行えるBasic Life Support（BLS、一次救命処置）すなわち、急に倒れたり、窒息を起こしたりした人に対して、その場に居合わせた人が、胸骨圧迫や人工呼吸を、救急隊や医師に引き継ぐまでの間に行なう応急手当練習用のシミュレーターもあり、今後は病院スタッフだけではなく医療職以外の市民の皆様を対象とした講習会の開催も考えています。

【人員構成】（令和6年3月末現在） ■－責任者

■城野 晃一	救急科部長兼外科科長兼シミュレーションセンター長
□谷川 政嗣	事務部長
□杉本 篤彦	看護部手術室看護師
□小塚 裕之	臨床検査技師
□飯田 直樹	ME室室長臨床工学技士
□清水 茜	臨床研修センター事務

【保有機材一覧】 その1

機器名	メーカー	用途
高性能医療トレーニング シミュレーター S i m M a n 3 G	レールダル	成人高機能シミュレーター
A L S トレーニング シミュレーター		高度救命処置シミュレーター
レサシアン		成人C P Rシミュレーター
成人気道管理トレーナー	日本ライトサービス	挿管・気道管理シミュレーター
ベッドサイドモニター	日本光電	ベットサイドモニター
除細動器		除細動器
消化器内視鏡 シミュレーターシステム	ガデリウス・メディ カル	内視鏡シミュレーター
消化器内視鏡 シミュレーターモジュール		
超音波診断ファントム	京都科学	外傷・救急用超音波診断 シミュレーター
S I M o n e 出産シミュレーター	日本スリービーサイ エンティフィック	出産シミュレーター
ソフィー産科シミュレーター	日本ライトサービス	分娩介助シミュレーター
チャーリー胎児頭部モデル		
子宮頸モデル初産婦		
子宮頸モデル経産婦		
子宮頸モデル子宮浮腫		
内診バーチャルリアリティー モデル	K O K E N	
採血・静注シミュレーター 「シンジョーⅡ」	京都科学	採血・静注シミュレーター
筋肉注射トレーナー	日本ライトサービス	皮内・皮下及び筋肉注射
装着式上腕筋肉注射 シミュレーター	京都科学	上腕筋肉注射シミュレーター

【保有機材一覧】その2

機器名	メーカー	用途
小児の手背静脈注射 シミュレーター	京都科学	乳幼児への手背静脈注射・ 採血・点滴静注
縫合手技トレーニング フルセット		縫合手技シミュレーター
男性導尿・浣腸シミュレーター		男性導尿・浣腸シミュレーター
女性導尿・浣腸シミュレーター		女性導尿・浣腸シミュレーター
婦人科シミュレーター		婦人科内診シミュレーター
イブ (婦人科トレーニングモデル)		
CVC穿刺 挿入シミュレーターⅡ		CVC穿刺 挿入シミュレーター
腰椎・硬膜外穿刺シミュレーター 「ルンバールくんⅡ」		腰椎穿刺、硬膜外麻酔、 腰椎麻酔
w i t h c h i l d ～妊娠実物大ディスプレイ～	日本スリービーサイ エンティフィック	出産デモンストレーション シミュレーター
成熟胎児モデル		
胎盤と臍帯		
ソフト骨盤		
子宮ニットモデル 帝王切開部付き		
フィジカルアセスメントモデル 「P h y s i k o」	京都科学	バイタルサイン成人高機能 シミュレーター
吸引シミュレーター 「Qちゃん」		一次的吸引法（口鼻腔内吸引・ 気管内吸引）シミュレーター
P R O M P T分娩介助 教育トレーナー		分娩介助シミュレーター
汎用超音波診断装置	日本コヴィディエン	超音波画像診断用装置
エアウェイスコープ	アイ・エム・アイ 株式会社	気管挿管シミュレーター

【実績】

* 部門別利用実績

診療部	2回	看護部	16回	医療技術部	6回
事務部	0回	臨床研修センター	10回		

* シミュレーター別利用実績

9回	レサシアン
6回	ALSトレーニングシミュレーター
5回	生体情報ベッドサイドモニター
4回	除細動器、採血・静脈シミュレーター フィジカルアセスメントトレーニングモデル
2回	吸入シミュレーター、筋肉注射トレーナー、エアウェイスコープ、 腰椎・硬膜外穿刺シミュレーター「ルンバールくんⅡ」
1回	装着式上腕筋肉注射シミュレーター、汎用超音波診断装置 CVC穿刺挿入シミュレーターⅡ、成人気道管理トレーナー、 女性導尿・浣腸シミュレーター

* 主な研修会、イベント等での利用実績

なし

医療技術部

薬剤室

令和5年度は、4月に非常勤薬剤師1名入職しましたが常勤薬剤師1名が退職しました。東京ベイ・浦安市川医療センター薬剤師レジデントプログラムの連携施設としてレジデント薬剤師3名が4月から12月までの間、3カ月間毎に地域医療、災害医療等を学びに研修に来ました。また、薬学実習生1名（Ⅱ期）を受入れました。

5月には新型コロナウイルス感染症が「5類」へ移行しましたが、全国的に製薬会社からの医薬品の供給が不安定な状態が継続し、当院においても医薬品の入手調整に苦慮しました。

薬剤師を募集しても応募がない状況のなか、10月に病院として薬剤師病棟配置プロジェクトが発足し、毎月1回、診療部・看護部・医療技術部及び薬剤室のメンバーで少数の薬剤師でも病棟業務ができる体制づくりに向け薬剤室の機械化及びシステム化を検討しています。

1月に発生した令和6年能登半島地震では、災害医療チームの一員として薬剤室長補佐を1月と2月に派遣しました。

今後も薬品管理の徹底、薬剤師確保に向けた更なる取り組み、薬剤業務の効率化、薬剤管理指導業務の充実及び病棟薬剤業務実施加算に向けた体制作り等に取り組んでいきたいと考えています。

【基本方針、目標】

*基本方針

- ・ 医薬品の安定供給と品質を確保し、適正使用の推進に努めます。
- ・ チーム医療を担う一員として、服薬指導などの臨床薬剤業務の充実を図ります。
- ・ 医薬品の最新情報の収集により、臨床の場のニーズにあった情報を提供し、医療の質的向上に寄与します。

*目標

- ・ 薬剤師としての職能を発揮する
職員へ向けて適切な情報の収集と発信
患者さんへの服薬指導など臨床薬剤業務体制の充実
- ・ 業務の効率化と人財確保
業務体制の定期的な見直し
積極的な人財募集の推進

【人員構成】（令和6年3月末現在）

薬剤師（常勤）	7名
薬剤師（非常勤）	2名
薬剤助手（常勤）	1名

【チーム医療への取組み】

- ・栄養サポートチーム
- ・褥瘡対策チーム
- ・緩和ケアチーム
- ・災害派遣医療チーム など

【実績】

*処方箋枚数・調剤件数

	外来（院外）	外来（院内）		入院	
	処方箋枚数	処方箋枚数	調剤件数	処方箋枚数	調剤件数
令和5年度	56,983	2,578	3,292	44,194	95,132
	院外処方箋発行率：95.7			中止処方率：15.7	
令和4年度	59,782	4,226	5,702	39,390	81,970
	院外処方箋発行率：93.5%			中止処方率：17.9%	
増減率	95.3%	61.0%	57.7%	112.2%	116.1%
	院外処方箋発行率：102.4%			中止処方率：87.7%	

*注射箋枚数

	外来	入院
令和5年度	19,938	160,197
		中止処方率：11.8%
令和4年度	20,900	178,417
		中止処方率：12.3%
増減率	95.4%	89.8%
		中止処方率：95.9%

*院外処方箋疑義照会

	疑義照会総件数	プロトコール対応数
令和5年度	2,989	1,379
令和4年度	3,144	1,403
増減率	95.1%	98.3%

*薬剤管理指導業務

	指導患者数	算定件数 (うち安全管理を要する件数)	麻薬管理指導加算
令和5年度	155	170(32)	13
令和4年度	476	556(219)	29
増減率	32.8%	30.6%(14.6%)	44.8%

*外来患者指導業務

	外来患者指導件数
令和5年度	531
令和4年度	678
増減率	78.3%

*持参薬鑑別業務

	鑑別件数	鑑別薬品数
令和5年度	743	4,372
令和4年度	823	4,916
増減率	90.3%	88.9%

*がん化学療法抗がん薬無菌調製

	外来実施 件数	入院実施 件数	キャンセル 件数	実施 総数
令和5年度	580	70	134	650
令和4年度	665	45	92	710
増減率	87.2%	155.6%	145.7%	91.5%

regimen	R5										R6			総計
	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1月	2	3		
胃	9	8	10	10	9	12	14	10	11	7	12	8	120	
Nivo	4	3	4	2	2	2	2	4	4	4	6	5	42	
SOX	1	1	1	2	1		1	1	1		3	1	13	
adj DS	2												2	
CPT-11						2	1						3	
Nivo+SOX		2	1	1	2	1	1						8	
RAM+wPTX			2	3	3	5	8	3	5	2			31	
RAM+wnab-PTX	2	2	2	2									8	
SOX+Nivo					1	2	1	2	1	1	3	2	13	
肝胆膵	20	25	22	19	18	12	10	16	15	13	11	15	196	
FOLFIRINOX						2							2	
GC	3	3	2	4	4	2	3	2				2	25	
GEM	6	11	9	5	7	3	3	6	5	6	4	5	70	
GS								2	2				4	
GEM+nab-PTX	11	11	11	10	7	5	4	6	7	5	5	6	88	

DGC									1	2	2	2	7
子宮				1									1
monthlyTC+Bmab				1									1
食道	1	1	2	4	3			1	2	2	2	2	20
DTX	1	1	1	2	1								6
Nivo								1	2	2	2	2	9
wPTX			1	2	2								5
大腸	17	21	22	21	21	17	19	18	14	17	22	16	225
FOLFIRI	3	4	6	5	3	6	7	4	3	1	3	1	46
mFOLFOX6					2		1	2		1			6
FOLFIRI+Pmab	1	2	2	1			1	2	1	1	1		12
FOLFIRI+RAM										1	1	1	3
CAPOX+BEV	1	5	3	3	6	3	4	3	4	4	5	4	45
FOLFOX+BEV	3	1											4
CAPOX								1	1	1			3
adj CAPOX	4	2	4	4	2	2	2	2	1	4	5	4	36
FOLFOX	1	1		1	1								4
FOLFIRI+BEV	1	2	3	2	3	2	2	3	3	4	3	3	31
CPT-11	2	2											4
FOLFOX+Pmab	1	1	1		1	1	2				1	1	9
CAPOX+Pmab		1	2	1	2	1							7
Cape+BEV			1	2		1		1	1		2		8
NAC FOLFOX6				1									1
FOLFOX6				1									1
FOLFOX6+BEV					1	1					1	2	5
乳	4	5	8	6	5	5	5	6	3	4	3	1	55
AC			1	2	3	1	1						8
DTX	1	2	1	2	1	3	3	4	1	1	2		21
wPTX	3	1	1		1	1	1	1	1	1	1		12
Atezo+nab-PTX		2	5	2									9
3wHPD								1	1	2			4
3wPTX												1	1
肺	9	11	4	3	3								30
AMR	3	8	4	3	3								21
CBDCA_ETP	3												3
PEM		1											1
CBDCA+PEM	1												1
CBDCA+nab-PTX	2	2											4
婦人科		1	1			1							3
TC		1											1
Atezo+nab-PTX			1										1
monthlyTC+Bmab						1							1
総計	60	72	69	63	60	47	48	51	45	43	50	42	650

*無菌調製

	実施件数	キャンセル件数
令和5年度	236	13
令和4年度	269	13
増減率	87.7%	100%

regimen	R4 4月	5	6	7	8	9	10	11	12	R5 1月	2	3	総計
REMICADE	1	3	1	3	1	4		3		3		3	22
ACTEMRA	13	16	13	15	14	15	15	18	15	16	8	16	174
IFX-BS	1	2	1	2	2	1	2	2	3	2	2	2	22
ORENCIA	2	2	2	1	2	1	2	2	1	1	1	1	18
総計	17	23	17	21	19	21	19	25	19	22	11	22	236

*院内製剤名及び調製量

件数：76件

製剤名	調製量	製剤名	調製量
3%酢酸水溶液 (300mL/瓶)	4 瓶	0.02% ボスミン液 (25mL/本)	62 本
50%トリクロロ酢酸 (50mL/瓶)	4 瓶	鼓膜麻酔液 (90mL/本)	1 本
2%メチレンブルー水溶液 (10mL/本)	19 本	20%ホルマリン液 (500mL/本)	1 本
20% 塩化アルミニウム液 (100mL/本)	5 本	0.06%ブロムヘキシシン吸入液 (50mL/本)	3 本
10%硝酸銀液 (20mL/瓶)	2 瓶	3%ルゴール液 (100mL/本)	5 本
Mohs 軟膏 (約 100 g /個)	6 個		

*塩酸バンコマイシンTDM実績

	件数 (初期投与設計を含む)
令和5年度	199
令和4年度	197
増減率	99.0%

【使用機器】

全自動錠剤分包機	調剤支援システム（薬袋印字機等）
全自動散薬分包機	注射薬調剤監査システム
薬剤管理指導（服薬指導）支援システム	水剤調剤支援システム
散薬調剤監査システム	注射薬混注監査システム（Add Dis）
錠剤充填システム（Chronos）	

【薬事委員会開催日及び新規採用薬品数と削除薬品数】

開催日	新規採用 薬品数	採用削除 薬品数	限定採用薬品 申請数(薬品数)	後発薬品への 変更数
令和5年 6月1日	5	9	21 (19)	0
8月3日	5	4	15 (15)	1
10月5日	3	4	17 (16)	0
12月7日	2	4	20 (17)	0
令和6年 2月1日	2	4	7 (7)	0
総 数	17	25	80 (74)	1

【院外活動実績】

瀬戸 弘和 令和6年能登半島地震支援（輪島市）
令和6年1月22日～1月28日

瀬戸 弘和 令和6年能登半島地震支援（石川県庁）
令和6年2月4日～2月9日

【発表等実績】

瀬戸 弘和 「災害医療への薬剤師の関わり」
日本救急医学会中部地方会学術集会
令和5年12月2日

瀬戸 弘和 「災害医療と薬剤師の関わり」
神奈川県病院薬剤師会研修会
令和6年2月2日

放射線室

【基本方針】

- ・患者さんが安心して、信頼して検査を受けられるよう努めます。
- ・患者さんの利益のために、常に学習し良質な画像情報の提供に努めます。
- ・常に放射線被ばくの低減を心がけ業務に従事します。
- ・常にチーム医療の一員として努めます。

【目 標】

- ・患者さまの人権やプライバシーに配慮した診療を心がけます。
- ・学術、研究のグローバル化を進めます。
- ・短時間かつ低侵襲で多くの情報を得られるよう、検査内容の充実化に常に努力します。
- ・日進月歩の医療技術に対して適正に判断し対応します。
- ・診療放射線技師の定員化の定着を目指します。
- ・技術指導者教育の体制強化を目指します。

【人員構成】

診療放射線技師 正職員：10名、パート（3時間勤務）：2名（令和6年3月末現在）

【主要機器】

モダリティ	装置名	メーカー名
一般撮影	RAD SpeedPro, UD-150B-L40	島津製作所
	DHF-155H4XC	富士フイルムヘルスケア
	フラットパネル	富士フイルムメディカル
CT	SOMATOM Definition Flash	シーメンス
	SOMATOM go.Top	シーメンス
MRI	SIEMENS Aera 1.5T	シーメンス
マンモグラフィ	AMULET Inovality	富士フイルムメディカル
血管造影撮影	SIEMENS Artis zee FA	シーメンス
X線TV	CUREVISTA APEX	富士フイルムヘルスケア
骨密度測定	Horizon Wi	HOLOGIC
外科用イメージ	BV Endura	フィリップス エレクトロニクス ジャパン
	OPESCOPE ACTENO	島津製作所
ポータブル	Sirius Star Mobile	富士フイルムヘルスケア
	CARNEO AQRO	富士フイルムメディカル
(健診) 胸部撮影	DHF-155H4XC	富士フイルムヘルスケア
(健診) 胃部 X線TV	SoniaVisionVERSA100R	島津製作所

【令和5年度 検査件数】

	一般 撮影	ポータ ブル	マンモ グラフ イ	CT	MRI	骨密度	血管 造影	透視
4月	1474	333	38	871	269	86	2	135
5月	1546	328	51	927	257	78	4	205
6月	1784	376	86	855	271	89	1	356
7月	1500	388	67	893	258	102	3	263
8月	1867	385	72	911	307	62	3	244
9月	1542	356	77	914	264	82	2	219
10月	1643	358	74	908	268	91	1	214
11月	1574	347	100	920	270	108	1	250
12月	1609	427	86	929	290	82	0	216
1月	1725	529	76	1001	229	113	4	219
2月	1555	410	74	886	227	87	2	224
3月	1769	404	47	954	297	78	1	209
合計	19588	4641	848	10969	3207	1058	24	2754

※透視の件数は各科の使用件数と健診（胃透視）の件数含む

CT・MRI 検査内容

		入院	外来	合計
CT	単純	1068	7721	8789
	造影	128	254	382
	単純+造影	107	705	812
	単純（3D）	289	577	866
	造影（3D）	16	38	54
	その他	0	0	0
	心臓	8	58	66
	CT 合計	1616	9353	10969
MRI	単純	312	2739	3051
	造影	6	78	84
	単純+造影	12	60	72
	MRI 合計	330	2877	3207

オープン検査

CT	令和5年度	令和4年度	増減	MRI	令和5年度	令和4年度	増減
4月	55	41	34.1%	4月	101	95	6.3%
5月	49	53	-7.5%	5月	90	95	-5.3%
6月	54	58	-6.9%	6月	86	91	-5.5%
7月	49	57	-14.0%	7月	72	86	-16.3%
8月	48	45	6.7%	8月	71	56	26.8%
9月	55	70	-21.4%	9月	70	88	-20.5%
10月	62	67	-7.5%	10月	80	72	11.1%
11月	46	43	7.0%	11月	72	89	-19.1%
12月	52	48	8.3%	12月	68	77	-11.7%
1月	44	39	12.8%	1月	69	73	-5.5%
2月	51	39	30.8%	2月	77	93	-17.2%
3月	48	57	-15.8%	3月	102	100	2.0%
合計	613	617	-0.6%	合計	958	1015	-5.6%

健診

	胸部	胃	マンモ	骨密度	CT	MRI
4月	185	57	14	8	15	9
5月	293	141	31	9	0	2
6月	576	287	69	14	0	6
7月	352	212	44	9	5	24
8月	683	192	43	7	8	48
9月	335	159	44	13	6	31
10月	471	154	45	1	1	23
11月	479	190	68	6	20	39
12月	435	160	55	9	6	24
1月	421	173	56	10	10	13
2月	441	168	44	7	0	11
3月	426	149	31	4	9	16
合計	5097	2042	544	97	80	246

2023年度と2022年度との比較

	一般撮影	ポータブル	マンモグラフィ	CT	MRI	骨密度	血管造影	透視
2022年度	20436	4156	733	10925	3256	1061	43	2817
2023年度	19588	4641	848	10969	3207	1058	24	2754

※透視の件数は各科の使用件数と健診（胃透視）の件数含む

【今年度を振り返って】

- ・ 人員の増減はありませんでした。
- ・ 青森県六ヶ所村医療センターへ技師の支援。（4月3日～19日木下、4月17日～25日山口）
- ・ 台東区立台東病院へ技師の支援。（9月4日～29日太田、12月4日～28日太田）
- ・ 5月に外科用イメージを更新しました。（島津社 OPESCOPE ACTENO に更新）
- ・ 6月から技師のカルテチェックによる画像所見未読影防止対策を開始しました。
- ・ 3月に同室内設置であった骨密度・マンモ室の改築をおこない、各個別の撮影室となりました。
- ・ 3月にマンモ装置を更新しました。（富士フイルムメディカル社 AMULET Inovality）
- ・ 3月に骨密度装置を更新しました。（HOLOGIC 社 Horizon Wi）
- ・ 放射線室での急変時対応訓練を5月、3月に開催しました。

【学術実績】

- ・ 外部団体等での発表はありませんでした。

【研修参加実績】

WEBによるオンライン勉強会、研究会、学会、講演会等に積極的に参加しました。

【資格取得者】

- ・ 日本X線CT認定技師：3名
- ・ マンモグラフィ撮影認定技師：3名
- ・ 放射線管理士：1名
- ・ 放射線機器管理士：1名
- ・ 医療安全管理者養成研修修了者：1名

令和6年3月31日現在

臨床検査室

【基本方針】

- * 思いやりの心を持ち、患者様から信頼される臨床検査の提供に努めます。
- * 臨床との連携を高め、迅速かつ正確な臨床検査情報を提供します。
- * 感染情報発信の場として、的確な情報を提供し院内感染の拡大防止に努めます。
- * 地域の中核病院として、災害に強い臨床検査室を目指します。

【目標】

- * 業務の効率化
 - ・ 業務の複数担当化
 - ・ 情報の共有
- * スキルアップ
 - ・ 各員の勉強会参加、認定資格等の取得
- * 健全経営
 - ・ 低価格同等品の積極的な導入
 - ・ 輸血製剤廃棄率の低減
 - ・ 生理検査を含めた業務効率化

【目標に対する評価】

- * 月1回のミーティング開催は漏れなく行われており今後も継続。
- * 細胞検査士育成の為、部署内で研修、勉強会等への参加協力。
- * 新型コロナの影響で実施できていなかった部署内勉強会を再開できた。
- * 昨年通り新型コロナPCR検査を24時間対応可能な体制を維持できた。
- * 生理検査の予約枠改善には取り組めなかった。

【人員構成】 令和6年3月現在

臨床検査技師・・・全16名（1名時間勤務職員）

11名・・・検体検査（病理検査含む）

5名・・・生理機能検査

16名（1名時間勤務職員）の技師で1名当番制の夜間勤務業務を行っています。

AM8：00より健診業務を交替制で行っており件数・項目増加に伴い2名体制の対応。

検体検査、生理検査より計3名の技師が採血室で採血業務。

病理検査は5名の技師により交替で行っています。（1名時間勤務者）

【室員所有資格一覧】

糖尿病療養指導士 認定超音波検査技師（健診・心臓）

細胞検査士 認定微生物検査技師 認定血液検査技師、血液学二級検査士

【勉強会・研究発表実績】

特筆すべき事例なし

【外部精度管理参加実績】

5月・・・静岡県医師会臨床検査精度管理調査

9月・・・日本医師会臨床検査精度管理調査

適宜・・・試薬メーカー等が実施する精度管理調査

【主要分析装置】

検体検査測定機器	生理機能検査測定機器	その他機器
多項目自動血球分析装置	心電計	病理標本自動染色装置
全自動血液凝固装置	長時間心電計	病理標本自動封入装置
生化学自動分析装置	長時間心電計解析装置	病理組織自動包埋装置
全自動免疫測定装置	負荷心電図測定装置	凍結切片作成装置
ヘモグロビンA1c測定装置	肺機能測定装置	
ビリルビン測定装置	脳波記録計	
アノミア用測定装置	誘発電位測定装置	
輸血検査用自動測定装置	鼻腔通気度計	
血液ガス分析装置	24時間血圧計	
自動細菌検査装置	血圧脈派測定装置	
自動血液培養装置	簡易聴力測定装置	
尿定性分析装置	超音波診断装置	
尿素呼気試験測定装置	自動聴性脳幹反応聴力検査装置	
血沈自動読み取り装置		
全自動遺伝子解析検査装置		

【主要迅速検査キット】

インフルエンザ抗原検出キット	HBs抗原検出キット
アデノウイルス「眼・咽頭用」	HCV抗体検出キット
A群連鎖球菌抗原検出キット	梅毒トレポネマ抗体検出キット
RS-hmpウイルス抗原検出キット	マイコプラズマ抗原検出キット
マイコプラズマ抗体検出キット	尿中肺炎球菌抗原検出キット
尿中レジオネラ抗原検出キット	便中ノロウイルス抗原検出キット
便中ロタウイルス抗原検出キット	プロカルシトニン半定量キット
H-FABP検出キット	便中CDトキシンA/B検出キット
新型コロナ抗原検査キット	

【令和5年度検査実績】

検査部門	検査件数	健診件数	合計
血液検査	54,810	5,177	59,987
生化学検査	83,334	5,306	88,640
免疫検査(キット含む)	16,333	1,236	17,569
尿・一般検査	20,705	14,517	35,222
細菌検査(抗酸菌含む)	6,406	該当なし	6,406
生理機能検査	13,677	11,258	24,935
病理検査(迅速含む)	2,934	左記に含む	2,934
輸血検査	3,529	該当なし	3,529
新型コロナPCR	1,828	該当なし	1,828
交差試験(総パ°キット数)	842	該当なし	842
院内検査合計	204,398	37,494	241,892
外注検査	29,630	左記に含む	29,630
合計	234,028	37,494	271,522

「輸血検査」(血液型・不規則性抗体)

【院内委員会活動他】

院内感染防止対策委員会、輸血療法・血液製剤委員会、臨床検査委員会、医療安全管理委員会、労働安全衛生委員会、褥瘡対策・スキンケア委員会、診療録管理委員会、学術委員会、情報委員会、HCU運営委員会、ドック・健診委員会、シミュレーションセンター運営委員会、療養環境改善委員会、診療体制検討委員会、DMAT

【令和5年度を振り返って】

新型コロナウイルス感染症が5類となり、入院時検査が迅速キット使用へ移行したのに伴いPCR検査の需要が減り、昨年度は5,000件あった件数が1,800件まで件数が減少した。アフターコロナを見据えた検査体制を構築したいが、入院患者数の減少等が影響し他項目も件数減少が多く見られ着手できずにいる。

昨年度は開催できなかった部署内勉強会を再開し、知識、技術の向上に繋げることができた。新型コロナの感染状況を見ながら、勉強会の頻度を増やしていきたい。

病理検査部門

【人員構成】

病理医・・・・・・・・常勤1名

臨床検査技師・・・・5名（1名時間勤務者）

【令和5年度実績】

術中迅速検査・・・・26件

病理組織・・・・・・・・手術材料・生検件数合計1,297件

細胞診・・・・・・・・1,610件

剖検・・・・・・・・3件（6月、11月2症例 合計3症例実施）

【令和5年度を振り返って】

病理組織検査の件数は減少したが、細胞診検査の件数は増加した。今年度は剖検実施数が少なくCPCへ出す症例数が逼迫しており、来年度は剖検件数の増加を目指し対応していきたい。

また、免疫染色標本の標準化を目指し、機器購入も視野に入れた検討を行っていきたい。

栄養室

【基本方針・目標】

*基本方針

「人間栄養学」に基づき、積極的な栄養治療を追求する。

患者・家族の気持ちと生活を大切に、退院後の生活を視野に入れた栄養ケアを行う。

*目標

患者一人一人の病態にあった食事の提供で満足向上をめざす。

栄養ケア・マネジメントシステムの確立

*評価・反省

管理栄養士人員調整。業務調整より栄養指導件数の実績増加率25%でした。

【人員構成】（令和5年度3月末現在）

*栄養室

管理栄養士 4名

非常勤管理栄養士1名 週2回

栄養士 1名

令和5年9月13日 学生見学

令和5年9月20日 面接1名 11月採用

令和5年10月21日 面接2名 令和6年度新卒採用

令和6年3月31日 退職1名

*評価・反省

栄養室クリニカルラダー臨床管理栄養士育成プログラムを作成し令和6年度新卒採用に向けて教育体制を整えた。毎月第3木曜日に栄養室内研修を鈴木結貴が担った。

*給食

給食委託は平成17年より株式会社LEOCと契約し継続。

給食業務は病院栄養士が献立を作成し、食材発注と管理、調理、配膳、洗浄を委託としています。委託業者には管理栄養士、栄養士、調理師、調理補助の23名のスタッフが従事しています。

【実績】

*給食管理

院内約束食事基準にしたがい、医師の指示により食事提供を行いました。

	一般食	濃厚流動食	特別食	特別食割合
令和 4 年度	109,481	7,369	55,725	32.3%
令和 5 年度	113,722	5,296	58,550	32.9%

*食の楽しみの提供

季節行事をテーマとして年間15回行事食を提供しました。

*嗜好調査

令和6年2月29日に 人を対象に嗜好調査を行いました。

*実習生受け入れ

令和5年8月7日～8月11日 日本大学短期大学部 食物栄養学科 2名

令和6年2月26日～3月8日 静岡県立大学3年 1名

*栄養管理

多職種のスクリーニングにより、「特別な栄養管理の必要がある」と判断された患者に栄養管理計画を作成、栄養ケアを実施しました。

管理栄養士病棟配置に向けての人員調整を行いました。

*栄養指導

医師の指示により外来・入院時の栄養指導を行いました。

	外来栄養指導	入院時栄養指導	合計
令和 4 年度	984	675	1,659
令和 5 年度	1272	807	2,079

*栄養サポートチーム

毎週火曜日、チームによるカンファレンス・回診を行いました。

	回診件数	実人数
令和 4 年度	341	118
令和 5 年度	365	152

各種Web研修の情報を、NSTメンバーを中心に配布し、それぞれの職場、個人での視聴学習を行いました。

DWH-GXを使用し低Alb血症の抽出を行い対象者のスクリーニングを行いました。

* 早期栄養介入管理加算

人員の増員を計画し HCU での算定を令和 6 年 2 月より算定開始いたしました。

令和 5 年度	2 月件数	3 月件数
400 点	33	77
250 点	41	58

* 研究発表等

令和 5 年 7 月 13 日 給食協会栄養士研修会 14:00~17:00

「学会分類嚥下調整食に準じた取り組み」講師 須藤優希

令和 5 年 11 月 20 日 (月) 17:15~18:30 講堂 1・2

「アフターコロナ～コメディカルの関わり～」プレゼンター 須藤優希

令和 6 年 2 月 日 学術委員会 14:00~17:00

「学会分類嚥下調整食に準じた取り組み」講師 須藤優希

(5) リハビリテーション室

【基本方針、目標】

*基本方針

- ・リハビリテーション医療の技術を通じ、患者様のADL（日常生活動作）及びQOL（生活の質）の向上に努めます。
- ・急性期→回復期→生活期への移行に向けた医療の一員として、チーム医療の調和に努めます。

*目標

- ・急性期から在宅までシームレスなリハビリテーション提供体制の拡充

*評価・反省

- ・地域生活への移行、定着を目指して入院及び外来対象者にリハビリテーションを実施しました。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類に分類後、退院調整カンファレンスへ積極的にリハ職が参加したり、リハビリ見学を受け入れて円滑に地域移行できるよう取り組みました。
- ・理学療法において、回復期リハビリテーション病棟だけでなく、一般病棟においても365日訓練提供体制を継続しました。
- ・口腔ケアプロジェクトを通じて、食事に関わる課題に対し他部門と協力して対策を打ち出すことができました。
- ・医療保険の在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料による退院直後の在宅訪問についてはほとんど実施できませんでした。
- ・伊東市介護老人保健施設みはらしへ、理学療法士1名を6ヶ月間派遣しました。
- ・真鶴町国保診療所へ理学療法士を1名、週1日、6ヶ月間派遣、作業療法士を1名週2回、1年間派遣しました。
- ・療法士数が不足している状況が続いており、求人活動の継続と、新人・若手の教育に注力します。

【人員構成】（令和6年3月末現在）

理学療法士	14名	
作業療法士	9名	
言語聴覚士	2名	計 25名

【業績】

＊リハビリテーション実施数

昨年度と比較すると全体的にリハビリテーション対象者はやや減少傾向でした。脳血管疾患等リハビリテーション、心大血管疾患リハビリテーションが減少し、廃用症候群リハビリテーション、がん患者リハビリテーションが増加しました。

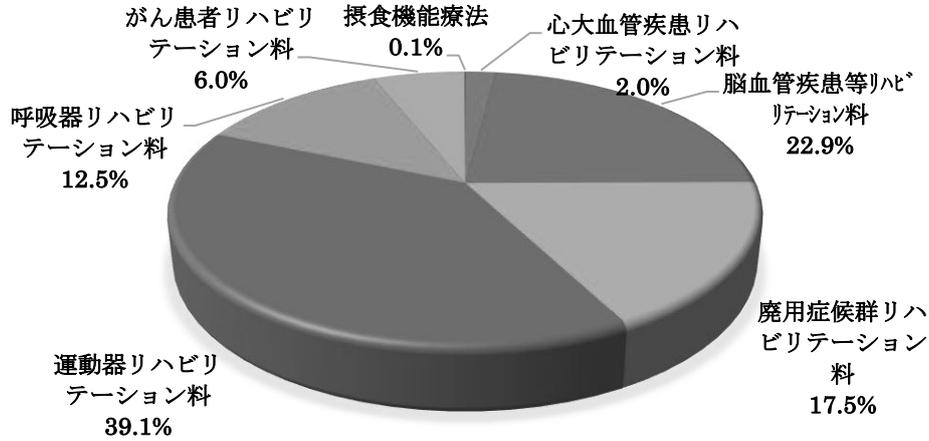
疾患別リハビリテーション料実施患者数（延人数）

項 目	理学療法	作業療法	言語聴覚療法
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）	819	304	—
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）口以外	6732	5402	680
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）要介護	0	0	0
脳血管疾患等リハ料（Ⅰ）（要介護・目標未設定）	0	0	0
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）・目標未設定	52	21	1
合計	6784	5423	681
廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）	6828	2551	311
廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）・目標未設定	112	29	0
合計	6940	2580	311
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	14818	7130	—
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）・目標未設定	67	0	—
運動器リハ料（Ⅰ）（要介護・入院外・目標未設定）	0	0	—
合計	14885	7130	—
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	4694	1662	700
総計	34122	17099	1692

その他実施患者数（延人数）

項 目	理学療法	作業療法	言語聴覚療法
がん患者リハビリテーション料	2043	1327	0
摂食機能療法	0	0	30
在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料	3	0	0

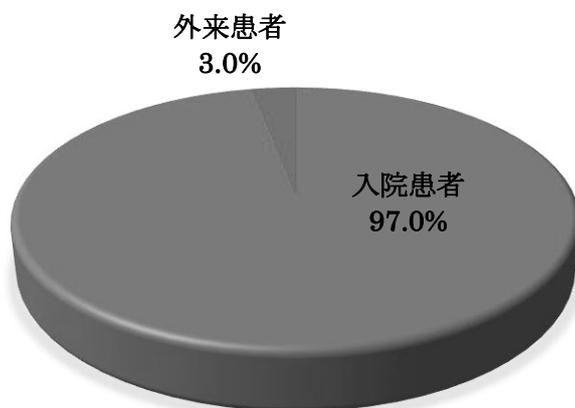
疾患別リハビリ等延人数割合（全体）



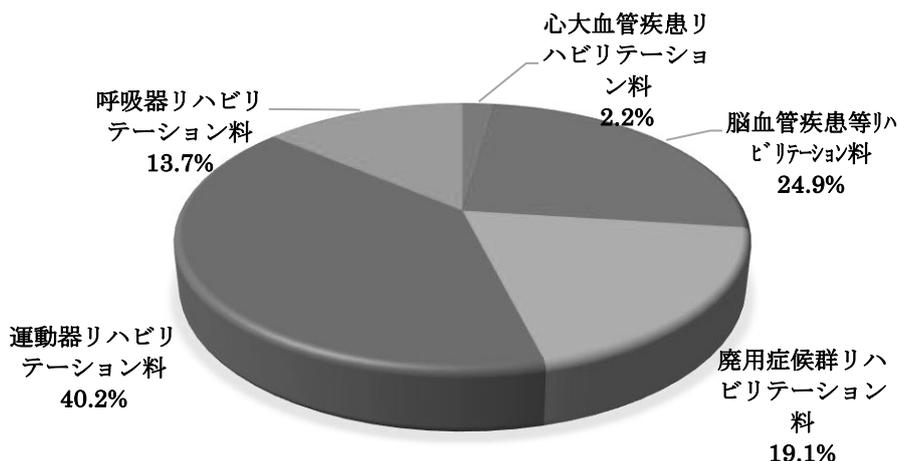
疾患別リハビリテーション料実施患者数（入院外来別延人数）

項目	入院	外来	全体
心大血管疾患リハビリテーション料（I）	1123	0	1123
脳血管疾患等リハビリテーション料（I）口以外	12690	124	12814
脳血管疾患等リハビリテーション料（I）要介護	0	0	0
脳血管疾患等リハ料（I）（要介護・目標未設定）	0	0	0
脳血管疾患等リハビリテーション料（I）・目標未設定	74	0	74
合計	12764	124	12888
廃用症候群リハビリテーション料（I）	9639	51	9690
廃用症候群リハビリテーション料（I）・目標未設定	141	0	141
合計	9780	51	9831
運動器リハビリテーション料（I）	20549	1399	21948
運動器リハビリテーション料（I）・目標未設定	67	0	67
運動器リハ料（I）（要介護・入院外・目標未設定）	0	0	0
合計	20616	1399	22015
呼吸器リハビリテーション料（I）	7052	4	7056
総計	51335	1578	52913

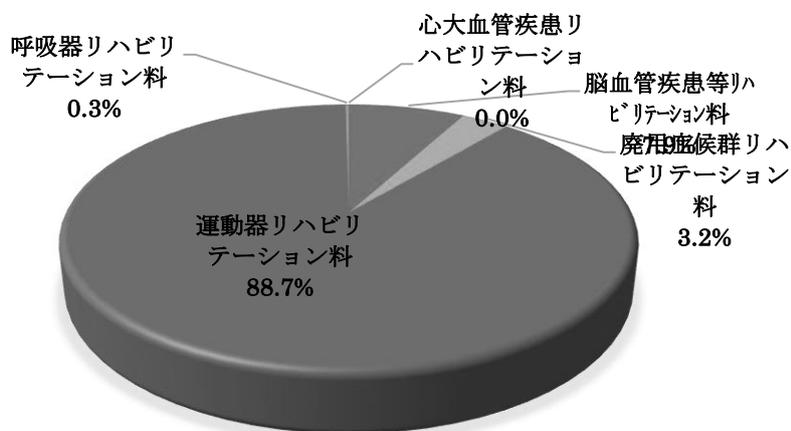
入院・外来リハビリテーション実施割合



疾患別リハビリ延人数割合（入院）



疾患別リハビリ延人数割合（外来）



【その他】

＊静岡県熱海伊東圏域地域リハビリテーション強化推進事業

熱海・伊東圏域地域リハビリテーション強化推進事業における支援センターとして、伊東市、熱海市の介護従事者や一般市民に対する事業の企画運営に関与しました。

事業内容

日付	タイトル	対象者
令和5年6月1日～令和6年3月31日	リハビリテーションマップ作成協力	
令和5年6月1日～令和6年3月31日	ノベルティグッズ（ペットボトルオープナー）作成	
令和5年7月25日 令和5年6月23日 令和6年2月19日	第1回連絡協議会（web） 第1回実務者連絡会 熱海市・伊東市意見交換会	評議員 実務者 広域支援センター・支援センター・行政（県・各市）
令和5年7月9日 令和6年3月10日	暮らしと医療と介護の合同相談会 暮らしと医療と介護の合同相談会	市民・県民
令和6年2月9日	多職種研修会 「広く知っておきたい摂食嚥下の基礎知識」	医療介護従事者
令和6年3月8日	ケアマネジャー対象研修会 「自立支援の視点を再考しよう～数字で見る生活行為～」	ケアマネジャー （医療介護従事者）

＊地域活動

日付、回数等	事業名
年間30回	伊東市介護認定審査会(伊東市役所：梶原、木村)
年間26回	介護予防事業へ理学療法士派遣
年間3回	自立支援型地域ケア会議へ作業療法士派遣

*学会発表等

期間	学会名	演題名	発表者
令和5年9月2日	日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	当院独自に作成した摂食嚥下評価フローチャートの効果について	宮上ひかり
令和5年11月11日	第57回日本作業療法学会	慢性心不全患者の生活行為に着目した急性期病院と地域との連携	鈴木嘉子 木村道恵 梶原幸信
令和5年12月23日	日本リハビリテーション教育学会	理学療法士の自己調整学習方略における課題の把握	廣川裕人

*学生の受け入れ

令和5年度は中学生、高校生等の職業見学はありませんでした。

臨床実習は、理学療法学生8名、作業療法学生3名の実習を受け入れました。

*研修医の受け入れ

当院臨床研修センターの初期研修医3名の研修を受け入れました。

臨床工学室

1. 【基本方針】

- ・医療機器の安全性を向上させ患者さまに安心して治療して頂けるように努めます。
- ・チーム医療を担う一員として医療機器の保守、管理業務の充実に努めます。
- ・医療機器の情報を臨床の場に提供し医療機器を安全に使用できるように努めます。

【目標】

- ・MEセンターにて管理する医療機器の点検を確実に実施する。
- ・安全に医療機器を使用する為に使用方法や管理方法の徹底をする。

2. 人員構成（令和6年3月末現在）

臨床工学技士 2名

3. MEセンターで中央管理している機器（令和6年3月末現在）

機器名	メーカー	機種名	台数
輸液ポンプ	テルモ	TE-261	90
シリンジポンプ	テルモ	TE-351	35
		TE-371	3
人工呼吸器	日本光電 フィリップス	ハミルトン C1	6
		V60	3
簡易人工呼吸器	スミスメディカル	パラパック 200D	1
		パラパックプラス	1
ネーザルハイフロー	フィッシャーアンド パイクル	AIRV02	5
ベッドサイドモニタ	日本光電	PVM-2703	28
	日本光電	PVM-4763	21
	日本光電	BSM-6501	14
	日本光電	BSM-6701	4
	日本光電	BSM-2301	15
送信機	日本光電	ZS-930P	15

	日本光電	ZS-630P	26
セントラルモニタ	日本光電	CNS-2101	2
	日本光電	CNS-6101	3
	日本光電	CNS-9601	2
テレメータ	日本光電	WEP-5208	2
	日本光電	WEP-4204	1
	日本光電	WEP-1200	1
除細動器	日本光電	TEC-5531	4
	日本光電	TEC-5521	7
	日本光電	TEC-5631	2
低圧持続吸引器	泉工医科	メラサキューム MS-009	4
人工透析装置	日機装	DBB-27	1
血液浄化装置	旭化成メディカル	ACH-Σ	1

4. 業務

(1) 点検業務

中央管理機器の使用後、使用前点検を兼ねて貸出点検とし、返却後の機器の清掃・点検を行いました。また、各機器のメーカー推奨の期間で定期点検を行いました。

(2) 貸出業務

貸出点検が終了した機器を各部署に貸し出します。その際、医療機器管理ソフトを使用し円滑に行いました。

(3) 使用中点検業務

人工呼吸器に対しては、使用中点検を行いました。患者さまに使用している機器を看護師と共に機器本体のチェック、各種設定の確認を行いました。

(4) 機器管理業務

不具合のある機器の修理依頼や各機器の情報などメーカーと連絡をとり、機器の管理を行いました。

(5) 臨床支援業務

集中治療室や病棟での各種医療機器関連業務、救急外来での機器の装着、ペースメーカーチェックなどを積極的に行いました。

(6) 院内学術活動

医療機器安全推進チームと協力し、勉強会を企画・実施しました。

6. 現況

人工呼吸器のバージョンアップに伴い変更された機能や画面などの操作説明会を開催しました。また、機器に対する知識を向上するためにメーカーから情報を収集しました。

新病院移転から10年が経過しテレメータ関連の電波状況の悪化がみられ、各病棟の調査を行いました。

臨床工学室で管理している各種マニュアルを見直し、改訂を行いました。

4. 看護部

(1) 看護部総括

【看護部理念・基本方針】

* 看護部理念

私たちは、患者さんに満足していただける看護を提供します。

患者・家族との信頼関係を基盤とした看護の実践

* 基本方針

- ・ 個の尊重と共同した関わりを大切にします。
- ・ 看護の専門性・実践力を高めます。
- ・ チーム医療を推進します。
- ・ 病院経営に参画します。
- ・ 自立性、主体性、自ら変革する力を育てます。

【2023年度の看護部における重点目標】

1. 安全で質の高い看護の提供

1) 患者・家族にとっての最善を常に考え、チームで継続した看護が提供できる

2020年度から固定チームナーシングを導入し、今年度で4年目となった。引き続き、今年度も各部署でチームリーダーが中心となってチーム活動を実施。チームリーダー会を月に一度開催し、チーム活動を進めていく上での実践方法や各部署の現状を情報共有することで有効な活動ができるよう支援した。

2) 看護専門職として、責任と成果のある看護をチームで展開し実践する

2023年3月に大幅な病棟編成に伴う、看護体制の変更を開始した。各部署総リーダー制と機能別看護（フリー業務）を導入した。

3) 災害時における危機管理体制の整備

各部署での発災時の初動活動ができるよう、アクションカードのチェックリストの内容や活用方法を見直した。今後も、昼夜問わず発災時に行動が実践できるよう災害マニュアルを計画的に更新していく必要がある。

2. 働き方改革の推進

1) 看護業務の効率化：固定チームナーシングの実践

2) 時間外勤務の削減（平準化の視点と工夫）

8月のユニフォーム更新とともに、日勤帯と夜間帯のユニフォームを分け、時間外勤者を明確化することで時間外の業務依頼を減らすよう対策を行った。

3) 特定技能生の受け入れ

ミャンマーより特定技能生5名を受け入れた（2023年12月3名。2024年3月2名）。業務内容は看護補助者業務全般を実施してもらった。言葉や習慣の違いがあるが、技能生を総括している会社と連携を図りながらコミュニケーションの方法を学び技能生担当者においてオリエンテー

ションに力を入れ、スムーズに仕事ができるよう関わった。

4)安全な職場づくり (労働安全衛生ガイドライン)

3. 人材育成と自己啓発・研鑽の推進

1) 病院理念、看護部理念、「協会共通ラダー」と固定チームナーシングの連動；働くこと学ぶこと成長することが一体化する組織環境創り

2) “自己研鑽のための学習環境の整え

ナーシングスキルの活用

紙媒体のマニュアル活用を廃止し、電子媒体の運用のみに切り替えた。それを機会に基準手順委員会で活用方法を検討した。

3) 特定ケア看護師、専門／認定看護師コース進学の推進

2024年4月より感染管理認定看護師研修を1名受講開始。皮膚・排泄ケア認定看護師が特定行為研修受講（領域：外科系基本領域 10月～2025年1月）

4) マネジメントラダーの活用と倫理的組織運営の在り方を考え実践につなげることによる看護管理者としての成長

4. 地域との連携推進

1) 地域の看護職（療養型、訪看、老健、行政、その他）との連携推進

2) 専門看護師、認定看護師による地域での活動促進

感染管理認定看護師が熱海・伊東医療圏内の介護施設、療養型病院、特別養護老人ホームへ赴き、感染予防の講義と実技演習を実施。

5. 病院経営への積極的な参画

1) 効果的な病床管理による基準の確保

2024年3月1日から4北病棟を周産期サテライト病棟へ運用を変更した。

2) アフターコロナへの対応

3) 周産期体制の再建

4) 人財確保による、基準の確保

【人員構成】（2024年3月末日現在）

職種・役職	人数	備考
看護部長	1	
副看護部長	0	
看護師長	11	
看護主任	15	うち保健師 1名
助産師	3	
看護師	130	
准看護師	5	
介護福祉士	13	
看護助手	21	
クラーク	13	
産休・育休・休職	1	
計	213	

【院内継続教育研修】

新人看護教育研修

1. 概要

今年度の研修目的	職業人としての自覚を持ち、看護に必要な「知識」「技術」「態度」を学び看護実践の基礎を習得する。また、伊東市民病院の一員として役割遂行ができる。
研修目標	厚生労働省「新人看護職員研修ガイドライン」改訂版から、臨床実践能力に必要な3要素の習得を目指し、それを基盤に自己研鑽することを目指す。(Ⅰ基本姿勢と態度 Ⅱ技術的側面 Ⅲ管理的側面) 添付資料参照 集合研修で学んだ知識・技術・態度を職場で生かし、看護の大変な中にも素晴らしさがあることを実感し、新人同士でお互いの成長に影響しあえる仲間づくりができる。「自分になりたい看護師像」を下に、振り返りは1, 3, 6, 12か月ごとに自己にて行い、各所属へフィードバック。 技術チェックは6月、9月、12月、3月に自己・実地指導者で行う。
委員の任務	基礎教育では学べない、医療チームの中で複数の患者を受け持ち、多重課題を抱えながら、看護を安全に提供するための臨床実践能力を強化することに主眼を置き指導する。またコロナ禍で実習経験不足を考慮し、患者との関わり方やVS測定なども集合研修で再確認していく。 集合研修で学んだ知識・技術・態度を職場で生かせるよう、各所属のスタッフ全員が新人を見守るサポート体制を構築できるような調整を目指す。
開催日	4/4、5、6、7、10、11 5/18、25 6/2、16 7/7 8/4 9/1 10/12 11/10 2/2 3/1 (第1金曜日)
委員長/副委員長	築地師長、曾根主任、上原主任、佐藤主任
構成員	築地、曾根、杉本(OP)、坂下(5北)
その他	年度初めに各所属へ、今年度の狙いや夜勤見学等の依頼文を提示

2. 研修実績

月 日	研修内容	備考
4/4 (火) 終日	看護部の基本理念・ワークルール、継続教育・社会人基礎力・院内見学	看護部長 築地・曾根
4/5 (水) 終日	接遇・コミュニケーション、看護倫理ディスカッション、院内専門看護師紹介、点検物品説明(QQカート、DC、モーター) フィジカルアセスメント(身体診察)	築地・曾根
4/6 (木) 終日	院内防災・災害拠点病院、医療安全、レジリエンス、ストレスから自分を守るセルフケア	伊藤師長、出口師長 築地師長・曾根
4/7 (金) 終日	感染対策、電カル研修、情報リテラシー	島田感染室長・坂本感染リンク NS、太田

		鈴木情報委員会師長
4/10 (月) 終日	技術演習 (静脈採血・薬剤調整、静脈路確保)	築地師長・曾根 八木恵、小川 小西・土屋保健師
4/11 (火) 終日	技術演習 (酸素療法・吸引) 協会からの新人視聴ビデオ	築地師長・曾根
5/18 (木) 13-17	医療機器演習 (ポンプ・モニター)	ME 飯田室長 築地師長・杉本・坂下
5/25 (木) 13-17	心電図の基礎 (日本光電) 12誘導取り扱い、検体の取り扱い	杉本 臨床検査技師 (鈴木)
6/2 (金) 13-17	技術演習 (筋注・皮下注) 医薬品の知識	杉本・坂下 薬剤師
6/16 (金) 13-17	BLS手技 (AED、応援要請、SBAR報告) 看護記録の書き方 (SOAP、看護診断)	集中ケアNS 園田 佐藤主任
7/7 (金) 13-17	看護必要度と記録 化学療法のとりあつかい	伊藤師長 林師長
8/4 (金) 13-17	スキンケアの知識 KYT、CLIPの振り返り方	WOC 佐藤師長 出口師長・杉本・坂下
9/1 (金) 15-17	急変時の初期対応	集中ケアNS 園田 杉本・坂下
10/12 (金) 13-17	医療機器演習 (呼吸器・NPPV・HFNC)	ME 飯田 築地師長・杉本・坂下
11/10 (金) 15-17	6ヶ月振り返りレポート	築地師長・杉本・坂下
2/2 (金) 13-17	看護計画・立案 レポートの説明	築地師長・杉本・坂下
3/1 (金) 13-17	1年の振り返りレポート発表	築地師長・杉本・坂下

レベル I 研修

1. 概要

今年度の 研修目的	<p>レベル I の行動目標を理解し、On-Job で行動目標を達成できるよう、Off-Job 研修を実施する。</p> <p>※レベル I の定義：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得ながら看護を実践する ・所属している部署のメンバーとして役割を果たせる ・指導・助言を受けながら自己の教育課題に気づくことができる
--------------	--

<p>研修目標</p>	<p>1) 固定チームシフト</p> <p>① 固定チームシフトにおけるそれぞれの役割を理解し、メンバーシップを実践することができる。</p> <p>② リーダーシップとは何かを知る</p> <p>2) 教育・指導</p> <p>助言を受けながら新卒新人の支援ができる</p> <p>3) 医療安全</p> <p>ケアの受け手の安全を確保する手順を遵守するための基本的な行動ができる</p> <p>4) 看護倫理</p> <p>① 自己と他者の価値観の違いを認め、ケアの受け手の持つ感情についてありのままに受け入れることができる。</p> <p>② 意思決定に必要な場に参加し、ケアの受けての権利に気づくことができる。</p> <p>③ ケアの受け手を取り巻く他職種を理解し、医療・介護・福祉のしくみを理解する。</p> <p>5) 看護記録</p> <p>ケアの受け手の安全・安楽・安寧に関する視点を理解し、必要な情報収集の4つの側面と、基本的な収集方法が理解できる。</p> <p>6) 救急・災害</p> <p>① バイタルサインをもとに助言を受けながら患者の状況を判断し緊急に応じた観察をし報告、連絡、相談ができる。</p> <p>② 急変時の応援要請の方法や、急変している患者への必要な処置を、指導を受けながら実践できる</p> <p>7) 看護研究の基礎</p> <p>自分の患者のケアを振り返り、文章でまとめる方法を理解する (看護研究の基礎を理解する)</p>
<p>委員の任務</p>	<p>・ Off-Job 研修の計画と開催</p> <p>・ Off-Job と On-job との連携を強化する取り組みを行う</p>
<p>開催日</p>	<p>第1木曜日</p>
<p>委員長/副委員長</p>	<p>佐藤 千恵／太田 未紗紀 (10月まで)</p>
<p>構成員</p>	<p>HCU：児玉 野愛／住吉 琴菜</p> <p>4北：野中 楨南</p> <p>5南：田中 飛名／萩原 優香／松田 鮎美</p> <p>5北：木部 葉月／佐藤 あいり</p> <p>手術室：大塩 明日香／曾澤 萌加</p> <p style="text-align: right;">計 10 名</p>
<p>その他</p>	<p>研修方法</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回の研修時間は1時間 17:15～18:15 ・ 年間7時間開催する (5月/6月/7月/8月/9月/10月/11月) ・ 研修内容により、講師が異なる場合がある
--	--

2. 研修実績

月 日	研修内容	備考
5月2日(火)	目標1) 固定チームワーク ○ 固定チームワークのそれぞれの役割について ○ メンバーシップについて	組織役割遂行能力 協働する力 担当：佐藤
6月1日(木)	目標2) 教育・指導 ○ チューターシップとは ○ コミュニケーションの基本	組織役割遂行能力 担当：佐藤
7月6日(木)	目標3) 医療安全 ○ 安全確保の技術 ・ 転倒転落リスク評価について ○ ハンディケアルスキルについて ○ clipとは	ケアする力 担当：佐藤
8月3日(木)	目標4) 看護倫理 ○ 倫理的視点～倫理的ジレンマとは～ ○ 意思決定支援	協働する力 担当：上原
9月7日(木)	目標5) 看護記録(急変時記録を含む) ○ 看護過程と看護記録 ○ 急変時記録	ニーズを捉える力 担当：佐藤
10月5日(木)	目標6) 救急・災害 ○ 急変時の対応 ・ 急変とは ・ フィジカルアセスメントと SBARでの報告の仕方	ケアする力 講師：集中ケア認定看護師＝園田絵利
11月2日(木)	目標7) 看護研究の基礎 ○ 看護研究の基礎	担当：上原

レベルⅡ研修

1. 概要

今年度の研修目的	レベルⅡの行動目標を理解し、On-Job で行動目標を達成できるよう、Off-Job 研修を実施する。 ※レベルⅡの定義： ・ 標準的な看護計画に基づき、自立して看護を実践する。
----------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・看護チームのリーダーとしての役割や、係および委員会活動における役割を果たすことができる。 ・自己の教育的課題を見出す。
研修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 固定チームシフト <ol style="list-style-type: none"> ① 固定チームシフトにおける、受け持ち看護師としての役割を理解し、メンバーシップを発揮する ② リーダーの役割と、リーダーとリーダーシップの違いを理解する 2) 教育・指導 レベルI以下にある人などの育成に尽力する（または学生指導やフォローができる） 3) 医療安全 安全にケアを実施するために、安全を確保する方略を理解する 4) 看護倫理 <ol style="list-style-type: none"> ① 意思決定プロセスについて理解し、ケアの受け手の価値観や思いを反映したケアの重要性を理解する ② ケアの受け手を中心とした入退院支援における看護師の役割、「地域の生活の場での暮らすこと」を予測したチーム活動や、退院支援のプロセスを理解する 5) 看護記録と救急 <ol style="list-style-type: none"> ① 急変に気づくことができ、心肺停止の一次救命処置が実施できる ② 急変時の看護記録を記載する 6) 災害 災害発生時の初動対応と、それに伴うリーダーシップが理解できる 7) 看護研究の基礎
委員の任務	<ul style="list-style-type: none"> ・ Off-Job 研修の計画と開催 ・ Off-Job と On-job との連携を強化する取り組みを行う
開催日	第2金曜日
委員長/副委員長	佐藤 千恵 / 白橋 菜美
構成員	<p>3南：小川 律輝</p> <p>4北：相馬 雪菜 / 勝田 妙 / 石井 美咲 / 春田 麻理菜</p> <p>5南：笹本 大貴 / 内野 龍之介</p> <p>5北：佐藤 康仁 / 太田 智美</p> <p>手術室：堀畑 涼</p> <p style="text-align: right;">計10名</p>
その他	研修方法

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回の研修時間は1時間 17:15～18:15 ・ 年間6時間開催する (5月/6月/7月/8月/9月/10月) ・ 研修内容により、講師が異なる場合がある ・ 目標7については、ナーススキルでの自己学習とする
--	--

2. 研修実績

月 日	研修内容	備考
5月12日(金)	目標1) 固定チームナース ○ チームナースのそれぞれの役割について ○ リーダーとリーダーシップの違い	組織役割遂行能力 担当：佐藤
6月9日(金)	目標2) 教育・指導 ○ 指導とは何か ○ コミュニケーションのいろいろ(ティーチング・コーチング) ○ アサーティブコミュニケーションスタイル ○ 臨地実習指導について	組織役割遂行能力 担当：佐藤
7月14日(金)	目標3) 医療安全 ○ ソフトスキルについて ○ KYTについて(事例を元に考える) ○ clipの振り返り方法	行う力 担当：佐藤
8月10日(金)	目標4) 看護倫理 ○ 意思決定支援とACP	意思決定を支える力 担当：上原
9月8日(金)	目標5) 看護記録と救急 ○ 急変とは ○ 急変時の一時救命処置について(シミュレーションを含む) ○ 急変時記録について	行う力 担当：佐藤
10月13日(金)	目標6) 災害 ○ 災害とは ○ 災害時の初期対応	協働する力 担当：伊藤

レベルⅢ研修

1. 概要

今年度の研修目的	On-Jobで、レベルⅢの行動に到達できるよう、Off-Job研修を実施する ※レベルⅢの定義： ・ ケアの受け手に合う、個別的な看護を実践する
----------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種を含むチームの中で、専門的能力を要する役割を果たし、チーム内での指導的役割も担うことができる ・自己の教育的課題達成に向けた教育活動を展開する
研修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) チームシグ 看護を創造するためのリーダー固定シグを理解し、日々の看護業務におけるリーダーシグを発揮することができる 2) 教育・指導 レベルⅡ以下にある人などの育成に尽力できる ～スタッフが自ら考えられるようになるための具体的な関わりや、育成・支援のための知識・技術を身につける～ 3) 医療安全 (ア)日常の看護提供場面における事故発生（危険）リスクに気づき、解決策を立案する (イ)事件事例を用いて要因分析手法を理解し、解決策を立案する 4) 看護倫理 ケアの受け手の療養場所やその役割を理解し、当院看護師としての役割を理解する（患者・家族から必要な情報を意図的に収集する） (ア)倫理的ジレンマから倫理的課題を明確にし、問題提起する (イ)意思決定するまでのプロセスを理解し、意思決定を支援する 5) 看護記録 ケア受け手の価値観・信念・信条・思いなどを尊重しながら、より深く4つの側面からケアの受け手を捉えて、優先度の高いニーズを判断する方略が理解できる（個別性を踏まえた判断について、看護行為に至る思考の流れを、看護記録やスタッフ育成場面で表現する） 6) 救急・災害 多職種を含むチームの中で、専門的能力を要する役割を果たし、チーム内での指導的役割も担うことができる
委員の任務	<ul style="list-style-type: none"> ・Off-Job 研修の計画と開催 ・Off-Job と On-job との連携を強化する取り組みを行う
開催日	第4月曜日
委員長/副委員長	佐藤 千恵／福嶋 亜衣
構成員	3南：林 美羽／豊田 紫穂 HCU：菱倉 愛／小松 勇将 5南：前枝 亜海 5北：河野 洋志／小川 菜月／吉田 ゆめ実／ 小川 真由美／小川 亜弥 外来：沢田 和美／田中 弘樹 計 12 名
その他	研修方法 ・1回の研修時間は1時間 17：15～18：15

	<ul style="list-style-type: none"> ・年間6時間開催する（5月／6月／7月／8月／9月／10月） ・研修内容により、講師が異なる場合がある ・看護研究に関しては、ナースィングスキル動画で自己学習する
--	---

2. 研修実績

月 日	研修内容	備考
5月22日（月）	目標1) 固定チームナースィング ○ リーダーの役割とリーダーシップについて ○ リーダーシップに必要な5つの要素 ○ 看護を創造するためのリーダーシップについて	ニーズを捉える力 担当：佐藤
6月26日（月）	目標2) 教育・指導 ○ 指導とは何か ○ 効果的に指導するために ○ コミュニケーションのいろいろ（ティーチング・コーチング） ○ アサーティブコミュニケーションスタイル ○ OJTで効果的に思考を伸ばす指導・支援について	組織役割遂行能力 ニーズを捉える力 担当：佐藤
7月24日（月）	目標3) 医療安全 ○ 応用技術スキルと危険予知（KYT）について ○ clipとは ○ 振り返り方法の基本 ～「なぜ・なぜ分析」の手法から～ ○ チームでclipを振り返る	チームリーダー会と合同研修の予定 担当：佐藤／上原
8月28日（月）	目標4) 看護倫理 ○ チームで看護ケアについて考える	担当：上原
9月25日（月）	目標5) と目標1) 看護記録 ○ 看護師の思考 ・看護過程とは ・看護行為に至るまでの思考 ・他職種で活用する記録	担当：佐藤
10月23日（月）	目標6) 災害・救急 急変時・災害時のリーダーシップ	組織役割遂行能力 講師：伊藤師長（当時は築地師長代理）

チームリーダー会研修

1. 概要

【チームリーダーの定義】

リーダーレベルⅢを修了している看護師とし、チーム運営の責任と権限を持つ。チームの目標達成のために、チームメンバーと協力し、課題達成に向けた組織づくりをする。また、受け持ち看護師の主体性と責任を認めながら、担当看護師のケアが正確に実践できるようサポートする

【チームリーダーの役割】

- 1、固定チームナーシングの中核を担い、チームの目標を立案し、目標達成を図る
- 2、リーダーシップを発揮し、チームの統率を図る
- 3、看護計画の立案・修正・評価を推進する
- 4、メンバーの育成を図る
- 5、チーム間の調整を図る
- 6、メンバー間の調整を図る
- 7、チームリーダーとしての役割を認識し自己啓発する

【チームリーダーの業務】

- 1)チームの目標と具体策を立案して文章化し、実践と評価を行う
- 2)チーム目標を達成するために、必要な小集団を編成する
- 3)チーム会の定義・目的・方法をもとに、月1回チーム会を開催する
- 4)チームメンバーの中から日々リーダーを選抜し、毎月勤務表に、誰がいつ、日々リーダーを行うのか表記する
- 5)日々リーダーに対し、メンバーの得意さを加味して受け持ち看護師を決定するよう指導する
- 6)受け持ち看護師の一連の看護実践（入院から退院まで）に関して、責任を持つ（教育的視点で支援する）
- 7)年間で病棟全体の業務が円滑に行えるようにチーム間の調整を行う
- 8)サブリーダーを指名し、師長・主任と相談して決定する

今年度の活動目的	1. 担当チームのチーム目標を立案できる 2. リーダーシップを発揮してチームを牽引できる 3. チーム活動の評価ができる
活動目標	チームリーダーとしての役割を実践する方略を理解する
委員の任務	・ Off-job 研修の計画、開催 ・ Off-job と On-job との連携を図る
開催日	毎月第2月曜日 17:15~18:15

担当者	上原 章江/築地 美恵
構成員	外来：鈴木恵美 HCU：杉山里加 OP：小川高弘 3南：山口憂也 4南：田中晴美、木部亮子 4北：里見 渚、福嶋亜衣 5南：竹田満代、石田涼一 5北：高田佳那美（9月まで）、田畑拓郎
その他	

2. 研修実績

月 日	研修内容	備考
4月10日	SWOT/クロス分析を用いて、チームの現状把握と分析を行い、チーム目標を立案する	<ul style="list-style-type: none"> ・チームリーダー会の概要 ・SWOT/クロス分析、年間計画立案について講義
	【事前課題】作成中、または前年度の自チームのSWOT/クロス分析を持参する	
5月8日	ガントチャートを用いて年間計画を立案する	<ul style="list-style-type: none"> ・各チーム目標・ガントチャートの共有・確認
	【事前課題】チームのSWOT/クロス分析、目標・ガントチャート作成 おすすめNS動画：「地域包括ケア時代に部署の管理者が持つべき視点」 「社会保障制度の動向ー地域包括ケアシステムの牽引は看護師の役割」	
6月12日	チーム会とリーダー会の運営を理解する (主任会協働/後藤主任、伊澤主任)	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム会の定義・目的・目標の理解 ・教育的役割の理解 ・効果的なカンファレンス
	【事前課題】 NS 動画視聴 「未来に「価値」残る組織作り Vol.2～つぶれない、つぶされない、つぶさないヒトと自分をつくろう～」 「医療職のための会議ファシリテーションスキル」	
7月10日 (24日)	リーダーレベルⅢ合同企画 チームでClipを振り返る (主任会協働/八木恵主任、八木佳主任)	<ul style="list-style-type: none"> ・TeamSTEPSの理解
	【事前課題】 NS 動画視聴 「ー医療チームに目を向けるー臨床現場に心理的安全性があるとき！」	
8月14日	固定チームナーシングの評価・中間評価 (チェックリストを活用する)	<ul style="list-style-type: none"> ・固定チームナーシングチェックリストの理解

	(主任会協働/関主任、坂本主任)	
	【事前課題】 固定チームナーシングのチェック項目確認	
9月11日	チームの応援体制を理解する (主任会協働/高瀬主任、小川主任)	<ul style="list-style-type: none"> ・固定チームナーシングの応援体制の理解 ・災害時の対応の理解
	【事前課題】 「固定チームナーシング 第4版」 p 113-114 の応援体制を読む	
10月23日	リーダーレベルⅢ合同企画 急変時・災害時のリーダーシップ (主任会協働/土屋主任、瀬戸主任、 稲葉主任)	<ul style="list-style-type: none"> ・院内アクションカードの運用方法理解
	【事前課題】 ①当院の災害対策マニュアル(2022年9月改訂版) 緑のファイル(P1~P11) または MOSS (P8~P30) にある災害対策基本方針をみて、災害時の当院の役割を把握する。 ②ナーシングスキル「災害時への備え(防災マニュアル)」「災害時の対応・トリアージ(院内における)」をみってくる	
11月13日	部署訪問を実施する (主任会協働/稲岡主任、小西主任)	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に他部署のチーム会参加 ・各チーム会の運営方法の共有
	【事前課題】 他部署のチーム会に参加する	
2月13日	固定チームナーシングの評価:年間評価	<ul style="list-style-type: none"> ・チームとしての活動成果の共有
	【事前課題】 チームの評価表作成	
3月11日	今年度の取り組みと成果を発表する	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム活動成果と次年度以降の方向性の共有
	【事前課題】 NS 動画:「看護マネジメントリフレクション」	

専門看護

感染管理・がん化学療法看護・脳卒中リハ看護・集中治療・小児看護・救急看護・
糖尿病ケア・緩和ケア・周産期看護思春期・禁煙外来・呼吸器ケア・認知症ケア・臨床心理
専門看護会

1. 概要

活動目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域中核病院に勤務する、看護専門職業人として、地域に必要とされる医療サービスを創造していく活動を実施し、一定の成果を生み出す 2. チーム医療を実践する中で、看護職としての主体的な活動の展開でなければならない 3. より専門に特化した自己研鑽の場を共有すると同時に看護の質向上を目的に活動する 4. 組織の中で看護職としての役割を發揮する
活動チーム	認定看護師 皮膚排泄ケア がん化学療法看護 脳卒中リハ 集中ケア 感染管理 各チームリーダー ①呼吸器ケア ②認知症ケア ③小児看護 ④糖尿病看護
担当者	林師長
構成員	認定看護師と活動チームの各リーダー

2. 活動実績と評価

	評価
取り組み実績 成果	<ol style="list-style-type: none"> ① 年間2回の専門看護会を開催した。 ② 先輩ナースの知恵袋は呼吸器ケア、WOCより提供あり。職員通路1階の壁面に掲示した。
次年度への 課題・引継ぎ事項	専門分野会は今年度、教育委員会から切り離されたこともあり、活動や仲間作りが困難な状況であった。専門・認定看護師の有資格者はそれぞれの役割があるが、それ以外のスタッフのチーム活動においては、スタッフのボランティア的な面が強い。活動することでの負担感が大きい。そのため、新規加入につながらない。各チームで無理のない範囲で取り組みたいことを行った。専門・認定看護師の有資格者とそれ以外のスタッフのチーム活動についての検討が必要となった。

看護補助者研修（介護福祉士・看護助手・クラーク）

1. 概要

今年度の 研修目的	医療・看護チームの一員としての役割を理解し実践できる
研修目標	ア) 病院の職員として病院機能と組織について理解しできる イ) 医療チームおよび看護チームの一員としての看護補助業務を理解しできる ウ) 個人情報の守秘義務を守り倫理観を遵守した行動がとれる エ) 医療安全と感染対策の知識習得と実践ができる オ) 看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術を習得できる カ) 日常生活に関わる業務のスキルアップができる
開催日	6月14日・21日 9月13日・27日 12月6日・20日(延期)
担当者	林師長、土屋主任
研修生	<介護福祉士>14名 <看護助手>23名
その他	当院の看護助手業務基準マニュアルを用いて実施する

2. 研修日

月 日	研修内容	備考
6月14日(火) 21日(火)	病院機能組織・看護チーム一員の役割・目標 院内感染予防対策の理解と実践方法 コロナ感染対策の具体例（感染防護）	ア) イ) エ) オ) カ) 講師 感染対策室 島田室長
9月13日(火) 27日(火)	多職種で取り組む転倒予防 具体策と倫理的配慮 認知患者の対応・コミュニケーションスキル	イ) ウ) エ) オ) カ) ナーシングスキル動画 参照
2月14日(火)	実技研修 ・とろみの種類と嚥下困難患者の食事時介助 実技	イ) オ) カ) 栄養科・リハビリ科
3月中まで	ナーシングスキル動画視聴研修 ・食事介助 ・入浴、シャワー介助 ・個人防護具の着脱	エ) オ) カ) 各所属長へナーシング スキル ID、パスワード で見れるようにサポー ト依頼する

【看護部院外研修一覧】

(1) 職能研修

研修名	月日	内容	参加者数
地域医療振興協会 介護福祉士研修会	10月17日		1
地域医療振興協会 新人主任研修	6月21日 8月9日	主任の役割遂行に必要な対人関係スキル等	1
地域医療振興協会 中堅主任研修	11月29日 12月20日	クリニカルラダーを活用した育成について等	2
地域医療振興協会 新人師長研修会	12月12日 2月20日	看護管理者の役割、スタッフへの動機づけや勤務調整等	2
地域医療振興協会 看護部長研修会	6月16日		1
静岡県看護協会 看護師職能委員会 I 外来看護師流会	12月2日		1

(2) 組織的役割遂行能力の育成

研修名	月日	内容	参加者数
静岡県看護管理者会 中間管理者研修	10月3日・4日、11月7日・8日		1
AMR対策公衆衛生セミナー	11月29日		1
静岡県助産師講習会 コロナ禍の子育て支援 ～子育て現場の現状を知り、今後の母子支援を考える～	7月8日		2

(3) 施設基準に係る教育

研修名	月日	内容	参加者数
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	6月22日、8月23日	看護補助者充実加算 看護補助者の活用促進	2

(2) 外来

1日平均外来患者数 399.4人 月平均救急車搬入件数 373人 月平均救急患者 574人
月内視鏡件数 194人 年間外来化学療法件数 573件

【外来目標】

1. 病棟や地域と連携し継続した看護を提供できる
2. 患者や家族が不安なく診療、手術が受けられるよう誠意を持って説明を行う
3. チームでの個々の役割を明確にし、必要な知識・技術を向上させる

【活動評価】

1. 慢性疾患、悪性腫瘍、化学療法中の患者など、定期的なカンファレンスを行い、外来チームで同じ看護ができるよう、また病棟との継続看護につながるよう、看護計画を立案し看護記録を残し情報共有できるようにしました。ICを得る医師の説明に同席し他職種につなげたり、患者や家族の思いに沿った意思決定支援ができるような関わりを行っています。外来で関わっていた患者が入院した際に、退院前カンファレンスに外来看護師も参加できるよう、来年度は病棟看護師やMSWと協力していきます。
2. 各科誰でも同じ説明ができるよう、手術説明や内視鏡検査説明のパンフレットの見直しを行いました。作成したパンフレットを使用し、説明室に担当者を配置し個々の患者に合わせわかりやすく、丁寧に説明をしています。高齢患者やご家族が来院できない場合は電話で連絡をとったり、ケアマネージャーに確認の依頼をするなど安心して手術や内視鏡検査が受けられるように対応しました。
3. 当院では、診療科ごとに担当看護師、クラークを配置しています。担当者がいることで患者との信頼関係もできますが、担当者不在時の対応が課題として上げられていました。そこで、泌尿器科、眼科、形成外科、救急処置などの必要な知識や技術を学習し、担当者が不在でも応援できるようになりました。外来が終了した科から午後は救急外来へ自ら応援に行くなどスタッフの意識も高まっています。

昨年までは、毎朝始業前の8:15に参加できるスタッフのみでミーティングを行っていましたが、働き方改革の観点から始業開始の8:30に変更し、各科リーダーがその日の診察予定、手術件数、検査件数を報告するようにしました。その結果、多忙な科に応援を配置するなど調整がスムーズにできるようになりました。

各科のリーダーを決めたことでスタッフがリーダーシップを発揮し、外来全体の事を考え行動できるようになりました。

(3) 手術室・中央材料室

【目標】

1. 術前術後訪問を充実させ、安全安楽な周手術期看護を提供します
2. 手術入室から退室までの時間を短縮します
3. 手術に使用する器械、材料を見直し、滅菌期限切れを50%削減します

【活動評価】

1. オンコール緊急手術を除く予定手術について術前訪問は月平均で80%実施できました。日曜入院、月曜手術の患者も月曜の朝に実施することができています。術後訪問も実施していますが、早期退院患者への訪問など担当者が間に合わないことも多く、代わりの者が訪問することも多かったです。また術後訪問に関しては件数が充実してきているので、今後は内容の充実を目指していきます。術後訪問における観察点や看護記録については勉強会でスキルアップをはかっています。またスタッフの減少により、術前術後訪問の時間が取れないことも考えられますので、その場合の連携も強化していきます。
2. 入室から退室までの時間短縮は、患者への負担を減らし安全安楽な周手術期看護につながります。そのために安全で速やかな移乗の援助や、皮膚損傷の起きない体位固定等の技術向上に努めています。令和5年度後期の手術室平均滞在時間は1時間25分であり、前期と比較して10分短縮することができました。個々のスタッフの研鑽と、多くの場合フリー看護師が執刀前と退室前に介助に入ることで時間が短縮され以前より良い連携が取れていたのではないかと考えます。
3. 見直しは進めていましたが、新たに追加された器械、材料も多かったため十分にできませんでした。来年度はラテックスフリーを目指してラテックス入りの物を無くしていきたいです。そして長年問題になっている有毒性のあるEOG滅菌を廃止し、プラズマ滅菌などの導入について検討していきたいです。

【人員構成】(令和6年3月末日現在)

- *看護師 7名
- *看護助手 3名
- *クラーク 1名(他病棟と兼任)

(4) 集中治療室

主な診療科 循環器内科、消化器内科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科他

定床 12床

【部署目標】

1. 継続・統一したケアを提供するための看護計画の充実。
2. ラダーの組織的役割遂行能力を発揮し、専門性を高め安全で信頼される看護の実践。

【活動評価】

令和5年度年間平均稼働率58.5%

ハイケアユニット看護必要度年間平均該当率58.5%

1日平均患者数6.9人 平均在室日数3.2日

昨年度と同等数を推移しているが、必要度に関しては基準値を満たしていないのが現状である。

1. 個別性に沿ったプランへの修正率を80%達成を目指し、アセスメントや実践したケア内容を看護記録に残すことができるように取り組んだ。チーム全体としての意見交換が不十分だったためチーム会の運営方法を明確にし、小集団活動の機能を活用して評価方法や具体的な実践方法を検討する機会を設けた。その結果、年間を通して90%台の修正率となり、個別性のある継続看護を記載できるようになった。しかし看護計画への反映や修正はできていないため、継続・統一した計画内容の充実が課題である。まずケアの評価や継続してほしい看護について計画に追加できるようになることを目指し、看護計画を継続看護の実践につなげるための取り組みが必要と考える。

2. 自身のラダーとしてとるべき役割を理解するねらいで、急変時のシナリオを用いてシミュレーション教育を展開した。メガコードの中でアルゴリズムの理解だけではなく、自身のラダー別役割を意識した行動ができるように技術チェックシートの中に役割別評価内容を設けて意識づけをし5回/年行った。自己評価と他者評価でのフィードバックにより思いの共有ができたことで次へつながる機会となった。看護実践能力に応じてスタッフのスキルアップを目指すためにも活動として計画していき、専門性の高い看護を行っていく必要があると考える。

(5) 3南病棟

主な診療科：(2024. 10. 30まで) 内科 (主に COVID-19)

(2024. 11. 1から) 外科・形成外科・脳外科・耳鼻咽喉科・内科
婦人科

定床：22床 (2024. 10. 30まで)

25床 (2024. 11. 1から)

【目標】

1. 患者・家族の最善を考える
 - 1) 多職種連携を意識したカンファレンスの実施
 - 2) 看護計画を活かした継続看護の実施
2. 固定チームナーシング構築に向けた取り組みの実践
 - 1) リーダーとメンバーの役割を明確化し役割行動ができる
 - 2) リーダー会開催の定着
3. 機能評価、病床編成に向けたマニュアルの作成及び改訂

【活動評価】

1. 令和5年度入院患者平均年齢74.2歳、看護必要度年間平均29.0%であった。入院患者の高齢化に伴い、介護を必要とする患者が増加した。入院中の病状増悪や、治療に伴う安静期間によりADLの変化が著しく、老々介護世帯や独居の高齢者の方が多い中、退院先の変更を余儀なくされ、調整に時間がかかってしまうケースや、患者、家族の思いと現状のすり合わせが必要なケースなど、提供する看護も多様化が求められた。アセスメント力向上を目的とした勉強会を開催、アセスメント内容の充実を図り、カンファレンス中に他職種の意見を踏まえた看護計画の修正に努めた。また、週1回の退院調整カンファレンスを拡大カンファレンスとし、リハビリセラピストへ参加を依頼した。MSW、看護師、管理栄養士、リハビリセラピスト、必要時医師、薬剤師も参加、定期的に開催した。結果、平均在院日数が令和4度15.8日から14.0日と短縮することができた。

2. 固定チームナーシングの役割を一覧にし、業務上の責務を明らかにした。また、各々が役割行動を遂行できるよう、スタッフ間のコミュニケーションを積極的に推進、経験値に関係なく役割での業務依頼が可能となった。結果、活気ある風土へ変化したと思われる。また、業務を分散することで、時間外勤務時間の短縮にもつながった。

3. マニュアルを作成及び改訂し、業務の標準化に努めている。

(6) 4南病棟

回復期リハビリテーション病棟 定床：42床

【人員構成】看護師 15名 准看護師 2名 介護福祉士 8名 看護助手 1名 クラーク 1名

【目標】

1. リハビリテーション看護の実践
 - 1) 患者の意思を尊重し現状に合った退院調整を行う
 - 2) 患者・家族の意思決定を支援する
2. 看護補助者と連携をはかる
 - 1) 患者の安全管理・環境整備を行う
 - 2) ADLの獲得にむけた看護（介護）をする
 - 3) 生活環境をみすえた家族指導を行う

【活動評価・実績】

1. 対象となる患者の疾患の病態や日常生活レベルを把握し、重症度の高い時期での受け入れを調整し入棟時の看護必要度 10点以上の患者は年間平均 36%となり 3割以上を維持することができた。

他、在宅復帰率 86.8%、日常生活機能改善率 62.7% いずれも基準を満たすことができた。病室の状況で待機する場合もあるが基準を維持しつつ地域背景を受け、患者自身の持てる力を発揮しながら地域での生活ができるような看護提供に取り組んでいきたいと考える。今後は待機期間の短縮や病床稼働率の向上が課題となる。
2. 機能障害を負った患者が罹患前との生活スタイルの変容を受け入れ、機能に見合った生活能力が獲得できるよう支援している。患者や家族が描く退院後の生活と退院時の到達目標を患者自身や家族とともに考えられるような関わりを行っている。入棟時に困難だった日常生活動作がリハビリテーションや工夫によりできるようになる喜びを患者や家族と共有し次の可能性について思い描ける支援をすることができた。

また、コロナ禍ではできなかった家族との直接的なコミュニケーションを通じ家屋環境を確認し、必要な備品調整や家族の社会生活も踏まえた福祉サービスの調整などセラピストや MSW と協働しながら退院調整を継続して進めていきたい。今後の課題はチームナーシングでの継続した看護提供のための記録の充実が挙がる。
3. 職種間の協働においては、看護補助者を交えたヒヤリ・ハットの振り返りを通じて経験の共有や未然に防ぐための対策について意見交換を行い継続した実践を行っている。今後は看護補助者が感じる患者環境や介護についての問題点について持続可能な対応策を話し合い業務につなげていくことに取り組んでいきたい。

(7) 4北病棟

主な診療科；産婦人科、内科、眼科、ほか

定数；43床

【目的】

患者に質のよい看護を提供するための環境づくり

【目標】

固定チームナーシングの充実を図り、個々が患者中心の看護を考えられる環境づくり

- ① 固定チームナーシングの充実
- ② 個人の課題発見・成長の促進
- ③ リーダー看護師の指導能力の向上

【活動評価】

固定チームの充実を図りチームで看護に取り組むことで患者のケアを充実できた。小集団での活動は患者の把握がしやすく、患者や家族も看護師に相談しやすい顔の見える関係となった。そして、看護師の患者への関わりに変化が見えた。具体的には、①人工呼吸器や侵襲の大きな検査の患者を受け入れることができた。②入院前の状況の把握を行うことができ、退院調整へのかかわり方が入院時より対応できるように変化した。③患者家族への関わりを考える機会が増え、面会時の声かけが多くなった。④在宅復帰のための退院指導や家族指導も入院当初より行うことができるようになった。

また、目標を意識したチーム活動を行うことで、業務中心の看護から患者中心に看護を提供できている。入院時よりたいいんを見据えた看護を提供することでMSWやPT・OT・STとの連携や地域の訪問看護関係者との連携も増加した。出産については、R5年4月より再開しており、20件の出産を経験し、現在も看護体制整備中の状況である。

(8) 5南病棟

主な診療科：整形外科、泌尿器科、内科、眼科

定床：50床

【目標】

1. 患者家族の不安と期待に寄り添った計画を立案し、可視化された情報を元に固定チームナーシングでの継続看護を実践する
2. 個々が成長と責任を意識した看護実践を行い、看護の質向上を図る
3. 過程や成果を可視化し認め合い、チームでやりがいを創る風土作りを推進する

【活動評価】

令和5年度は感染症病床の終了により、11月1日から、外科、耳鼻咽喉科、形成外科が他部署に移動し5南病棟は整形外科、泌尿器科、眼科、内科病棟となった。変更になってからも1日平均患者数や病床稼働率は大幅な変化はなかった。年間平均病床稼働率は87.2%年間1日平均患者数は43.6名であった。

チーム内で継続した看護が提供できるよう、実践した看護を看護記録に残すことを目標にあげた。当病棟はクリティカルパスの適用事例が多く、クリティカルパスを適用しない事例は転倒リスクや褥瘡関係の計画のみになっている事がほとんどであったため、初期計画が確実に立案できるようチーム内で取り組んだ。また、看護計画の評価・修正が実施できていないことが多く、確実な評価・修正ができるよう毎朝のチーム内ショートカンファレンスで評価日の患者の確認を行い、タイムリーな看護が提供できるよう取り組んだ。看護計画の立案は個々のスキルを身につけるためにも、チーム内で問題が起きている症例をカンファレンスなどで話し合い、看護計画を考える場を定期的に作れるよう次年度も取り組みたい。

個々が自らのクリニカルラダーレベルを認識し、部署内での果たすべき役割を自覚し行動に移せることを目標に活動した。固定チームナーシングのチーム活動でチームリーダーを中心にチーム内目標を共有し達成に向けて、各自ができることを実践した。患者の個別性にあった看護計画の実践、入院中の褥瘡発生の予防の徹底と各チーム目標をあげて活動した。最終評価では個々の実践活動は取り組めたとの評価は出たが、看護計画の立案率や褥瘡発生率にどのように影響したかまでの評価に繋がらなかったため、何をもって看護の質の向上とするか目標設定ができるよう次年度は取り組みたい。

チームで目標を共有し、個々が同じ目標に向けて活動すること。毎日の看護のなかで一貫性のある看護が提供できるよう、チーム内で共有することが固定チームナーシングを導入し数年経ち周知されているとは感じている。しかし、チーム内で積極的に過程や成果を話し合う場を作ることができなかつたと評価するスタッフが多く、何故できなかつたのかを個々で考えて改善策を見いだせるまでには至らなかつた。チームリーダーも発信力が弱かつたとの評価で終わっているため、ではどうしていくか改善策を考え実践に移せる行動力を身につけることが必要と考える。

(9) 〈5 北病棟〉

主な診療科：内科・小児科

定床：51 床

【基本方針、目標】

患者家族にとっての最善を常に考え継続した看護実践ができる。

1. カンファレンスの内容を計画に活かした看護実践を行うことができる。
2. チーム力強化のため個々が役割を認識し、役割遂行ができる

【活動評価】

1. 患者・家族の思いを聞き、自宅退院を見据えた情報収集を行い記録へ残すように務め、それをカンファレンスに生かすことが出来た。その中で、ケアの視点をカンファレンスで共有し継続看護に努めた。また、自宅退院される方に患者・家族へ吸引やオムツ交換、経管栄養などの指導を行った。自宅退院患者には退院前カンファレンスを多職種で行い不安が軽減され安心して自宅退院ができるように務めたことで、継続した看護提供に繋がった。
2. チームリーダーを中心にチーム会を定期的に行った。各ラダーレベルの研修内容や課題をチーム内で共有し、事例検討を行い意見交換、チームリーダーや主任達を中心とした話し合いをくり返すことで、個々のスキルアップ・成長することに務めた。後半はスタッフの人数の減少、スタッフのモチベーションの低下、目標を持ち学習していく意欲の減退に繋がった。また、超過勤務も増えた。このピンチをチャンスに変えるために、3月のスタッフの移動、看護の提供体制の変更があったため、病棟内で話し合いを繰り返した。看護補助者との協働や他職種とのタスクシェアの重要性を再考した。次年度は、それを踏まえ業務が明確化することにより業務負担の軽減、チームの問題点や解決策など話し合いを繰り返した、PTCD サイクルを回しながらチーム力をあげることに努めたいと思っている。

(10) 在宅療養支援準備室

【基本方針・目標】

*基本方針

- ・ 創傷・オストミー・失禁分野における院内外のコンサルテーション活動を通して、地域医療や看護の質の向上に貢献します

*目標

- ・ 褥瘡対策や褥瘡予防、スキンケアを推進し、褥瘡保有者の減少を目指します
- ・ ストーマ造設予定者、ストーマ保有者の排泄リハビリテーションを支援します
- ・ 創傷・失禁分野において、専門知識と技術を用いたケアを実践、指導します
- ・ 専門分野におけるコンサルテーション活動を通して、在宅支援を行います

*評価・反省

本年度の院内褥瘡推定発生率 2.03%と昨年度の 4%台より褥瘡発生率を大きく下げることが出来ました。継続して体圧分散マットレスの配置や整備、褥瘡予防に関する周知に力を入れて行ってきましたが、何より入院患者に日頃接することの多い看護スタッフに褥瘡対策が定着し実践してくれたことが形になって現れ始めた結果と考えています。褥瘡対策は患者を取り巻くスタッフが力を合わせないと出来ないチーム医療です。まだまだ院内発生率を下げる事が出来ると思いますので、褥瘡スキンケア委員会を通じてチーム医療を促進させていきたい所存です。

褥瘡発生率はかなり低下した反面、当院の褥瘡有病率は 7.64%とまだ高い状況が続いています。これは褥瘡の持込の患者が多い事が示唆されます。ここ数年は高齢者が多発褥瘡を抱えて入院されることが増えており、地域で考えていかなければならない問題だと思っています。時間の制約はありますが、本年度の診療報酬改定で褥瘡ハイリスク患者ケア加算を算定していても、介護保険施設等からの求めに応じて助言等の活動が出来るようになりました。少しずつ地域の介護現場などに活躍の場を広げていきたいと思っています。

オストミー分野では、ストーマ外来の運営を継続しています。第1・3木曜午後に診察日を設けておりますが、化学療法や受診する科の診察日に合わせるなどフレキシブルに対応しており、医師からの依頼も少しずつ増えています。ストーマ外来を開設している病院が少ない地域ですので、遠方から通院されている方もいます。今後もオストメイトの方々の社会生活が快適になるよう、活動を続けていきたいと思っています。

【人員構成】

看護師長 1名（褥瘡管理者、皮膚・排泄ケア特定認定看護師）

【実績/実践】

* 褥瘡回診（毎週火曜日 9：30～ 5南→5北→4南→3南→HCUの順に回診）

- ・ 回診構成メンバー：褥瘡専任医師・褥瘡管理者・褥瘡専任看護師（輪番制で各病棟の褥瘡リンクナースが回診に参加）・薬剤師・管理栄養士・医師事務作業補助者

のべ褥瘡回診患者数		1101名
内訳	褥瘡患者数（医療関連機器圧迫創傷含む）	823名
	褥瘡以外（皮膚潰瘍、スキントケアなど）の患者数	273名

* 褥瘡ハイリスク患者ケア加算関連

褥瘡リスクアセスメント実施件数		2195件
褥瘡ハイリスク患者特定数		556件
	褥瘡ハイリスク要件（ベッド上安静かつ下記の要件に当てはまるもの）	
ア	ショック状態のもの	73件
イ	重度の末梢循環不全のもの	9名
ウ	麻薬等の鎮静・鎮痛剤の持続的な使用が必要であるもの	55件
エ	6時間以上の全身麻酔下による手術を受けたもの	9件
オ	特殊体位による手術を受けたもの	155件
カ	強度の下痢が続く状態であるもの	7件
キ	極度の皮膚脆弱（低出生体重児、GVHD、黄疸等）であるもの	15件
ク	皮膚に密着させる医療機器の長期かつ断続的な使用が必要であるもの	45件
ケ	褥瘡に関する危険因子（病的骨突出、皮膚湿潤、浮腫等）があつて既に褥瘡を有するもの	212件
褥瘡予防治療計画実施件数（開始件数）		556件
褥瘡ハイリスク患者ケア加算実施件数		476件

* オストミー分野

- ・ ストーマ外来件数 77件
- ・ ストーマサイトマーキング件数 12件

【実績/相談】

* 専門分野におけるコンサルテーション件数

コンサルテーション件数

オストミー	褥瘡	創傷	スキントア	瘻孔	失禁・排泄	IAD	スキンケア	その他	総数
38	179	118	52	10	0	28	5	27	457

コンサルテーションのべ訪問回数

オストミー	褥瘡	創傷	スキントア	瘻孔	失禁・排泄	IAD	スキンケア	その他	総数
357	195	240	57	27	0	37	7	29	949

コンサルテーション部署別内訳

3南	HCU	4南	4北	5南	5北	外来	OP	在宅・他院など	総数
52	127	5	75	109	79	10	0	1	512

【実績/指導】

- ・ 令和5年8月4日 レベル0研修「褥瘡予防とスキンケア」
- ・ 令和5年11月6日 病棟勉強会「消化管ストーマの基礎と術直後のケアポイント」
- ・ 令和5年12月～1月 褥瘡対策オンライン研修「医療関連機器圧迫創傷について」

【実績/その他】

* 研究活動・発表：なし

* 日本褥瘡学会主催 静岡県在宅褥瘡セミナー 講師/実行委員

(2) 医事課

【基本方針、目標】

施設基準の遵守

診療報酬窓口未収金削減

患者接遇の向上

【活動評価】

施設基準の見直しや、定期的なチェックを行いました。

病院機能評価更新にむけ、マニュアルの見直しや改訂を行いました。

また昨年度同様に、未収金対策として弁護士事務所と協力し督促を行いました。

患者接遇として、オンライン講習を受講しました。

【人員構成】(令和5年3月末)

医事課長補佐	1名
医事係長	2名
医事係	11名
医事係(臨時職員)	4名
医事係(非常勤職員)	3名
医事係(外部派遣職員)	4名
計	25名

(2) 総務課

【基本方針・目標】

- ・事業費用の削減（前年比率 0%以下(人件費除く)）
- ・業務改善案の立案と推進（3件）
- ・研修会受講と伝達講習の実施（2件）
- ・ICT導入と推進（1件）

【人員構成】（令和5年3月末現在）

課長	1名
係長	2名
係員	7名
臨時	1名
非常勤	1名
合計	12名

【実績】

事業費用 4%減少。看護師の大量退職の影響により人件費は大幅に減少したが、コロナ補助金による設備投資、物価高騰による費用の増加、働き方改革対応による費用の増加等のマイナス要因が多く事業利益は大きくマイナスとなっている。業務改善は 3 件を超える実績あり。研修会のフィードバックも 2 件以上業務に還元した。病院機能評価受診において文書管理ソフト導入し今後は拡充を目指していく。

新型コロナウイルス関連補助金総額 232,335 千円(年間)

【保育所】

保育士は父母の方たちといろいろな話をしながら、子供たちが健康で安全にのびのびと過ごせるような雰囲気づくりに心がけています。

*人員構成（令和5年3月末現在）

保育士	7名
合計	7名

*年間行事

開催月	行事	備考
必要月	お誕生会	該当者のある月に開催
5月、10月	健康診断	年2回実施
5月	端午の節句	園内で実施
8月	たんぼぼ祭り	園内で実施
12月	クリスマス会	園内で実施
2月	節分（豆まき）	園内で実施
3月	ひな祭り	園内で実施

新型コロナ対策を考慮し開催方式を工夫して実施した。

(3) 診療支援課

当課は、地域医療連携室業務・医療福祉相談室相談業務・医師事務補助者の 3 業務を担う部署となっており、医師事務による診療の支援と地域医療連携室・医療福祉相談室による紹介・逆紹介の管理および入退院支援室と協同して入退院患者の他院との調整等を行うことを業務としております。

① 地域医療連携室業務

【基本方針、目標】

- * 伊東市民病院の理念に基づき紹介患者を積極的かつスムーズな受け入れを図る。
- * 地域医療支援病院として、地域の医療機関と連携を図りスムーズな診療に貢献する。
- * 患者からの紹介予約取得・予約変更・診療キャンセル等を行い診療を支援する。

【人員構成】(令和 5 年 3 月末現在)

課長(部長兼務)	1 名
係長(SE/認知症疾患医療センター兼務)	1 名
係員(認知症疾患医療センター兼務)	1 名
係員(臨時)	3 名
計	6 名

【実績】(令和 5 年 3 月末現在)

* 紹介率	75.8%
* 逆紹介率	106.5%
* 予約センター業務	1,456 件
* 他院からの問い合わせ対応	3,613 件
* 情報依頼・情報提供(院内外)	3,022 件
* 在宅療養後方支援病院更新等	1,201 件
* オープン検査件数	1,534 件

【活動実績】

連携室業務

上記実績どおり

1. 医療福祉相談室 相談業務
別紙(医療福祉相談室)を参照
2. 医師事務補助者
別紙(医師事務補助者)を参照

医療安全管理室

【基本方針、目標】

*基本方針

- ・医療安全管理体制の確立と医療事故防止対策の推進に努めます。
- ・適切な医療安全を推進し、安全な医療の提供に資することに努めます。

*目標と評価

1. 医療事故対策の充実（インシデント報告の推進）

- ・医療安全管理委員会で検討された事例数（多職種間で検討された事例）は、20事例でした。
- ・令和4年度の報告件数は768件の報告がありましたが、令和5年度は723件と減少しました。

2. クオリティマネジメント部会の開催

- ・2回開催し、2事例を多職種で検証いたしました。

3. 患者サポート体制の構築

- ・患者家族からの意見の半数が苦情に分類されました。お礼は19%でしたが、「お礼」については記載することより口頭でのお礼が多いと思われます。
また週1回のカンファレンスでは事案内容の確認と共有対応策の検討を行い、必要に応じたラウンドを実施し、医療安全管理委員会で報告しております。

【人員構成】（令和6年3月現在）

医療安全管理委員会委員長	副病院長
専従医療安全管理者	1名
医療安全管理室専任職員	
診療部門	2名
看護部医療安全管理責任者	1名
医薬品安全管理責任者	1名
医療機器安全管理責任者	1名
事務部門	1名

【実績】

1. 院内職員全体研修会（医療法）

1) 令和5年度 第1回 医療安全職員全体研修会

医療現場でのリスクマネージメントを学ぶオンラインセミナー

テーマ：“情報共有不足”に関わる事例発生の未然防止

－事例の発生要因の“見える化”から考える防止対策－

アンケート回収率：82.2%→今回 MOSS「医療安全 e-ラーニング教材」活用。いつでもアクセス出来るため研修期間が過ぎても聴講可能。聴講するよう声かけを行いました。

2) 令和5年度 第2回 医療安全職員全体研修

医療機関におけるリスクマネジメントと個人情報保護の留意点を学ぶオンラインセミナー（弁護士講演）

テーマ1：医療機関におけるリスクマネジメント

テーマ2：個人情報保護の留意点

（公益社団法人 全国自治体病院協議会）

アンケート回収率：100%

公益社団法人全国自治体病院協議会研修セミナーを受講してもらいました。

2. 医療安全管理室による院内勉強会（部会含む）

- 1) 研修医・看護部新人職員・医療技術部新入職員 医療安全研修
- 2) 研修センター 医療安全・インシデントレポートの書き方研修
- 3) 看護部新人職員 KYT のスキル・当院 CLIP の書き方研修
- 4) 院内委託業者向け研修
- 5) 医療接遇オンラインセミナー
- 6) 医薬品安全使用のための研修 簡易懸濁法について

3. 医療安全ニュース発行

院内医療安全ニュース

院外医療安全情報（日本医療機能評価機構）

4. 医療安全地域連携における相互評価

医療安全管理加算1・・・順天堂静岡病院

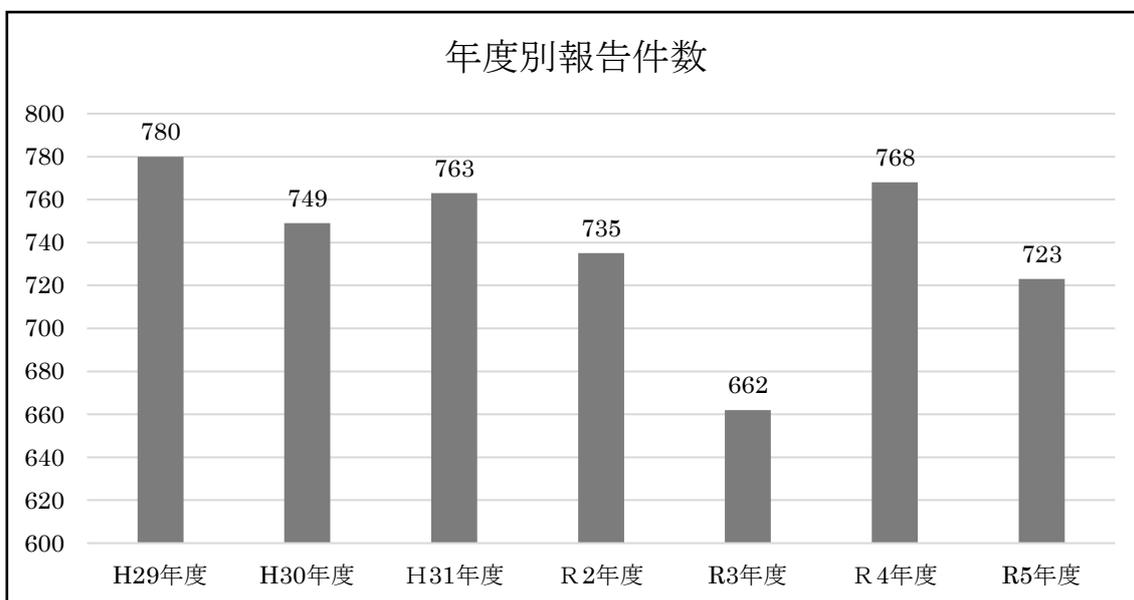
医療安全管理加算2・・・伊豆今井浜病院 熱海所記念病院 熱川温泉病院

5. 院内ラウンド

・インシデントラウンド ・医薬品ラウンド ・医療機器ラウンド ・感染ラウンド
など、1週間に1回以上のラウンドを実施しております。

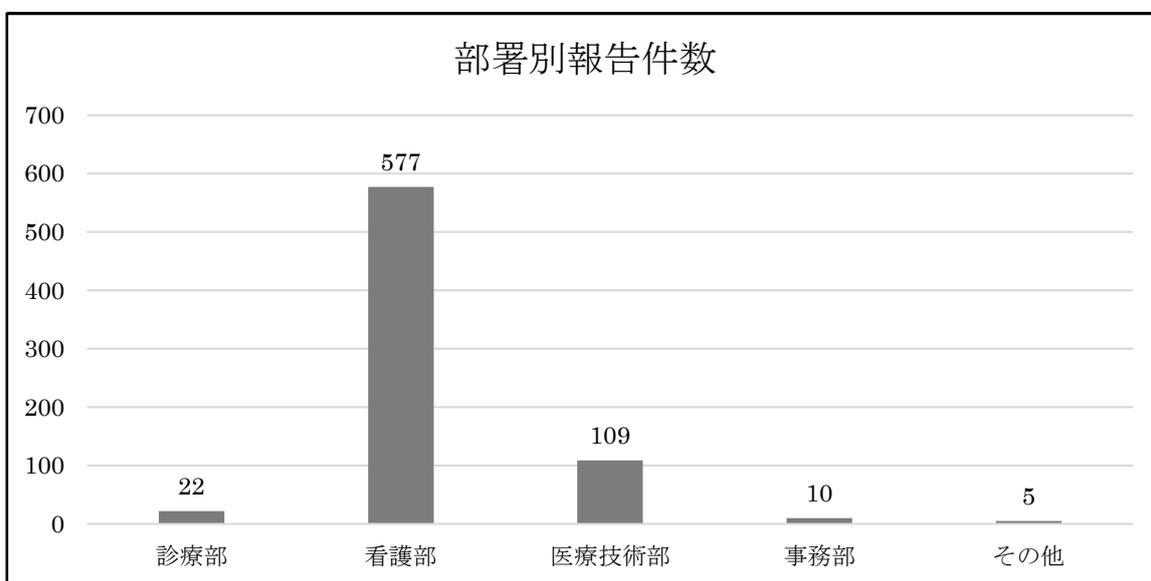
【令和5年度 インシデント・アクシデント事例報告】

1. 年度別推移



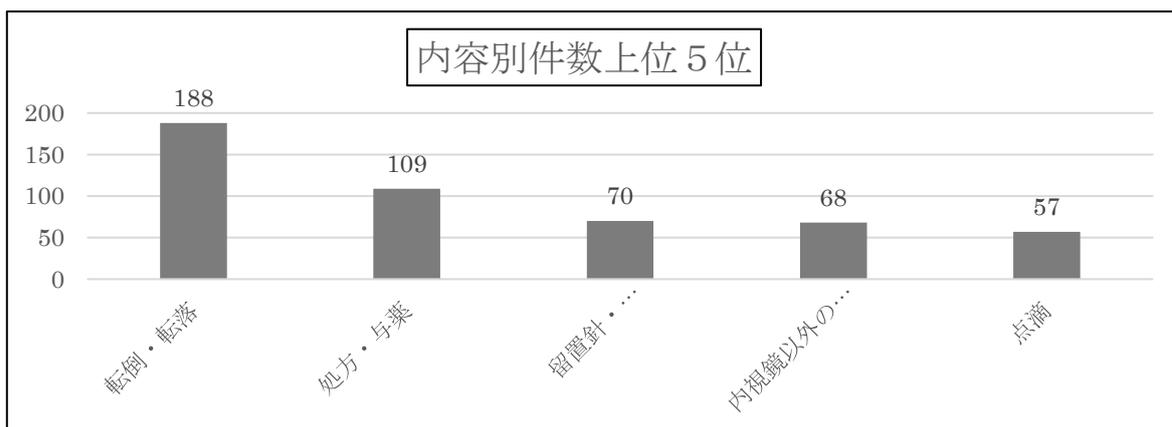
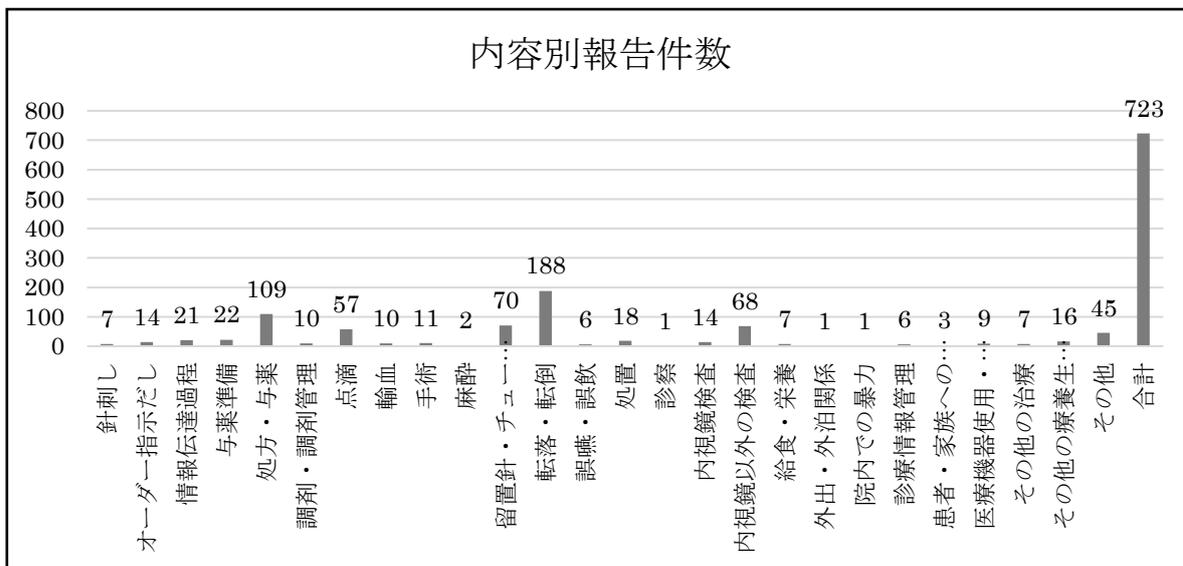
令和5年度については、報告件数723件と前年度と比較し減少しました。

2. 令和5年度部門別報告件数



令和5年度も診療部からの報告は少ない傾向にあります。多職種が関連している報告に関しては、医療安全管理委員会で情報を共有し改善策を検討しております。また、自主的なインシデント報告へつながることを期待し、週1回開催される事例カンファレンスの検討結果を報告部署へフィードバックを行っております。

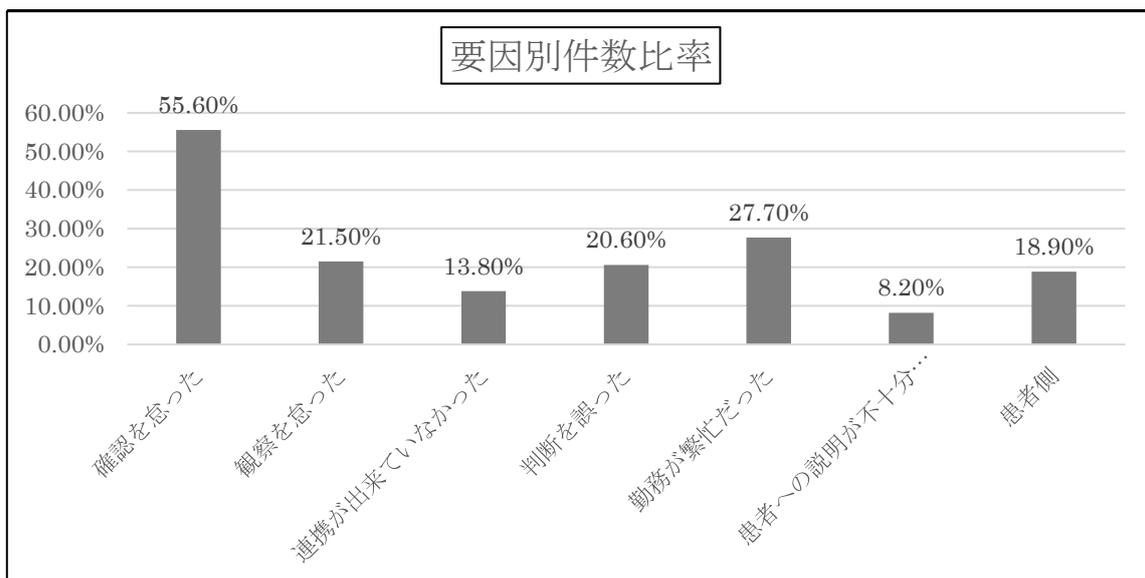
3. 内容別報告件数



例年通り、「転倒・転落」「処方・与薬」が上位を占めました。次は「留置針・チューブ類使用・管理」「内視鏡以外の検査」となりました。

「留置針・チューブ類使用・管理」は主に点滴自己抜針でした。「内視鏡以外の検査」は放射線室からの報告が多くみられました。

「転倒・転落」「留置針・チューブ類使用・管理」は患者の高齢化、高齢化に伴う認知機能の低下に起因すると考えられるアクシデント事例が増えてきています。



例年通り報告件数の約55%の要因が「確認を怠った」と判断されております。
 フューマンエラーでは、「業務の繁忙」が27.7%報告されました。
 「患者側」の要因が考えられるが18.9%ありました。

5. 令和5年度に開催されたクオリティマネジメント部会の検討内

第1回	左大腿骨ステム周囲骨折術中急変事例
第2回	褥婦の大量出血 コードブルー対応事例

令和5年度 病院年報

感染対策室

【基本方針、目標】

*基本方針

- ・当院では、院内感染を防止するために医師・看護師・薬剤師・検査技師等の多職種で構成する「院内感染対策委員会」を組織し、また院内感染対策に専門的に取り組む「感染対策室」を設置している。

患者さんをはじめ、当院を利用されるすべての方々、職員を院内感染から守るため日々の活動を行っている。

評価、反省

感染地域連携施設として、9施設の外来感染対策連携となり地域での感染防止対策の取組の推進を開始した。新型コロナウイルス感染症が、令和5年5月より感染症法上5類へ移行された。医療においては、基礎疾患のある方や高齢者は、重症化リスクが高く、感染対策は変わりなく飛沫感染対策を基本とした対応にて院内感染拡大防止に努めている。抗菌薬適正使用の推進として感染対策連携共通プラットフォーム（J-SIPHE）に参加している。

静岡県東部地域でのバンコマイシン耐性腸球菌(以下 VRE)検出があり、地域感染対策として対応策を実施している。

【人員構成】（令和6年3月末現在）

感染対策室専従職員 1名（感染管理認定看護師）

感染対策室専任職員

診療部門 1名

薬剤師 2名

検査技師 1名

事務部門 1名

【実績】

・サーベイランス

- (1) 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス(JANIS)に登録

全入院患者部門

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA) 31件/年

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP) 0件/年

電子カルテ → 共有フォルダー → 07 学術委員会 → 感染対策室（年報 R5 年度）

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE) 0件/年
バンコマイシン耐性腸球菌(VRE) 0件/年

(2) 針刺し・切創事故報告

針刺し・皮膚粘膜汚染など事故報告件数 8件/年

- ・ICT ニュース発行 毎月1回発行 計12回
- ・感染リンクナースニュース発行 毎月1回発行+臨時2回 計15回

・院内感染全体研修(医療法)

令和5年8月～9月 オンライン(eラーニング)研修

「COVID-19発熱外来と入院患者の集計から」ICD:荒川洋一

総合診療科 専攻医:岡田 暁生

「抗菌薬適正使用推進研修」薬剤師:緑川はる香

令和6年1月～令和6年2月 オンライン(eラーニング)研修

「話題の感染症と防止対策」ICD:荒川洋一

「抗菌薬適正使用」薬剤師:緑川はる香

・院内感染環境ラウンド

ICTラウンド 1回/週 合計47回実施

・感染防止加算合同カンファレンス

加算2、3連携 下田メディカルセンター・康心会伊豆東部病院
熱川温泉病院

カンファレンス4回/年開催

外来感染対策連携

横山医院 高野医院 許田医院

下田循環器腎臓クリニック 山本医院 大川胃腸科外科

たちばなメディカルクリニック 木村整形外科クリニック

たちばなメディカルクリニック広野院

伊豆高原ゆうゆうの里診療所

感染防止対策地域連携 相互ラウンド

静岡医療センター 順天堂大学医学部附属静岡病院

8. 診療情報管理室

1 はじめに

診療情報管理室は平成18年9月より開設されました。飯笹室長のもと、室員に医事課職員の診療情報管理士3名が出向し業務をおこなっております。

2 令和5年度活動報告

- (1) 退院台帳の作成
- (2) 退院要約（退院サマリー）の内容、記載の確認
- (3) 統計業務
- (4) 診療録管理委員会の運営
- (5) カルテ開示の準備
- (6) 全国がん登録
- (7) カルテの監査
- (8) D P C 調査

令和5年度の退院患者台帳を作成し、国際疾病分類（ICD-10）にもとづきコーディングを行い疾病検索・各科の年報、統計などに役立てました。退院サマリーの完成率向上のため医師に督促をしております。また、カルテの監査体制を整備し、他職種による監査を行っています。病院機能評価更新に向け活動をおこないました。

3 令和5年度目標

ひきつづき退院台帳の作成や診療情報の入力などを業務として行っていきたいと思いますが、①退院サマリーの退院後2週間以内の作成率の向上 ②退院台帳の統計内容の充実 ③正確なコーディング ④カルテ監査の充実 を目標としていきたいと思っております。

入退院支援室

【基本方針】

住み慣れた地域で継続して生活できるよう、患者の状態に応じた支援体制や地域との連携、外来部門と病棟との連携等を推進する。入院早期から退院後までの切れ目のない支援を行う。

1. 入院や退院に関する様々な問題を調整し円滑な診療が勧められるように支援する。
2. 予約入院となる患者が安心して入院生活を送れるように、入院前から専任の看護師をはじめ薬剤師・栄養士・メディカルソーシャルワーカーなどの他職種と連携し患者の診療を支援する。
3. 患者一人ひとりにあった入院治療及び看護が提供できるよう主治医及び病棟看護師と連携をとり、協働し業務を行う。
4. 退院後の生活や医療費に関する相談、かかりつけ医の紹介、各種申請の手続きなどにメディカルソーシャルワーカーと協同し対応する。
5. 入院患者及び入院予定患者のベッドコントロールを行い、入院治療のための円滑な病床利用の推進をはかる。
6. 地域の病院・診療所と当病院が患者の診療においてスムーズに連携が図れるよう、地域医療連携室と協同し業務を行う。

【人員構成】 看護師長 1 名、看護師 1 名

【実績】

1. 実績報告

新規入院患者数	3,764 人
入退院支援加算 1	1,552 件
介護支援等連携指導料	133 件
退院時共同指導料 2	74 件
多機関共同指導加算	28 件

当院が受け入れた病院	135 件
順天堂大学静岡病院	92 件
静岡医療センター	8 件
国際医療福祉大学熱海病院	4 件
熱海所記念病院	3 件
静岡がんセンター	3 件
その他	25 件

当院から転院した病院	271 件
順天堂大学静岡病院	54 件
熱川温泉病院	33 件
伊豆東部総合病院	21 件
国際医療福祉大熱海病院	15 件
中伊豆リハビリテーションセンター	13 件
中島病院	13 件
南熱海病院	13 件
中伊豆温泉病院	12 件
伊豆今井浜病院	11 件
その他	86 件

介護老人保健施設からの入院件数・当院から転院件数

施設名	入院	転院
いとうの杜	29 件	74 件
みはらし	22 件	103 件
のぞみ	12 件	32 件

2. 多職種カンファレンス

メンバー：医師、病棟看護師、薬剤師、栄養士、リハビリテーションセラピスト、MSW、入退院支援室看護師

曜日	時間	病棟名	診療科
火曜日	15:00	3 南	外科・内科・婦人科
水曜日	16:30	4 南・5 南	整形外科
木曜日	13:30	5 北	内科・小児科
金曜日	13:40	5 南	内科

3. がん相談支援センターの支援

がん相談の実施

癌と診断された方で療養先の相談や治療の相談 45 件

今後の課題

がん相談支援センターと協働しピアサポート活動として、当病院で患者会・患者サロン等の場所づくりへの支援を行うこと

医療福祉相談室

【基本方針、目標】

- ・わかりやすい説明と適切な情報提供ができるための体制づくりに努めます。
- ・地域包括ケアシステム構築のため地域の各種社会資源との連携を深めます。

【人員構成】（令和6年3月末現在）

主任医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）	1名
医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）	4名

【実績】（令和5年4月～令和6年3月）

退院支援計画書、介護支援等連携指導料、退院時共同指導料

※上記は入退院支援室看護師、病棟看護師との業務連携による実績となっております。

具体的な年間の算定件数に関しては入退院支援室の項目に掲載されており、重複するためここでは割愛させていただきます。

入退院支援加算1の基準を取得後、入退院支援室と密な連携を図り、退院支援計画書の算定、早期の多職種カンファレンスの実施、病棟ラウンドにて患者さんの状態把握、退院前カンファレンスの開催など円滑な退院支援に向けて取り組んでいます。

【院内活動】

- ・各病棟退院支援カンファレンス
- ・患者サポートカンファレンス
- ・患者サービス・療養環境改善委員会
- ・緩和ケアカンファレンス
- ・緩和ケア委員会
- ・リハビリテーション運営委員会
- ・産婦人科カンファレンス

【院外活動】

- ・静岡県院内移植コーディネーター連絡会
- ・静岡県がん診療連携協議会 相談支援部会（令和6年3月ワークショップ担当）
- ・伊東市居宅介護支援事業者部会
- ・伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会
- ・地域医療振興協会 MSW 部会

【その他】

医療ソーシャルワーカーの人員数は昨年度と変動ありませんでした。

認知症疾患医療センターとの兼務が解かれ業務や組織図的にも別立てとなりました。

今年度は入退院支援室と協力し多機関共同指導の開催に重点的に取り組みオンラインを使用して外部のクリニックの医師、看護師と連携してのカンファレンスの開催を例年以上に実績をあげることが出来ました。

【来年度の目標】

安定した病院運営に貢献出来るように、医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)で算定可能な退院支援計画書、介護支援等連携指導書、退院時共同指導書の作成も含め円滑な退院支援が出来るように取り組んでいきます。

がん相談支援センターを掲げており、今年度は人員配置要件としてあがっている国立がん研究センターがん対策情報センター主催のがん相談員基礎研修(3)の受講を1名修了することが出来ました。

相談員基礎研修(1)(2)をまだ受講していない者がいるので来年度は修了出来るように取り組んでいきます。

今後も引き続き、がん相談員基礎研修(1)～(3)の修了者を増やせるように受講を推進し、医療ソーシャルワーカー全員で、がん相談支援センターの相談業務の質の向上に努めていきます。

1 1. ドック・健診センター

【業務活動状況】

ドック・健診センターでは、人間ドック・脳ドック・全国健康保険協会生活習慣病予防健診〔協会けんぽ〕・特定健康診査・労働安全衛生法に基づく事業所健診・雇入時の健康診断・一般健診・基本定期健診・特定業務従事者健診・伊東市脳ドック・伊東市がん検診〔胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん、肺がん検診二次読影〕・東伊豆町子宮がん検診等を行っています。

【事業の目的・基本方針】

人間ドック・各種健康診断を実施することで健康保持増進に努め、地域住民の安全・安楽な生活を支え、健康寿命の延伸に貢献いたします。

1. 地域、事業所、個人のニーズに応じた安全で安心できる人間ドック・健康診断を提供いたします。
2. 各種法令・判定基準を遵守し、精確な人間ドック・健康診断を提供できるように努めます。
3. 専門知識、技術の研鑽に努め、質の高い健診を提供できるように努めます。
4. 生活習慣病の予防や改善を手助けし、受診者個人の「健康づくり」を支援いたします。
5. 予防から治療まで一貫して対応できる快適な環境を提供いたします。

【人員構成】（令和5年3月末現在）

医師（内科）	3名
保健師	2名
事務職員	1名
事務職員（臨時）	4名
事務職員（パート）	1名
計	10名

臨床検査技師（兼務）、診療放射線技師（兼務）、看護師（兼務）

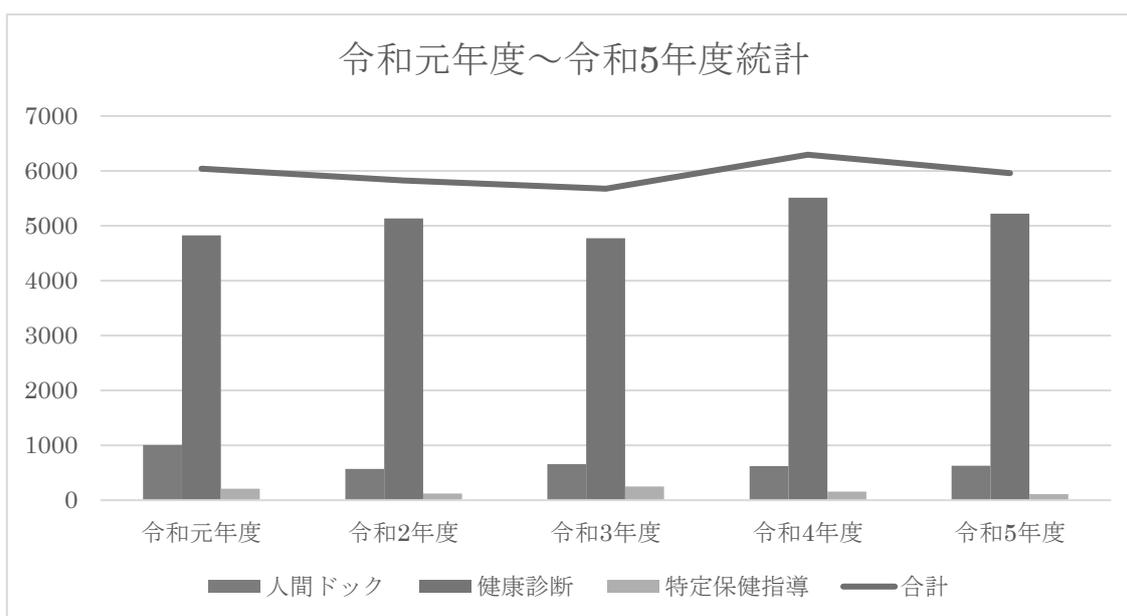
【実績及び成果、評価と課題】

1. 令和5年度は件数・収益共に前年度の数字を下回りました。下半期に予定していた伊東市の脳ドックが前年同様に予定数を大きく下回ったこと、バリウムや胃部内視鏡検査の混雑を避けるため、人数をしっかりと制限したことが影響していると考えられます。
2. 人間ドックについては、伊東市の脳ドックの枠を前年同様に250件にしている

が、実際には122件しか応募が来なかったにもかかわらず、人数は前年よりもわずかに増加しています。これについては協会けんぽ加入者が増え、協会けんぽの補助を利用した人間ドックの利用が多かったこと、脳ドックの予約を早々に終了し、空いた枠を有効活用できたことが考えられます。

3. 令和元年度より伊東市がん検診の2次読影を実施しており、令和5年度は2,854件でした。令和4年度は2,764件で件数の増加を認めます。件数増加の要因としてがん検診の啓蒙活動や各医療機関の経験値が上がったことが考えられます。
4. 利用者の意見箱を設置していますが、利用者の目立った意見は聞かれませんでした。ただし、医師から読影の精度管理について指摘を受けているため、改善に努めております。
6. 令和5年度から件数は減少しています（前年比94.6%）。これは人数制限をかけたことによる健康診断の減少と特定保健指導が更に減少していることが影響しています。
- 7.

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人間ドック	1,004件	569件	655件	623件	627件
健康診断	4,824件	5,134件	4,774件	5,513件	5,220件
特定保健指導	212件	120件	247件	159件	111件
合計	6,040件	5,823件	5,676件	6,295件	5,958件



1 2. 認知症疾患医療センター

【基本方針】

熱海伊東二次医療圏の保健医療・介護機関等と連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、認知症の行動・心理症状と身体合併症の急性期治療に関する対応、専門医療相談、診断後の相談支援等を実施します。また、地域の保健医療介護関係者への研修等を行うことにより、地域における認知症の進行予防から地域生活の維持まで、必要となる医療を提供できる体制の構築を図っていくことを目標としています。

【人員構成】（令和6年3月末現在）

センター長（医師）	1名	センター医師	1名
副センター長（事務部長）	1名	保健師	1名
臨床心理士	1名	精神保健福祉士	1名
連携室事務（兼務）	2名	計	8名

【相談実績】

* 専門医療相談件数

電話	188件	面接（来院）	288件	その他	2件
合計	478件	（前年度286件）			

【外来実績】

* 認知症疾患に係る外来件数及び鑑別診断件数（週5日稼働）

外来件数	595件	（前年度559件）
初診件数	289件	（前年度244件）
鑑別確定件数	246件	（前年度209件）

< 鑑別内訳 >

正常または健常	20件	レビー小体型認知症	7件
軽度認知障害（MCI）	64件	複数の病因による認知症	36件
アルツハイマー型認知症	56件	詳細不明の認知症	13件
血管性認知症	21件	その他	29件

【アウトリーチ（個別訪問）実績】 0件（熱海市、伊東市とも要請なし）

【認知症疾患医療連携協議会開催実績】

令和6年2月22日にWEB形式で実施、17名の協議会委員の方に参加いただきました。

【研修会等実績】

	開催日	対象者	内容	会場	人数
講演会・研修会	4月20日	地域住民 医療介護従事者	介護予防ケアファーム キックオフセミナー	ひぐらし 会館	100名
	5月22日	かかりつけ医 医療介護従事者	もう迷わない認知症診断 ～脳血管性認知症～	当院講堂	38名
	9月27日		認知症の診断後支援 ～パートナー・センター・ケアの視点から	当院講堂	38名
	11月22日		アルツハイマー病とレカネマブ について	当院講堂	61名
	1月16日	地域住民	高齢者に向けた運転免許更新 説明会	当院講堂	25名
講師派遣	10月24日	講座受講者	市民後見人養成講座	伊東市旧保健福 祉センター	4名
	3月5日	講座受講者	キャラバンメイト養成講座	熱海市総合 福祉センター	48名
勉強会	10月17日	医療介護 従事者	宇佐美圏域介護支援専門員 意見交換会	宇佐美コセン	16名
	1月25日		事例検討会	当院講堂	14名
出張相談	7月9日	地域住民	暮らしと医療と介護の合同相談会	デュオ	231名
	9月7日		認知症カフェしらす	宇佐美コセン	10名
	9月27日		伊東市認知症講演会・相談会	ひぐらし会館	134名
	10月13日		対島健康フェスタ	八幡野コセン	146名
	10月24日		認知症カフェ ふるさとカフェ	ふるさと会館	10名
	11月14日		認知症かふえ やぶね	古民家やぶね	8名
	11月20日		認知症かふえ「C o C o (ここ)」	保健福祉センタ	10名
	11月21日		認知症カフェ あまなつ	川奈聖書協会	5名
	1月9日		居場所 いるかクラブ	川奈漁民の家	17名
	2月5日		居場所 グリーンハウスつどい	個人宅	10名

	開催日	対象者	内容	会場	人数
出張相談	2月5日	地域住民	居場所 グリーンハウスつどい	個人宅	10名
	2月20日		ものわすれカフェ	熱海市役所	25名
	2月21日		認知症カフェ「カフェひだまり」	伊東市役所	15名
	3月10日		医療と介護の合同相談会	デュオ	240名
	3月12日		あたまメモリーズカフェ	熱海起雲閣	10名
	3月22日		通いの場 さくら会	旧南幼稚園	14名
ケア会議	6月22日		対島地域包括ケア会議	対島包括	38名
	10月16日		個別ケア会議	宇佐美包括	4名
	12月4日		個別ケア会議	対島包括	9名
地域連携会議	9月15日	医療介護従事者	伊東市地域包括医療推進会議	うさぎ薬局 広野ビル	29名
	3月6日		伊東市認知症初期集中支援チーム連絡会	伊東市役所	18名
	3月7日		熱海市チームオレンジ立ち上げ連絡会	熱海市役所	28名
他	2月16日	認知症当事者	認知症当事者ミーティング	伊東市役所	18名

【成果、評価と課題】

1. 令和5年度は外来受診件数、相談件数とも前年度より増加しました。
2. 対面でのイベントも増えてきており、今年度は伊東市内の「居場所」や「通いの場」など、新たに活動の場を広げ認知症に関するミニセミナーや相談会を実施しました。
3. 熱海市では新たにチームオレンジが組織され、認知症カフェの実施も拡大してきている。当センターも行政担当者や地域包括支援センターと連携し、熱海市内での相談会や啓蒙活動を拡大できるよう計画していきたい。
4. アルツハイマー病の新規治療薬（レカネマブ）に関する問い合わせが増えてきている。現時点で当院でのレカネマブ投与開始の予定はないが、治療に関する正しい情報の提供や相談ができるよう、県内の投与状況を把握しつつ、近隣地域の医療機関等との情報共有、連携を図っていく。

患者数の推移（入院）

	4月 30	5月 31	6月 30	7月 31	8月 31	9月 30	10月 31	11月 30	12月 31	1月 31	2月 29	3月 31	合計 366
在院延患者数	5,651	6,010	5,331	5,813	6,152	5,688	5,509	5,401	5,028	6,102	5,229	5,136	67,050
*4年度	5,213	5,508	5,086	5,707	5,850	5,346	5,401	5,089	5,533	5,976	5,291	5,798	65,798
1日平均患者数	188.4	193.9	177.7	187.5	198.5	189.6	177.7	180.0	162.2	196.9	180.3	165.7	183.2
*4年度	173.8	177.7	169.5	184.1	188.7	178.2	174.2	169.6	178.5	192.8	189.0	187.0	180.3
(前年比)	108.4%	109.1%	104.8%	101.8%	105.2%	106.4%	102.0%	106.1%	90.9%	102.1%	95.4%	88.6%	101.6%
(増▲減)	14.6	16.2	8.2	3.4	9.8	11.4	3.5	10.4	▲ 16.3	4.1	▲ 8.7	▲ 21.3	2.9
入院数	290	323	277	323	375	322	334	323	316	331	255	295	3,764
退院数	283	312	299	289	386	337	335	331	331	291	292	286	3,772
一般病床平均在院日数	16.4	16.0	16.0	16.3	13.6	14.8	13.9	13.7	13.4	16.6	15.7	14.2	15.0
*4年度	14.5	13.3	13.2	14.0	14.5	16.1	14.5	15.3	13.8	17.0	16.7	16.3	14.9
(増▲減)	1.9	2.7	2.8	2.3	▲ 0.9	▲ 1.3	▲ 0.6	▲ 1.6	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 1.0	▲ 2.1	0.1

科別1日平均患者数

	4月 30	5月 31	6月 30	7月 31	8月 31	9月 30	10月 31	11月 30	12月 31	1月 31	2月 29	3月 31	平均 366
内科	103.1	101.0	95.5	113.1	113.1	110.3	90.5	88.3	82.2	117.2	105.2	96.0	101.3
消化器内科	2.3	1.3	1.4	3.0	2.0	1.9	1.0	1.9	2.1	2.0	1.6	0.7	1.8
循環器内科	0.2	0.6	0.8	0.3	1.0	0.6	0.6	0.6	1.1	1.7	2.0	3.9	1.1
小児科	0.2	0.7	1.4	0.9	1.1	0.3	1.0	0.3	0.4	0.2	0.3	0.1	0.6
外科	14.9	13.7	11.9	10.8	13.8	16.7	15.1	16.3	17.9	14.3	13.5	13.4	14.4
整形外科	55.0	62.2	55.1	50.5	56.3	52.2	61.7	67.6	53.4	54.0	49.6	46.2	55.3
脳神経外科	8.3	8.3	7.3	6.0	5.6	3.2	1.4	1.7	2.0	4.4	5.0	4.7	4.8
産婦人科	1.6	2.5	2.1	2.1	3.7	1.3	2.5	0.9	0.9	0.7	0.5	0.5	1.6
眼科	0.5	0.3	0.2	0.4	0.2	0.7	1.2	0.5	0.4	0.2	0.6	0.1	0.4
耳鼻咽喉科	0.1	0.3	0.1	0.1	0.5	0.6	0.2		0.1	0.3	0.3	0.2	0.2
リハビリ科													
放射線科													
泌尿器科	0.2	0.5	0.5	0.2	0.3	0.2	0.5	0.2	0.2	0.4	0.4	0.2	0.3
皮膚科													
麻酔科							0.5	0.5	1.0	1.0	0.6		0.3
形成外科	2.4	2.8	1.8	0.7	1.3	1.9	2.1	1.8	1.1	1.2	1.3	0.2	1.6
合計	188.4	193.9	177.7	187.5	198.5	189.6	177.7	180.0	162.2	196.9	180.3	165.7	183.2

病棟別1日平均患者数

	4月 30	5月 31	6月 30	7月 31	8月 31	9月 30	10月 31	11月 30	12月 31	1月 31	2月 29	3月 31	合計 366
3南病棟	16.4	18.0	15.8	19.1	19.2	18.5	16.3	17.2	19.2	22.0	21.5	22.8	18.8
集中治療室	5.9	7.3	6.3	6.6	8.0	7.0	5.5	5.8	6.0	9.4	7.9	9.0	7.1
4南病棟	37.9	37.9	34.9	33.9	37.9	35.2	34.4	37.2	31.0	35.5	39.0	38.3	36.1
4北病棟	37.2	39.0	37.5	40.1	40.3	37.0	33.8	35.4	31.0	39.2	26.2	0.4	33.1
5南病棟	45.0	45.6	41.1	43.0	45.0	45.6	46.6	41.3	35.9	45.2	41.9	46.5	43.6
5北病棟	46.2	46.4	42.3	45.1	48.3	46.5	41.4	43.3	39.3	45.7	44.0	49.0	44.8
合計	188.4	193.9	177.7	187.5	198.5	189.6	177.7	180.0	162.2	196.9	180.3	165.7	183.2

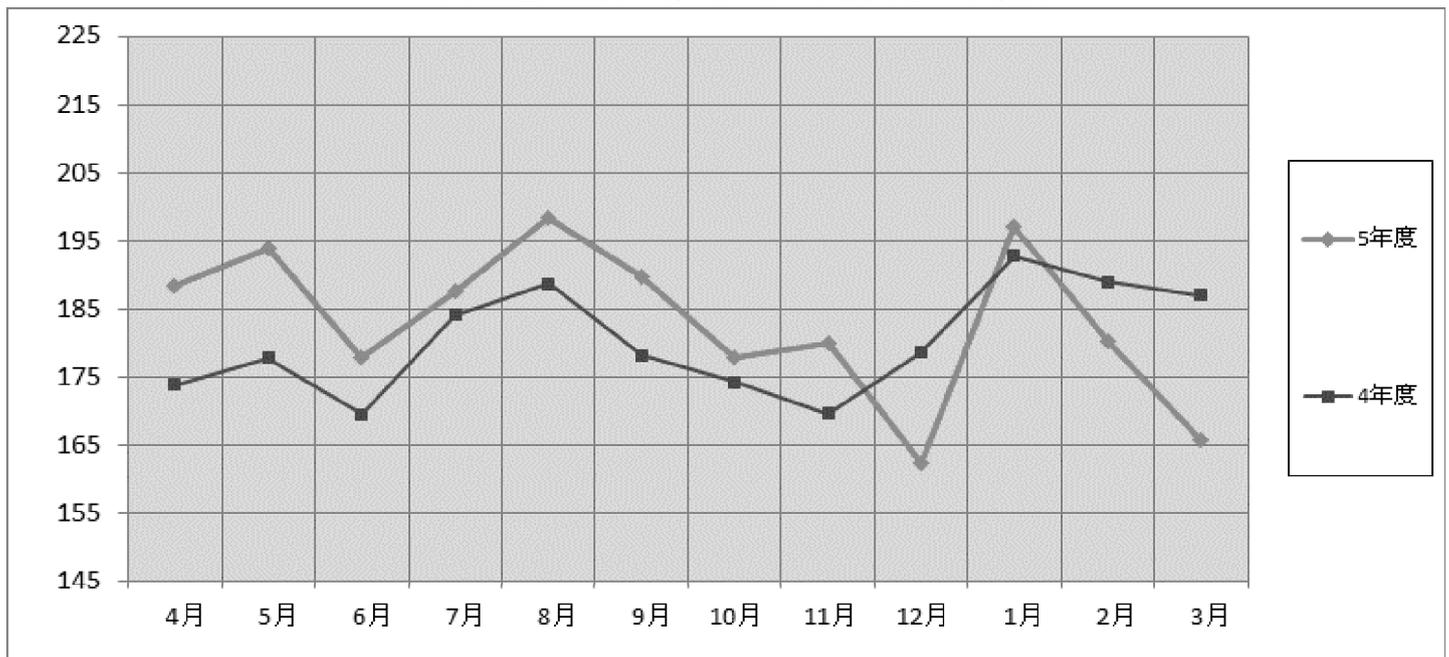
科別延べ患者数

	4月 30	5月 31	6月 30	7月 31	8月 31	9月 30	10月 31	11月 30	12月 31	1月 31	2月 29	3月 31	合計 366
内科	3,091	3,130	2,864	3,506	3,506	3,309	2,803	2,647	2,548	3,632	3,048	2,976	37,060
消化器内科	68	40	41	90	61	57	31	55	64	59	45	19	630
循環器内科	5	18	23	7	31	16	17	17	32	50	58	119	393
小児科	6	21	41	25	32	9	29	7	11	4	6	2	193
外科	446	423	357	334	426	501	466	487	552	443	391	414	5,240
整形外科	1,649	1,928	1,653	1,565	1,745	1,564	1,912	2,027	1,653	1,672	1,437	1,431	20,236
脳神経外科	249	256	219	184	173	95	41	49	60	134	144	144	1,748
産婦人科	46	77	62	63	112	39	77	25	27	19	13	14	574
眼科	14	8	4	12	6	20	35	14	10	4	16	2	145
耳鼻咽喉科	1	9	1	3	13	16	6		3	7	8	6	73
リハビリ科													
放射線科													
泌尿器科	4	14	13	5	9	6	13	6	6	11	11	4	102
皮膚科													
麻酔科							15	14	29	31	17		106
形成外科	72	86	53	19	38	56	64	53	33	36	35	5	550
合計	5,651	6,010	5,331	5,813	6,152	5,688	5,509	5,401	5,028	6,102	5,229	5,136	67,050

病棟別延べ患者数

	4月 30	5月 31	6月 30	7月 31	8月 31	9月 30	10月 31	11月 30	12月 31	1月 31	2月 29	3月 31	合計 366
3南病棟	490	557	473	590	595	553	504	514	595	681	622	704	6,878
集中治療室	175	226	188	204	246	210	169	174	186	291	228	276	2,573
4南病棟	1,136	1,172	1,046	1,048	1,173	1,055	1,065	1,116	960	1,100	1,129	1,187	13,187
4北病棟	1,116	1,208	1,124	1,243	1,248	1,110	1,046	1,062	958	1,214	759	12	12,100
5南病棟	1,350	1,411	1,233	1,332	1,394	1,366	1,444	1,238	1,111	1,400	1,215	1,439	15,933
5北病棟	1,384	1,436	1,267	1,396	1,496	1,394	1,281	1,297	1,218	1,416	1,276	1,518	16,379
合計	5,651	6,010	5,331	5,813	6,152	5,688	5,509	5,401	5,028	6,102	5,229	5,136	67,050

入院患者数の推移（5年度 対 4年度）



月別診療科別1日平均患者数(前年比較)

入院

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	5年度	103.1	101.0	95.5	113.1	113.1	110.3	90.5	88.3	82.2	117.2	105.2	96.0	101.3
	4年度	96.7	109.0	106.9	112.2	113.3	101.4	96.7	90.5	103.9	111.6	104.1	108.8	104.6
	増▲減	6.4	▲ 8.0	▲ 11.4	0.9	▲ 0.2	8.9	▲ 6.2	▲ 2.2	▲ 21.7	5.6	1.1	▲ 12.8	▲ 3.3
消化器内科	5年度	2.3	1.3	1.4	3.0	2.0	1.9	1.0	1.9	2.1	2.0	1.6	0.7	1.8
	4年度	0.2	0.6	0.5	1.3	0.6	0.9	1.8	2.0	1.0	0.7	1.1	1.0	1.0
	増▲減	2.1	0.7	0.9	1.7	1.4	1.0	▲ 0.8	▲ 0.1	1.1	1.3	0.5	▲ 0.3	0.8
循環器内科	5年度	0.2	0.6	0.8	0.3	1.0	0.6	0.6	0.6	1.1	1.7	2.0	3.9	1.1
	4年度	0.5	0.9	0.4	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.7	2.3	0.2	0.0	0.4
	増▲減	▲ 0.3	▲ 0.3	0.4	0.3	1.0	0.6	0.4	0.6	0.4	▲ 0.6	1.8	3.9	0.7
小児科	5年度	0.2	0.7	1.4	0.9	1.1	0.3	1.0	0.3	0.4	0.2	0.3	0.1	0.6
	4年度	0.3	0.3	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1
	増▲減	▲ 0.1	0.4	1.3	0.6	1.0	0.3	1.0	0.1	0.4	0.2	0.1	0.0	0.5
外科	5年度	14.9	13.7	11.9	10.8	13.8	16.7	15.1	16.3	17.9	14.3	13.5	13.4	14.4
	4年度	13.9	10.6	10.0	11.3	14.1	14.4	14.9	15.9	12.7	11.1	14.8	16.4	13.3
	増▲減	1.0	3.1	1.9	▲ 0.5	▲ 0.3	2.3	0.2	0.4	5.2	3.2	▲ 1.3	▲ 3.0	1.0
整形外科	5年度	55.0	62.2	55.1	50.5	56.3	52.2	61.7	67.6	53.4	54.0	49.6	46.2	55.3
	4年度	50.4	45.7	43.2	49.7	54.4	54.2	51.6	53.1	53.1	60.7	61.3	52.6	52.5
	増▲減	4.6	16.5	11.9	0.8	1.9	▲ 2.0	10.1	14.5	0.3	▲ 6.7	▲ 11.7	▲ 6.4	2.8
脳神経外科	5年度	8.3	8.3	7.3	6.0	5.6	3.2	1.4	1.7	2.0	4.4	5.0	4.7	4.8
	4年度	8.4	7.4	5.4	4.0	3.9	4.0	5.0	4.3	4.2	4.2	4.1	5.1	5.0
	増▲減	▲ 0.1	0.9	1.9	2.0	1.7	▲ 0.8	▲ 3.6	▲ 2.6	▲ 2.2	0.2	0.9	▲ 0.4	▲ 0.2
産婦人科	5年度	1.6	2.5	2.1	2.1	3.7	1.3	2.5	0.9	0.9	0.7	0.5	0.5	1.6
	4年度	0.6	0.8	1.2	1.7	1.3	0.8	1.2	1.2	1.2	0.8	0.9	0.3	1.0
	増▲減	1.0	1.7	0.9	0.4	2.4	0.5	1.3	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.4	0.2	0.6
眼科	5年度	0.5	0.3	0.2	0.4	0.2	0.7	1.2	0.5	0.4	0.2	0.6	0.1	0.4
	4年度	0.6	0.4	0.5	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.5	0.0	0.3	0.7	0.4
	増▲減	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.3	0.0	▲ 0.1	0.3	0.8	0.2	▲ 0.1	0.2	0.3	▲ 0.6	0.0
耳鼻咽喉科	5年度	0.1	0.3	0.1	0.1	0.5	0.6	0.2	0.0	0.1	0.3	0.3	0.2	0.2
	4年度	0.5	0.9	0.1	0.4	0.1	0.4	0.3	0.3	0.1	0.2	0.2	0.1	0.3
	増▲減	▲ 0.4	▲ 0.6	0.0	▲ 0.3	0.4	0.2	▲ 0.1	▲ 0.3	0.0	0.1	0.1	0.1	▲ 0.1
リハビリテーション科	5年度													
	4年度													
	増▲減													
放射線科	5年度													
	4年度													
	増▲減													
泌尿器科	5年度	0.2	0.5	0.5	0.2	0.3	0.2	0.5	0.2	0.2	0.4	0.4	0.2	0.3
	4年度	0.2	0.4	0.6	0.2	0.2	0.1	0.6	0.6	0.2	0.4	0.6	0.2	0.4
	増▲減	0.0	0.1	▲ 0.1	0.0	0.1	0.1	▲ 0.1	▲ 0.4	0.0	0.0	▲ 0.2	0.0	▲ 0.1
皮膚科	5年度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4年度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	増▲減	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
麻酔科	5年度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	1.0	1.0	0.6	0.0	0.3
	4年度	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.7	0.1
	増▲減	0.0	▲ 0.1	0.0	▲ 0.3	0.0	0.0	0.5	0.5	1.0	0.9	0.1	▲ 0.7	0.2
形成外科	5年度	2.4	2.8	1.8	0.7	1.3	1.9	2.1	1.8	1.1	1.2	1.3	0.2	1.6
	4年度	1.8	1.3	1.2	2.9	0.9	1.8	2.0	1.6	1.4	1.2	1.0	1.6	1.6
	増▲減	0.6	1.5	0.6	▲ 2.2	0.4	0.1	0.1	0.2	▲ 0.3	0.0	0.3	▲ 1.4	0.0
	5年度													
	4年度													
	増▲減													
	5年度													
	4年度													
	増▲減													
合計	5年度	188.4	193.9	177.7	187.5	198.5	189.6	177.7	180.0	162.2	196.9	180.3	165.7	183.2
	4年度	173.8	177.7	169.5	184.1	188.7	178.2	174.2	169.6	178.5	192.8	189.0	187.0	180.3
	増▲減	14.6	16.2	8.2	3.4	9.8	11.4	3.5	10.4	▲ 16.3	4.1	▲ 8.7	▲ 21.3	2.9

患者数の推移（外来）

	4月 20	5月 20	6月 22	7月 20	8月 22	9月 20	10月 21	11月 20	12月 20	1月 19	2月 19	3月 20	合計 243
延患者数	7,837	8,120	8,127	7,952	8,346	8,324	8,474	8,093	8,214	8,050	7,509	8,006	97,052
*4年度	8,490	8,248	8,907	9,007	9,024	8,851	8,624	8,566	8,648	8,051	7,653	8,799	102,868
1日平均	391.9	406.0	369.4	397.6	379.4	416.2	403.5	404.7	410.7	423.7	395.2	400.3	399.4
*4年度	424.5	434.1	404.9	450.4	410.2	442.6	431.2	428.3	432.4	423.7	402.8	400.0	423.3
(前年比)	92.3%	93.6%	91.2%	88.3%	92.5%	94.0%	93.6%	94.5%	95.0%	100.0%	98.1%	100.1%	94.4%
(増▲減)	▲ 32.6	▲ 28.1	▲ 35.5	▲ 52.8	▲ 30.8	▲ 26.4	▲ 27.7	▲ 23.6	▲ 21.7	0.0	▲ 7.6	0.3	▲ 23.9
初診	847	859	798	931	1,037	894	911	843	866	902	773	813	10,474
再来	6,990	7,261	7,329	7,021	7,309	7,430	7,563	7,250	7,348	7,148	6,736	7,193	86,578
初診／延患	10.8%	10.6%	9.8%	11.7%	12.4%	10.7%	10.8%	10.4%	10.5%	11.2%	10.3%	10.2%	10.8%

科別1日平均患者数

	4月 20	5月 20	6月 22	7月 20	8月 22	9月 20	10月 21	11月 20	12月 20	1月 19	2月 19	3月 20	合計 243
内科	120.8	130.8	119.3	133.9	125.8	136.2	127.0	129.2	129.6	140.1	121.3	126.7	128.3
消化器内科	13.3	12.3	12.5	11.9	14.5	12.4	14.1	13.0	15.5	11.4	14.9	13.0	13.3
循環器内科	29.3	30.0	28.2	27.4	25.1	33.0	30.1	25.1	29.7	31.1	28.0	28.8	28.8
小児科	4.3	6.3	6.1	6.4	5.6	5.3	5.7	6.5	6.5	5.9	4.8	6.5	5.8
外科	33.6	33.6	32.2	34.6	33.3	37.6	37.0	35.1	37.9	38.9	36.3	35.2	35.4
整形外科	79.4	77.3	68.5	75.4	71.3	79.1	76.3	78.8	76.8	79.3	76.2	78.3	76.3
脳神経外科	6.1	6.3	6.2	6.4	4.7	5.4	5.3	6.5	6.1	7.4	5.8	6.3	6.0
産婦人科	9.6	9.9	10.0	9.6	8.5	10.6	10.9	10.8	10.8	10.5	10.8	9.2	10.1
眼科	25.3	26.1	23.0	26.8	24.5	29.6	25.0	27.0	27.5	27.8	23.3	27.0	26.0
耳鼻咽喉科	4.8	6.5	4.2	5.6	4.2	5.1	4.1	4.5	5.0	4.5	4.0	4.9	4.8
リハビリ科	4.4	4.0	4.2	4.4	5.8	5.2	7.8	7.1	6.6	8.3	7.6	8.0	6.1
放射線科	7.8	6.9	6.4	6.0	5.5	6.2	6.8	5.9	6.0	6.0	6.8	7.4	6.5
泌尿器科	15.8	14.6	14.9	13.7	14.8	15.8	14.5	15.6	15.3	15.8	16.7	13.8	15.1
皮膚科	26.1	29.0	23.0	25.5	25.4	23.5	26.7	25.9	24.8	24.7	27.6	24.7	25.6
麻酔科	3.4	3.3	2.9	3.0	3.7	3.0	3.5	4.1	3.7	3.5	2.7	2.8	3.3
形成外科	8.1	9.6	8.6	7.3	7.5	8.5	9.5	9.8	9.2	9.2	9.0	8.1	8.7
合計	391.9	406.0	369.4	397.6	379.4	416.2	403.5	404.7	410.7	423.7	395.2	400.3	399.4

1日平均初診患者数

	4月 20	5月 20	6月 22	7月 20	8月 22	9月 20	10月 21	11月 20	12月 20	1月 19	2月 19	3月 20	合計 243
内科	16.0	17.6	14.9	20.9	22.8	21.2	18.1	17.8	19.2	21.5	17.3	16.9	18.7
消化器内科	1.0	0.7	0.8	1.2	1.3	0.9	0.8	1.2	1.3	0.7	1.4	0.7	1.0
循環器内科	0.8	0.9	0.8	1.0	0.9	0.9	0.8	0.7	1.0	1.0	1.2	1.1	0.9
小児科	1.3	2.0	2.2	2.9	2.7	2.1	2.1	1.6	2.0	1.9	1.9	1.7	2.1
外科	2.7	2.8	2.5	2.8	3.6	2.4	3.3	2.4	3.2	4.2	2.7	3.0	3.0
整形外科	5.9	6.2	3.4	5.2	4.8	5.3	5.1	5.6	5.6	5.0	5.4	4.6	5.2
脳神経外科	1.6	1.9	2.0	1.7	1.4	1.5	1.2	1.8	1.7	2.3	1.2	1.7	1.7
産婦人科	0.9	0.8	0.5	0.7	0.7	0.8	1.0	0.9	0.9	0.8	0.7	0.7	0.8
眼科	1.0	0.8	0.7	0.9	1.0	0.7	0.8	1.0	0.6	1.0	0.8	0.7	0.9
耳鼻咽喉科	0.9	1.1	0.5	1.1	1.1	1.0	0.8	0.8	0.7	0.7	0.4	0.8	0.8
リハビリ科	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
放射線科	6.4	5.7	5.3	4.8	4.7	4.8	5.6	4.7	4.6	5.5	5.4	6.3	5.3
泌尿器科	0.8	0.5	0.9	0.7	0.5	0.9	0.7	1.2	1.0	1.0	0.7	0.3	0.8
皮膚科	1.3	1.0	1.0	1.6	1.0	1.0	1.7	0.9	0.7	1.2	1.0	1.1	1.1
麻酔科	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.3	0.0	0.1	0.2
形成外科	1.8	1.1	1.4	1.3	1.3	1.4	2.0	1.6	1.1	1.1	1.3	1.4	1.4
合計	42.4	43.0	36.3	46.6	47.2	44.7	43.4	42.2	43.3	47.5	40.7	40.7	43.2

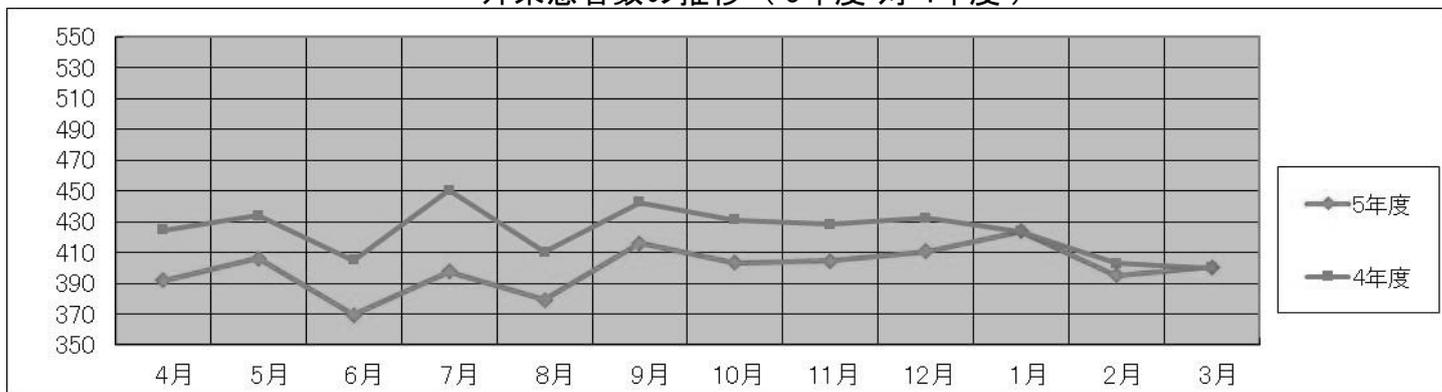
科別延べ患者数

	4月 20	5月 20	6月 22	7月 20	8月 22	9月 20	10月 21	11月 20	12月 20	1月 19	2月 19	3月 20	合計 243
内科	2,416	2,615	2,624	2,678	2,766	2,724	2,665	2,584	2,591	2,661	2,303	2,534	31,161
消化器内科	266	245	274	238	318	247	295	259	309	216	283	259	3,209
循環器内科	585	599	619	548	551	659	631	502	594	590	531	576	6,985
小児科	85	125	134	127	122	106	119	129	129	112	90	129	1,407
外科	672	671	707	692	732	752	777	702	758	739	689	704	8,595
整形外科	1,588	1,545	1,505	1,508	1,567	1,582	1,601	1,576	1,536	1,506	1,447	1,565	18,526
脳神経外科	122	125	136	127	103	107	110	130	122	140	110	126	1,458
産婦人科	192	198	218	192	186	212	227	215	216	199	204	184	2,443
眼科	506	521	504	535	537	592	524	540	550	527	442	540	6,318
耳鼻咽喉科	95	130	91	112	91	101	85	89	99	85	76	98	1,152
リハビリ科	88	80	92	88	126	104	163	142	131	156	144	159	1,473
放射線科	156	138	140	119	119	124	142	118	119	113	129	147	1,564
泌尿器科	315	291	326	273	325	316	304	312	306	299	317	275	3,659
皮膚科	522	579	506	510	558	469	560	518	496	468	523	493	6,202
麻酔科	68	66	62	60	81	60	72	81	74	66	50	55	795
形成外科	161	192	189	145	164	169	199	196	184	173	171	162	2,105
合計	7,837	8,120	8,127	7,952	8,346	8,324	8,474	8,093	8,214	8,050	7,509	8,006	97,052

初診患者数

	4月 20	5月 20	6月 22	7月 20	8月 22	9月 20	10月 21	11月 20	12月 20	1月 19	2月 19	3月 20	合計 243
内科	319	352	327	417	500	423	379	356	384	407	328	337	4,529
消化器内科	20	14	16	23	27	17	16	23	25	12	26	14	233
循環器内科	16	17	16	20	18	18	15	13	19	19	22	21	214
小児科	26	40	47	58	58	41	43	32	40	35	35	33	488
外科	54	56	55	55	79	48	68	48	63	78	51	59	714
整形外科	117	123	74	103	105	105	107	111	111	94	101	91	1,242
脳神経外科	32	37	42	33	29	30	24	35	33	43	21	33	392
産婦人科	18	15	11	14	15	15	19	17	18	14	13	13	182
眼科	20	16	14	17	21	14	15	20	11	19	15	13	195
耳鼻咽喉科	18	22	9	22	24	20	15	16	14	12	6	16	194
リハビリ科	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	5
放射線科	128	113	116	96	102	95	117	94	92	104	101	126	1,284
泌尿器科	16	10	19	13	9	18	13	24	20	18	12	6	178
皮膚科	26	19	20	31	22	19	34	17	14	22	19	21	264
麻酔科	2	2	2	3	1	3	4	4	1	5	0	1	28
形成外科	35	22	30	25	27	28	41	32	21	20	23	28	332
合計	847	859	798	931	1,037	894	911	843	866	902	773	813	10,474

外来患者数の推移（5年度 対 4年度）



令和5年度 月別診療科別 1日平均患者数（前年比較）

外来

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	5年度	120.8	130.8	119.3	133.9	125.8	136.2	127.0	129.2	129.6	140.1	121.3	126.7	128.3
	4年度	138.5	142.8	129.3	162.5	144.8	152.9	139.6	138.5	147.1	146.9	128.2	131.9	141.9
	増▲減	▲ 17.7	▲ 12.0	▲ 10.0	▲ 28.6	▲ 19.0	▲ 16.7	▲ 12.6	▲ 9.3	▲ 17.5	▲ 6.8	▲ 6.9	▲ 5.2	▲ 13.6
消化器内科	5年度	13.3	12.3	12.5	11.9	14.5	12.4	14.1	13.0	15.5	11.4	14.9	13.0	13.3
	4年度	11.9	12.9	11.4	11.4	10.8	14.2	14.0	13.3	12.8	11.4	11.0	12.0	12.3
	増▲減	1.4	▲ 0.6	1.1	0.5	3.7	▲ 1.8	0.1	▲ 0.3	2.7	0.0	3.9	1.0	1.0
循環器内科	5年度	29.3	30.0	28.2	27.4	25.1	33.0	30.1	25.1	29.7	31.1	28.0	28.8	28.8
	4年度	31.2	31.7	28.5	29.0	27.8	29.0	29.8	32.6	32.0	30.2	30.6	29.1	30.1
	増▲減	▲ 1.9	▲ 1.7	▲ 0.3	▲ 1.6	▲ 2.7	4.0	0.3	▲ 7.5	▲ 2.3	0.9	▲ 2.6	▲ 0.3	▲ 1.3
小児科	5年度	4.3	6.3	6.1	6.4	5.6	5.3	5.7	6.5	6.5	5.9	4.8	6.5	5.8
	4年度	5.7	7.2	5.2	9.9	8.2	6.3	6.2	5.7	7.9	6.3	6.2	4.9	6.6
	増▲減	▲ 1.4	▲ 0.9	0.9	▲ 3.5	▲ 2.6	▲ 1.0	▲ 0.5	0.8	▲ 1.4	▲ 0.4	▲ 1.4	1.6	▲ 0.8
外科	5年度	33.6	33.6	32.2	34.6	33.3	37.6	37.0	35.1	37.9	38.9	36.3	35.2	35.4
	4年度	36.0	38.3	37.0	38.2	35.8	37.8	39.9	37.3	36.4	36.1	35.4	35.0	36.9
	増▲減	▲ 2.4	▲ 4.7	▲ 4.8	▲ 3.6	▲ 2.5	▲ 0.2	▲ 2.9	▲ 2.2	1.5	2.8	0.9	0.2	▲ 1.5
整形外科	5年度	79.4	77.3	68.5	75.4	71.3	79.1	76.3	78.8	76.8	79.3	76.2	78.3	76.3
	4年度	83.5	83.2	80.6	83.9	78.8	76.3	83.5	84.5	80.6	79.0	79.8	74.2	80.7
	増▲減	▲ 4.1	▲ 5.9	▲ 12.1	▲ 8.5	▲ 7.5	2.8	▲ 7.2	▲ 5.7	▲ 3.8	0.3	▲ 3.6	4.1	▲ 4.4
脳神経外科	5年度	6.1	6.3	6.2	6.4	4.7	5.4	5.3	6.5	6.1	7.4	5.8	6.3	6.0
	4年度	6.2	6.7	4.8	6.0	4.8	6.2	5.9	6.7	6.4	6.8	7.4	6.6	6.2
	増▲減	▲ 0.1	▲ 0.4	1.4	0.4	▲ 0.1	▲ 0.8	▲ 0.6	▲ 0.2	▲ 0.3	0.6	▲ 1.6	▲ 0.3	▲ 0.2
産婦人科	5年度	9.6	9.9	10.0	9.6	8.5	10.6	10.9	10.8	10.8	10.5	10.8	9.2	10.1
	4年度	9.2	8.3	10.4	9.5	7.0	11.5	9.6	10.0	10.2	8.8	8.3	10.2	9.4
	増▲減	0.4	1.6	▲ 0.4	0.1	1.5	▲ 0.9	1.3	0.8	0.6	1.7	2.5	▲ 1.0	0.7
眼科	5年度	25.3	26.1	23.0	26.8	24.5	29.6	25.0	27.0	27.5	27.8	23.3	27.0	26.0
	4年度	25.0	26.8	24.9	27.3	23.9	27.5	26.8	25.2	25.8	26.3	25.7	25.2	25.9
	増▲減	0.3	▲ 0.7	▲ 1.9	▲ 0.5	0.6	2.1	▲ 1.8	1.8	1.7	1.5	▲ 2.4	1.8	0.1
耳鼻咽喉科	5年度	4.8	6.5	4.2	5.6	4.2	5.1	4.1	4.5	5.0	4.5	4.0	4.9	4.8
	4年度	5.1	5.5	4.7	6.1	5.0	4.8	4.4	5.4	5.0	5.2	5.4	5.0	5.1
	増▲減	▲ 0.3	1.0	▲ 0.5	▲ 0.5	▲ 0.8	0.3	▲ 0.3	▲ 0.9	0.0	▲ 0.7	▲ 1.4	▲ 0.1	▲ 0.3
リハビリ	5年度	4.4	4.0	4.2	4.4	5.8	5.2	7.8	7.1	6.6	8.3	7.6	8.0	6.1
	4年度	7.6	7.1	6.1	7.8	8.3	9.2	7.9	8.0	6.4	6.9	7.1	5.9	7.4
	増▲減	▲ 3.2	▲ 3.1	▲ 1.9	▲ 3.4	▲ 2.5	▲ 4.0	▲ 0.1	▲ 0.9	0.2	1.4	0.5	2.1	▲ 1.3
放射線科	5年度	7.8	6.9	6.4	6.0	5.5	6.2	6.8	5.9	6.0	6.0	6.8	7.4	6.5
	4年度	6.6	7.8	6.8	7.1	4.7	7.9	6.9	6.7	6.2	6.0	6.9	7.2	6.7
	増▲減	1.2	▲ 0.9	▲ 0.4	▲ 1.1	0.8	▲ 1.7	▲ 0.1	▲ 0.8	▲ 0.2	0.0	▲ 0.1	0.2	▲ 0.2
泌尿器科	5年度	15.8	14.6	14.9	13.7	14.8	15.8	14.5	15.6	15.3	15.8	16.7	13.8	15.1
	4年度	16.8	14.6	14.9	13.1	13.9	15.6	15.3	15.0	17.2	15.2	15.8	15.6	15.3
	増▲減	▲ 1.0	0.0	0.0	0.6	0.9	0.2	▲ 0.8	0.6	▲ 1.9	0.6	0.9	▲ 1.8	▲ 0.2
皮膚科	5年度	26.1	29.0	23.0	25.5	25.4	23.5	26.7	25.9	24.8	24.7	27.6	24.7	25.6
	4年度	28.1	28.0	28.5	26.6	26.0	28.9	27.9	26.6	25.6	24.9	24.3	24.4	26.7
	増▲減	▲ 2.0	1.0	▲ 5.5	▲ 1.1	▲ 0.6	▲ 5.4	▲ 1.2	▲ 0.7	▲ 0.8	▲ 0.2	3.3	0.3	▲ 1.1
麻酔科	5年度	3.4	3.3	2.9	3.0	3.7	3.0	3.5	4.1	3.7	3.5	2.7	2.8	3.3
	4年度	3.4	3.3	3.0	3.2	3.5	3.6	3.8	3.8	3.4	3.8	3.7	3.4	3.5
	増▲減	0.0	▲ 0.0	▲ 0.1	▲ 0.2	0.2	▲ 0.6	▲ 0.3	0.3	0.3	▲ 0.3	▲ 1.0	▲ 0.6	▲ 0.2
形成外科	5年度	8.1	9.6	8.6	7.3	7.5	8.5	9.5	9.8	9.2	9.2	9.0	8.1	8.7
	4年度	10.1	10.8	9.5	9.3	7.7	11.3	10.2	9.4	9.9	10.8	7.7	10.2	9.7
	増▲減	▲ 2.0	▲ 1.2	▲ 0.9	▲ 2.0	▲ 0.2	▲ 2.8	▲ 0.7	0.4	▲ 0.7	▲ 1.6	1.3	▲ 2.1	▲ 1.0
合計	5年度	391.9	406.0	369.4	397.6	379.4	416.2	403.5	404.7	410.7	423.7	395.2	400.3	399.4
	4年度	424.5	434.1	404.9	450.4	410.2	442.6	431.2	428.3	432.4	423.7	402.8	400.0	423.8
	増▲減	▲ 32.6	▲ 28.1	▲ 35.5	▲ 52.8	▲ 30.8	▲ 26.4	▲ 27.7	▲ 23.6	▲ 21.7	0.0	▲ 7.6	0.3	▲ 24.4

【前年度との比較】

入院

1日平均患者数(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
5年度	188.4	193.9	177.7	187.5	198.5	189.6	177.7	180.0	162.2	196.9	180.3	165.7	183.2
4年度	173.8	177.7	169.5	184.1	188.7	178.2	174.2	169.6	178.5	192.8	189.0	187.0	180.3
増▲減	14.6	16.2	8.2	3.4	9.8	11.4	3.5	10.4	▲ 16.3	4.1	▲ 8.7	▲ 21.3	2.9

平均在院日数(単位:日)(一般病床)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
5年度	16.4	16.0	16.0	16.3	13.6	14.8	13.9	13.7	13.4	16.6	15.7	14.2	15.0
4年度	14.5	13.3	13.2	14.0	14.5	16.1	14.5	15.3	13.8	17.0	16.7	16.3	14.9
増▲減	1.9	2.7	2.8	2.3	▲ 0.9	▲ 1.3	▲ 0.6	▲ 1.6	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 1.0	▲ 2.1	0.1

1人1日単価(単位:円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
5年度	50,219	51,179	51,583	50,960	53,179	53,997	53,283	51,558	54,168	52,018	50,935	53,014	52,159
4年度	52,270	53,040	53,759	53,853	56,324	53,252	52,518	53,402	54,573	53,278	53,026	51,343	53,399
増▲減	▲ 2,051	▲ 1,861	▲ 2,176	▲ 2,893	▲ 3,145	745	765	▲ 1,844	▲ 405	▲ 1,260	▲ 2,091	1,671	▲ 1,240

外来

1日平均患者数(単位:人)

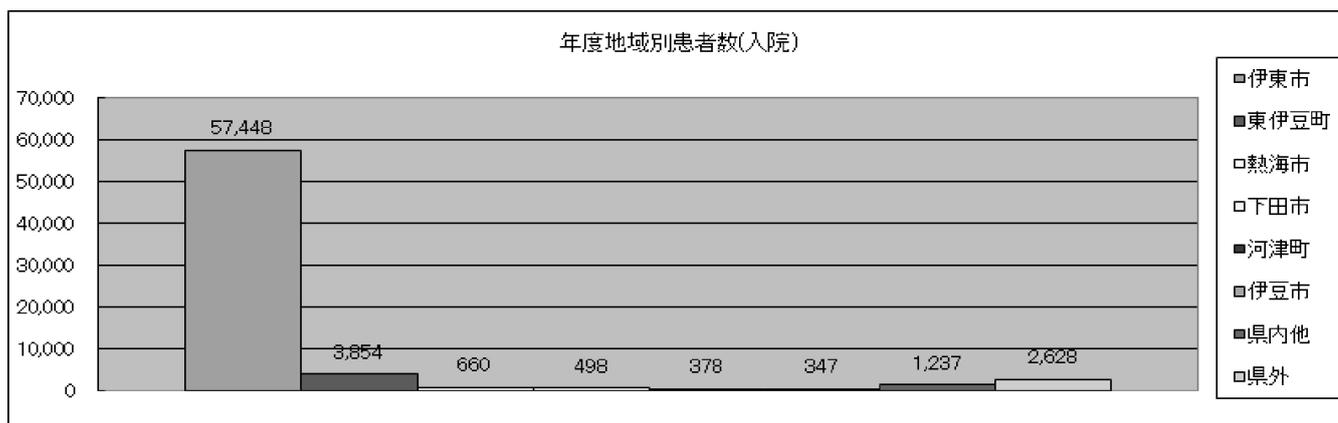
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
5年度	391.9	406.0	369.4	397.6	379.4	416.2	403.5	404.7	410.7	423.7	395.2	400.3	399.4
4年度	424.5	434.1	404.9	450.4	410.2	442.6	431.2	428.3	432.4	423.7	402.8	400.0	423.3
増▲減	▲ 32.6	▲ 28.1	▲ 35.5	▲ 52.8	▲ 30.8	▲ 26.4	▲ 27.7	▲ 23.6	▲ 21.7	0.0	▲ 7.6	0.3	▲ 23.9

1人1日単価(単位:円)

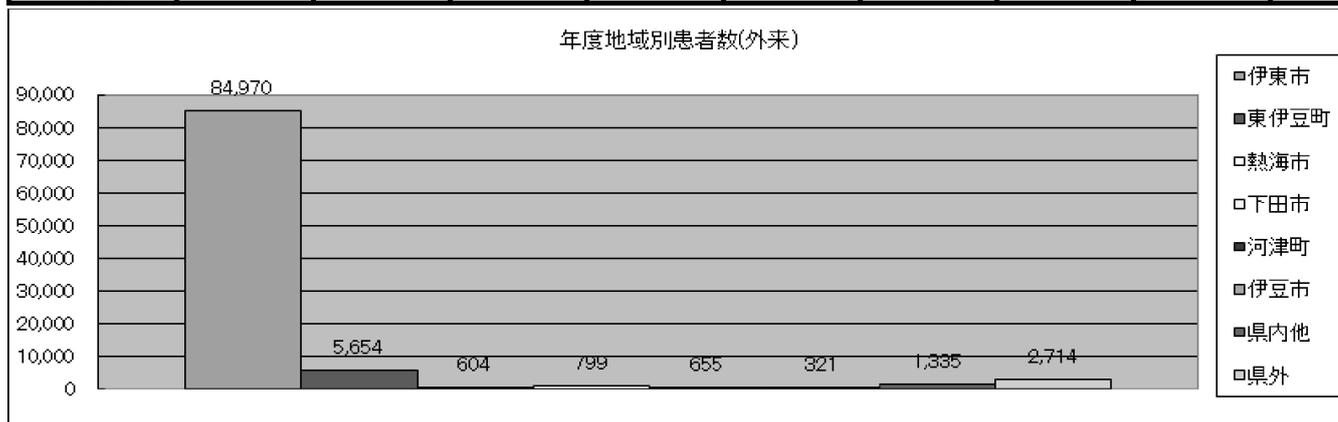
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
5年度	11,560	11,828	11,938	11,796	11,336	11,372	11,369	11,152	11,536	12,147	11,566	11,674	11,604
4年度	11,862	11,900	11,464	12,119	12,375	11,690	12,175	11,644	11,832	12,501	11,818	12,176	11,963
増▲減	▲ 302	▲ 72	474	▲ 323	▲ 1,039	▲ 318	▲ 806	▲ 492	▲ 296	▲ 354	▲ 252	▲ 502	▲ 359

地域別患者数

入院	伊東市	東伊豆町	熱海市	下田市	河津町	伊豆市	県内他	県外	合計
4月	4,685	435	114	44	42	33	170	128	5,651
5月	5,004	359	58	63	34	28	185	279	6,010
6月	4,634	260	10	42	0	11	151	223	5,331
7月	4,973	320	72	20	3	50	112	263	5,813
8月	5,216	369	107	17	36	5	80	322	6,152
9月	4,810	320	56	63	53	24	129	233	5,688
10月	4,794	301	30	57	15	0	63	249	5,509
11月	4,609	393	42	22	19	4	60	252	5,401
12月	4,249	364	67	32	79	13	48	176	5,028
1月	5,306	327	45	70	62	58	96	138	6,102
2月	4,686	151	57	25	24	61	45	180	5,229
3月	4,482	255	2	43	11	60	98	185	5,136
年度合計	57,448	3,854	660	498	378	347	1,237	2,628	67,050
年度構成割合	85.7%	5.7%	1.0%	0.7%	0.6%	0.5%	1.8%	3.9%	100.0%
4年度	84.6%	5.5%	1.3%	0.8%	0.8%	0.4%	2.8%	3.7%	100.0%



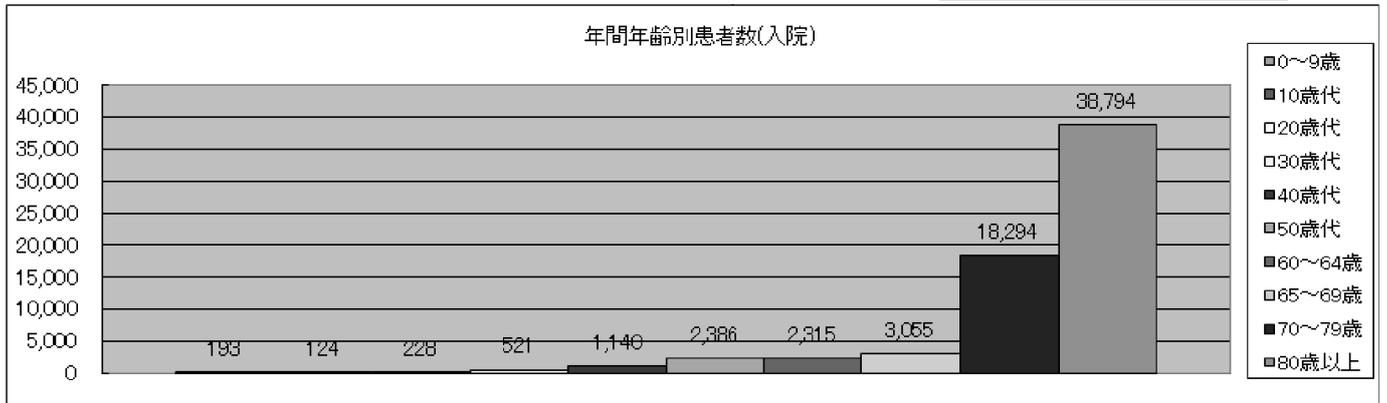
外来	伊東市	東伊豆町	熱海市	下田市	河津町	伊豆市	県内他	県外	合計
4月	6,828	490	57	76	60	26	131	169	7,837
5月	7,083	467	59	63	51	30	140	227	8,120
6月	7,109	489	44	68	52	19	126	220	8,127
7月	6,909	463	49	73	66	31	112	249	7,952
8月	7,302	426	46	54	48	33	121	316	8,346
9月	7,275	515	59	61	52	17	119	226	8,324
10月	7,433	507	44	62	65	22	113	228	8,474
11月	7,119	491	46	58	53	20	93	213	8,093
12月	7,186	475	54	87	61	42	86	223	8,214
1月	7,090	458	49	55	59	30	92	217	8,050
2月	6,609	389	49	74	42	30	104	212	7,509
3月	7,027	484	48	68	46	21	98	214	8,006
年度合計	84,970	5,654	604	799	655	321	1,335	2,714	97,052
年度構成割合	87.6%	5.8%	0.6%	0.8%	0.7%	0.3%	1.4%	2.8%	100.0%
4年度	87.2%	5.8%	0.7%	0.8%	0.7%	0.5%	1.6%	2.7%	100.0%



地域別患者数 年齢別患者数(月別)

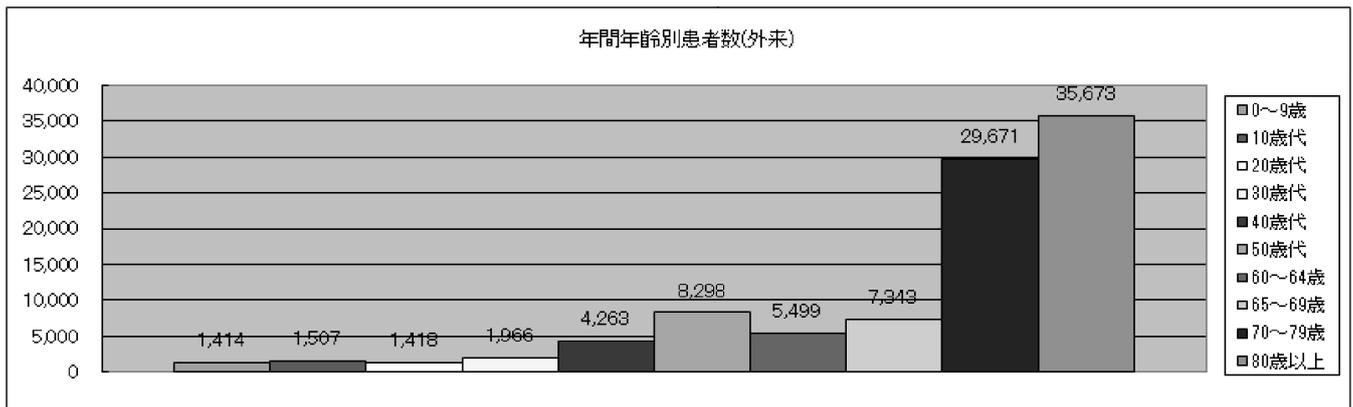
入院	0～9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80歳以上	合計
4月	7	0	15	20	92	205	240	275	1,462	3,335	5,651
5月	23	10	29	30	101	222	197	439	1,751	3,208	6,010
6月	36	29	19	10	107	198	290	312	1,539	2,791	5,331
7月	12	28	26	14	78	283	326	249	1,632	3,165	5,813
8月	39	22	20	78	178	227	237	184	1,558	3,609	6,152
9月	9	7	19	95	111	209	181	210	1,598	3,249	5,688
10月	35	6	45	106	105	171	114	288	1,603	3,036	5,509
11月	7	5	25	75	85	214	115	207	1,363	3,305	5,401
12月	14	0	21	54	68	171	102	203	1,312	3,083	5,028
1月	6	6	2	2	96	138	190	296	1,663	3,703	6,102
2月	5	6	2	2	82	118	163	253	1,425	3,173	5,229
3月	0	5	5	35	37	230	160	139	1,388	3,137	5,136
年度合計	193	124	228	521	1,140	2,386	2,315	3,055	18,294	38,794	67,050
年度構成割合	0.3%	0.2%	0.3%	0.8%	1.7%	3.6%	3.5%	4.6%	27.3%	57.9%	100.0%

4年度構成割合	0.1%	0.2%	0.4%	0.8%	2.0%	4.5%	3.7%	4.6%	27.0%	56.7%	100.0%
									89.7%		
									88.3%		



外来	0～9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80歳以上	合計
4月	88	135	107	173	361	643	384	613	2,535	2,798	7,837
5月	125	133	128	158	337	676	434	669	2,607	2,853	8,120
6月	124	128	119	175	367	744	489	636	2,547	2,798	8,127
7月	125	116	122	186	368	703	481	644	2,435	2,772	7,952
8月	148	161	150	177	384	727	480	626	2,634	2,859	8,346
9月	124	108	109	172	376	760	489	640	2,661	2,885	8,324
10月	113	136	131	187	428	781	504	655	2,680	2,859	8,474
11月	115	127	152	172	390	744	476	708	2,479	2,730	8,093
12月	116	158	134	168	398	786	498	605	2,585	2,766	8,214
1月	125	133	141	187	395	722	493	603	2,431	2,820	8,050
2月	80	7	13	22	111	247	312	373	1,635	4,709	7,509
3月	131	165	112	189	348	765	459	571	2,442	2,824	8,006
年度合計	1,414	1,507	1,418	1,966	4,263	8,298	5,499	7,343	29,671	35,673	97,052
年度構成割合	1.5%	1.6%	1.5%	2.0%	4.4%	8.6%	5.7%	7.6%	30.6%	36.8%	100.0%

4年度構成割合	1.6%	2.1%	1.9%	2.3%	5.1%	8.7%	5.6%	8.1%	32.0%	32.7%	100.0%
									74.9%		
									72.7%		



救急患者受付状況

全体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間内	104	99	101	125	178	134	118	121	131	133	102	128	1,474
時間外	359	495	357	494	542	461	436	407	466	563	388	445	5,413
合計	463	594	458	619	720	595	554	528	597	696	490	573	6,887
(うち入院数)	150	168	133	170	201	175	169	159	164	188	119	159	1,955
(うち転送数)	13	15	15	15	16	12	23	17	15	24	19	31	215
救急車搬入件数	305	369	274	385	467	391	360	347	406	456	325	393	4,478
救急車/急患数	65.9%	62.1%	59.8%	62.2%	64.9%	65.7%	65.0%	65.7%	68.0%	65.5%	66.3%	68.6%	65.0%

救急患者科別内訳

時間内	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	74	76	68	87	130	110	81	81	96	106	74	96	1,079
消化器内科													0
循環器内科													0
小児科	1	1	2	2	6		1	1		2	1	1	18
外科	4	2	7	5	8	4	7	5	4	7	6	6	65
整形外科	20	18	17	24	19	17	23	23	21	12	19	18	231
脳神経外科	3	2	7	6	12	3	6	8	9	6	2	6	70
産婦人科	1							1	1			1	4
眼科					1			1					2
耳鼻咽喉科								1					1
リハビリ科													0
放射線科													0
泌尿器科	1			1	1								3
皮膚科													0
麻酔科													0
形成外科					1								1
合計	104	99	101	125	178	134	118	121	131	133	102	128	1,474
(うち入院数)	53	48	53	60	84	67	59	55	57	58	38	56	688
入院率	51.0%	48.5%	52.5%	48.0%	47.2%	50.0%	50.0%	45.5%	43.5%	43.6%	37.3%	43.8%	46.7%

時間外	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	238	316	242	330	369	320	299	268	308	391	264	282	3,627
消化器内科													0
循環器内科													0
小児科	12	34	32	42	36	30	31	27	32	32	26	26	360
外科	30	33	26	39	38	33	29	24	38	38	26	39	393
整形外科	62	81	31	64	71	60	52	56	66	62	51	65	721
脳神経外科	11	22	21	15	15	14	11	22	16	30	12	30	219
産婦人科	1	3	2	2	3	1	5	2	2	3	2	1	27
眼科			1						1	1			3
耳鼻咽喉科	4	3	2		5	2	4	3	2	4	3	2	34
リハビリ科													0
放射線科													0
泌尿器科		3		1	1	1	2	2		1	3		14
皮膚科					3			1					4
麻酔科													0
形成外科	1			1	1		3	2	1	1	1		11
救急科													
合計	359	495	357	494	542	461	436	407	466	563	388	445	5,413
(うち入院数)	97	120	80	110	117	108	110	104	107	130	81	103	1,267
入院率	27.0%	24.2%	22.4%	22.3%	21.6%	23.4%	25.2%	25.6%	23.0%	23.1%	20.9%	23.1%	23.4%

救急患者地域別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市内	382	469	372	493	532	491	455	411	469	564	392	461	5,491
(割合)	82.5%	79.0%	81.4%	79.6%	73.9%	82.5%	82.1%	77.8%	78.6%	81.0%	80.0%	80.7%	79.7%
県内	41	40	38	48	53	42	37	40	58	52	28	39	516
(割合)	8.9%	6.7%	8.3%	7.8%	7.4%	7.0%	6.7%	7.6%	9.7%	7.5%	5.7%	6.8%	7.5%
県外	40	85	48	78	135	62	62	77	70	80	70	73	880
(割合)	8.6%	14.3%	10.3%	12.6%	18.8%	10.4%	11.2%	14.6%	11.7%	11.5%	14.3%	12.4%	12.8%
合計	463	594	458	619	720	595	554	528	597	696	490	573	6,887

ドクターヘリ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
搬入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
搬出	2	2	2	4	4	3	3	1	0	3	1	3	28
合計	2	2	2	4	4	3	3	1	0	3	1	4	29

手術件数(手術室実施件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科													0
外科	30	22	25	26	30	29	21	24	35	24	28	34	328
整形外科	29	35	30	26	27	29	42	36	34	32	31	31	382
脳神経外科	2	4	6	2	1	3	1	2	3	6	6	1	37
産婦人科	3	1	6	0	3	1	2	2	2	4	1	1	26
眼科	17	13	14	18	12	20	20	15	23	18	19	7	196
耳鼻咽喉科		2	1	2	3	2	1		1	1		1	14
皮膚科													0
泌尿器科	2	4	5	2	6	3	4	3	4	3	6		42
麻酔科	6	6	8	8	3	2	6	9	9	7	4	3	71
形成外科	22	18	22	13	20	21	20	21	25	17	17	20	236
合計	111	105	117	97	105	110	117	112	136	112	112	98	1,332
うち時間外件数	3	3	2	1	3	3	4	3	3	0	4	2	31

心臓カテーテル件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
カテーテル検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カテーテル手術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち予定外件数													0

アンギオ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ペースメーカー術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血管塞栓術等	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	4
合計	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	4

内視鏡件数(保険診療分のみ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上部	124	105	98	82	88	104	109	123	103	99	112	105	1,252
下部	86	82	75	91	103	88	118	106	111	76	80	55	1,071
合計	210	187	173	173	191	192	227	229	214	175	192	160	2,323

分娩件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
時間内	0	1	2	0	2	1	1	2	1	0	0	1	11
時間外	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	4
休日・深夜	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	1	0	5
合計件数	0	2	3	0	2	2	3	3	2	1	1	1	20

【 地域別患者数 前年度との比較 】

救急患者受付状況

a 時間内(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
5年度	104	99	101	125	178	134	118	121	131	133	102	128	123
4年度	95	99	121	141	173	117	110	106	163	104	139	146	126
増▲減	9	0	▲ 20	▲ 16	5	17	8	15	▲ 32	29	▲ 37	▲ 18	▲ 3

b 時間外(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
5年度	359	495	357	494	542	461	436	407	466	563	388	445	451
4年度	414	508	399	678	676	423	431	391	512	527	377	406	479
増▲減	▲ 55	▲ 13	▲ 42	▲ 184	▲ 134	38	5	16	▲ 46	36	11	39	▲ 28

c 救急車搬入件数(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
5年度	305	369	274	385	467	391	360	347	406	456	325	393	373
4年度	305	332	333	410	511	356	349	319	428	375	364	388	373
増▲減	0	37	▲ 59	▲ 25	▲ 44	35	11	28	▲ 22	81	▲ 39	5	0

d 入院数(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
5年度	150	168	133	170	201	175	169	159	164	188	119	159	163
4年度	156	190	178	194	189	146	159	146	183	186	135	153	168
増▲減	▲ 6	▲ 22	▲ 45	▲ 24	12	29	10	13	▲ 19	2	▲ 16	6	▲ 5

e 転送数(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
5年度	13	15	15	15	16	12	23	17	15	24	19	31	18
4年度	22	15	18	21	18	12	11	13	10	18	19	17	16
増▲減	▲ 9	0	▲ 3	▲ 6	▲ 2	0	12	4	5	6	0	14	2

手術件数(合計件数 単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
5年度	111	105	117	97	105	110	117	112	136	112	112	98	111
4年度	104	110	111	116	98	107	121	107	119	108	111	136	112
増▲減	7	▲ 5	6	▲ 19	7	3	▲ 4	5	17	4	1	▲ 38	▲ 1

心臓カテーテル件数(検査・手術)(合計件数 単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
増▲減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

アンギオ件数(血管塞栓術・ペーシング術)(合計件数 単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
5年度	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0
4年度	4	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1
増▲減	▲ 4	▲ 1	▲ 1	0	1	▲ 1	▲ 1	1	0	0	0	1	▲ 1

内視鏡件数(合計件数 単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
5年度	210	187	173	173	191	192	227	229	214	175	192	160	194
4年度	175	187	228	159	177	198	202	171	168	163	160	198	182
増▲減	35	0	▲ 55	14	14	▲ 6	25	58	46	12	32	▲ 38	12

令和5年度 紹介・逆紹介件数 (診療科別)

紹介件数(診療科別)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度																						
内科 (一般内科)	164	191	159	171	196	221	234	232	205	232	207	215	207	235	181	198	184	198	150	188	146	139	204	193	2,237	2,413	
循環器内科	37	28	36	34	31	28	35	29	33	25	28	33	31	40	33	25	45	29	35	40	28	29	35	39	407	379	
消化器内科	14	33	19	20	22	23	28	30	25	31	31	25	27	20	29	26	16	38	18	17	12	29	15	24	256	316	
小児科	5	10	2	12	3	9	10	14	9	16	9	16	5	8	4	7	3	4	6	5	6	6	4	11	66	118	
外科	48	29	26	38	46	31	39	31	48	51	42	27	44	45	38	47	38	42	36	43	37	37	33	36	475	457	
形成外科	27	37	24	27	26	38	27	23	31	27	31	30	34	47	28	39	29	20	32	21	18	22	30	30	337	361	
整形外科	44	58	61	46	60	39	48	38	38	48	41	65	56	58	52	54	59	47	52	41	64	49	60	42	635	585	
皮膚科	21	26	19	22	16	25	15	12	7	10	19	12	10	6	14	22	16	13	10	18	12	11	16	5	175	182	
脳神経外科	29	23	21	14	27	22	22	20	19	18	32	20	24	31	20	16	18	14	8	17	12	21	18	18	250	234	
産婦人科	7	11	5	11	6	8	8	14	5	11	10	8	11	11	6	8	5	13	5	8	8	5	2	5	78	113	
眼科	14	18	19	15	19	15	9	23	17	25	14	18	13	17	13	20	16	8	12	14	17	18	18	11	181	202	
耳鼻科	18	14	17	19	13	10	17	18	12	18	16	20	12	12	21	15	12	10	12	12	15	5	17	14	182	167	
泌尿器科	21	18	17	10	22	22	12	21	15	10	13	15	21	16	31	34	36	17	15	25	22	16	23	10	248	214	
麻酔科	4	3	3	2	2	2	3	4	5	4	4	4	3	5	6	6	5	3	6	4	3	0	1	1	39	38	
救急科	17	11	14	9	15	11	28	10	20	8	11	7	14	8	11	5	17	16	12	23	15	11	5	11	179	130	
合計	470	510	442	450	504	504	535	519	489	534	508	515	512	559	481	522	499	472	409	476	415	398	481	450	5,745	5,909	

40 8 0 7 45 47 41 27 67 17 31 164

逆紹介件数(診療科別)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度																						
内科 (一般内科)	171	190	218	209	203	190	217	198	224	247	191	208	230	270	194	245	212	215	257	222	240	197	332	248	2,689	2,639	
循環器内科	26	23	32	35	28	26	32	26	20	19	21	29	24	34	34	36	32	23	27	31	19	21	32	35	337	338	
消化器内科	11	20	24	29	17	29	15	24	22	37	22	26	31	26	15	23	27	29	19	18	19	34	9	25	231	320	
小児科	2	10	2	5	1	2	1	4	2	6	1	5	2	6	2	4	3	5	2	3	2	1	6	2	26	53	
外科	43	53	39	37	42	42	48	55	40	48	46	46	36	39	23	44	35	39	40	46	39	49	36	49	467	547	
形成外科	15	15	6	20	20	15	18	10	17	14	17	13	11	14	15	15	22	15	10	16	18	17	14	17	183	181	
整形外科	42	74	47	66	46	64	50	62	59	62	54	62	59	71	60	64	73	68	63	59	72	55	75	61	700	768	
皮膚科	5	6	2	7	3	2	5	2	7	7	3	3	3	5	5	3	7	2	2	2	2	5	5	9	49	53	
脳神経外科	20	27	20	23	17	32	19	21	11	19	15	15	16	8	14	20	22	16	13	17	19	17	19	11	205	226	
産婦人科	3	12	1	15	3	5	5	4	4	11	3	11	1	11	7	13	2	13	3	10	9	9	9	9	50	123	
眼科	6	11	8	16	10	7	7	6	5	16	12	12	10	14	13	7	7	9	10	11	10	8	14	16	112	133	
耳鼻科	7	4	10	1	12	4	5	7	5	12	5	2	6	11	5	6	7	8	2	9	9	5	3	11	76	80	
泌尿器科	10	11	8	8	12	11	3	11	7	11	4	13	4	19	9	10	16	11	8	11	13	18	10	9	104	143	
麻酔科	3	0	1	0	0	0	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	2	1	2	2	2	3	2	2	12	10	
救急科	7	3	5	9	10	12	9	11	15	13	9	4	15	18	11	10	11	8	11	22	15	15	10	21	128	146	
合計	371	459	423	480	424	441	435	441	438	523	415	449	448	546	407	500	476	463	468	479	488	454	576	525	5,369	5,760	

88 57 17 6 85 34 98 93 13 11 34 11 391

令和5年度 紹介件数（医療機関別）

医療機関名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
	4年度	5年度	4年度	5年度																								
青木クリニック	5	9	5	4	13	3	8	8	4	8	5	1	5	5	5	7	9	8	7	12	3	7	6	4	75	76	1	
阿部脳神経外科医院	8	12	6	10	10	4	6	7	7	8	11	8	6	8	8	7	11	6	6	16	9	4	8	6	96	96	0	
伊豆高原クリニック	1	3	1	3	1	1	1	3	2	7	3	2	5	2	5	2	4	3	2	2	2	2	1	2	15	37	22	
伊豆高原メディカルたかやなぎ整形外科	3	4	1	3	4	3	3	3	3	1	4	5	2	3	2	4	1	1	4	3	2	3	5	1	34	34	0	
伊豆高原ゆうゆうの里診療所	7	10	6	4	17	4	6	8	3	9	7	1	4	10	5	4	10	4	4	4	7	4	10	7	86	69	▲17	
伊豆のさと診療所				1			1			1	1	1	1	1	1		1	1		3		2		1	5	11	6	
伊豆まさき整形外科	5	1	4	3	5	2		2	2	5	4	6	6	6	4	5	3	3	1		3	5	5	3	42	41	▲1	
伊東つくしクリニック	1		1		1	3	1			1	2	1	1	1			1	1		1			2	1	10	9	▲1	
伊東ヘルスサポートクリニック	9	1	7	4	9	7	10	11	6	3	4	3	7	11	7	7	8	7	8	4	10	9	3	9	88	76	▲12	
伊東吉田眼科耳鼻科クリニック				2				1	1	1		1	1	1											2	6	4	
上山レディースクリニック	6	3	6	1	6	2	6	2	4	2	5	3	5	5	4	3	4	3		3	3	1	3	3	52	31	▲21	
大川胃腸科外科	15	14	5	10	17	17	19	20	21	23	12	20	16	17	17	14	18	21	12	15	17	13	8	14	177	198	21	
おおたか内科クリニック	8	6	7	6	8	7	11	9	11	8	16	4	8	5	2	8	8	8	4	10	6	5	9	8	98	84	▲14	
かとう内科・皮フ科クリニック	1	4	2	5	2	3	5	3	3	1	4	4	2	6	7	2	4	4	1	3	2	3	2	3	35	41	6	
木村整形外科クリニック	13	6	19	6	10	16	25	12	8	9	12	10	15	14	7	7	17	9	6	6	1	10	5	5	138	110	▲28	
許田医院	13	7	8	7	12	13	9	4	11	9	3	11	8	16	10	10	7	9	9	11	5	6	10	12	105	115	10	
グレースホームケアクリニック伊東	3	5	5	2	3	6	1	10	2	4	5	4	2	10		6	3	4	3	7	1	2	6	3	34	63	29	
佐藤産婦人科医院	1	1		2	2		2		2	2	1	2	3	2	1	2	1	2	3	2	1	1		2	17	18	1	
城ヶ崎やまだクリニック	1	3		2	1				1		2				1	1	1	1			2	2	1	6	13	7		
祖父尼皮ふ科	1	8		3	2	6	4	2	3	2	4	3	2	7	4	6	2	4	2	3	1	3	2	32	44	12		
高野医院	10	16	19	10	13	10	20	9	7	16	12	17	15	20	9	17	9	14	8	17	14	11	10	17	146	174	28	
たかやす医院	4	2	7	4	4	3	3	2	3	4	6	2	8	4	5	3	4	5	3	4	3	4			50	37	▲13	
田島医院	4	3	6	9	5	6	4	5	5	5	8	3	6	4	3	5	5	1	3	6	6	4	8	4	63	55	▲8	
たちばなメディカルクリニック	16	24	17	20	23	14	20	27	26	17	30	32	21	14	20	25	17	35	20	25	26	20	29	22	265	275	10	
たちばなメディカルクリニック広野院	9	16	15	11	11	11	21	14	14	17	17	16	17	17	10	11	12	12	13	13	7	12	12	8	158	158	0	
なかた整形外科クリニック	5	3	7	10	7	2	5	7	7	2	3	11	7	5	3	4	11	11	6	5	9	1	5	5	75	66	▲9	
なかむら内科・消化器内科クリニック	12	9	15	4	14	21	24	14	16	22	20	24	13	16	10	15	12	11	13	15	8	9	13	15	170	175	5	
なぎさクリニック	2	2		2	4	1	1	2	3		2	4	2	2		1	1	1	2	2		1	1	5	18	23	5	
はあとふる内科泌尿器科伊豆高原	20	16	13	17	16	21	15	22	20	22	28	24	26	27	6	14	10	18	15	14	10	8	16	17	195	220	25	
はあとふる内科泌尿器科川奈	13	10	7	13	12	17	19	14	11	23	13	9	16	15	7	13	10	10	13	8	12	17	15	11	148	160	12	
ばすぎ整形外科クリニック	11	12	15	9	23	12	23	16	9	7	11	4	24	10	16	10	18	6	14	8	17	10	12	8	193	112	▲81	
長谷川胃腸科内科医院	2	2	4	2	10	3	5	3	7	3	2	4	16	4	3	1	5	7	5	4	5	3	3	4	67	40	▲27	
長谷川眼科	6	2	4	1	5	1	1	2	1	4	3	3	3	2	5	1	3	2	2	2	1	2	1	1	35	23	▲12	
月出整形外科医院	3		1		2		1		1		3				1		4		2						18	0	▲18	
皮フ科小西医院	6	9	6	5	3	1	3	4	10	5	7	11	11	9	9	14	7	2	4	5	6	6	7	7	79	78	▲1	
日吉クリニック	2	5	2	4	2	5	2	1	4	4	3	3	1	3	1	2	2	1	2	2				2	21	32	11	
ヒルサイド眼科クリニック	3	1	2	2	4	2	6	2	3	2	3	1	3	6	2	5	2	1	1		3	3	3	3	35	28	▲7	
藤井クリニック	1	2	1	1	3		3	2	1		2	1	1		1	1	1		2			1	2	2	16	10	▲6	
まさき耳鼻科医院	11	9	8	7	2	18	16	11	9	6	8	11	5	9	11	7	9	10	9	10	11	3	10	4	109	105	▲4	
松尾耳鼻咽喉科	16	9	13	19	16	18	12	13	11	15	15	18	12	18	12	18	13	15	6	13	7	6	22	14	155	176	21	
むらかみ小児科クリニック	1	2	1	3	2	1		2	2	6	2	1			2	3	2		1	4	5	2	1	7	19	31	12	
メディカルはば伊豆高原	13	13	11	10	6	14	8	13	11	12	20	11	24	15	18	14	9	10	10	16	16	14	11	12	157	154	▲3	
メディカルはば法華塚	1	1	1					2			2				2				1	3	2			1	9	7	▲2	
山本医院	4	12	9	5	5	11	4	8	7	9	3	1	7	11	5	7	2	7	6	4	6	3	5	4	63	82	19	
やまもプラザファミリークリニック	8	13	13	7	12	7	13	7	8	11	10	8	10	5	10	12	11	9	7	7	8	10	8	10	118	106	▲12	
横山医院	9	18	15	14	17	13	18	29	16	19	17	22	20	20	22	16	18	14	13	16	9	13	8	21	182	215	33	
伊東市立夜間救急医療センター	6	7	2	6	5	6	3	7	4	3	8	3	7	7	5	5	4	5	3	4	5	4	7	4	59	61	2	
介護老人保健施設いとうの杜	17	28	14	30	20	19	16	24	14	10	17	23	14	21	28	21	19	17	24	18	18	21	27	15	228	247	19	
介護老人保健施設のぞみ	4	3	2	1		4	1	5	2	4	1	3	3	4	2		4	3	2	5	2	3	6	3	29	38	9	
介護老人保健施設みはらし	4	5	3	7		8	8	5	6	5	1	4	2	4	6	3		1	3	8	3	10	6	10	42	70	28	
市内歯科クリニック	2	2	2	2	1			2	1	1			1	2	1		1	2		2		1	2		9	16	7	
伊東の丘いずみ	1		2	1		3	2		1	1		3		4	2	1	1		2	2			2	1	13	16	3	
特別養護老人ホーム																										0	0	0
市内接骨院																										0	0	0
宛先不明			1					1	1			1	2													3	4	1
市内合計	327	353	321	314	370	348	395	380	332	356	380	376	392	406	323	347	337	330	290	348	292	282	335	326	4094	4166	72	
伊東市以外	143	157	121	136	134	156	140	139	157	178	128	139	120	153	158	175	162	142	119	128	123	116	146	124	1651	1743	92	
合計	470	510	442	450	504	504	535	519	489	534	508	515	512	559	481	522	499	472	409	476	415	398	481	450	5745	5909	164	
	40		8		0		▲16		45		7		47		41		▲27		67		▲17		▲31		164			

令和5年度 逆紹介件数（医療機関別）

医療機関名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	5年度	4年度																		
青木クリニック	3	6	3	3	6	3	3	2	2	4	1	4	4	4	4	2	2	2	2	9	4	2	2		2	39	38	▲ 1
阿部脳神経外科医院	2	8	4	11	4	4	3	2	3	3	11	3	6	6	4	4	3	5	9	4	4	4	4	6	4	59	58	▲ 1
伊豆高原クリニック	2	2	2	8	3	4	2	2	2	3	2	3	3	5	3	4	7	4	3	2	3	2	1	2	33	41	8	
伊豆高原メディカルたかやなぎ整形外科	2	4	2	6	3	8	2	3	3	1	4	2	5	7	4	5	4	1	6	3	2	2	4	2	41	44	3	
伊豆高原ゆうゆうの里診療所	1	5	7	6	13	2	4	5	3	3	1	5	4	1	4	4	4	1	2	4	4	4	5	6	52	46	▲ 6	
伊豆のさと診療所			1	1							1		2		1								1		4	3	▲ 1	
伊豆まさき整形外科	3	2	2		1	3		2		2		2	2	1	1	2	2		2	1	3	5	1	17	22	5		
伊東つくしクリニック		1	2	2	4	3	2	3	1	4	1	3	4	2	3	2			1	3	2	4	3	2	23	29	6	
伊東ヘルスサポートクリニック	8	3	3	3	8	6	7	8	6	5	6	8	5	10	7	8	10	9	4	3	11	9	9	11	84	83	▲ 1	
伊東吉田眼科耳鼻科クリニック															1				1						2	0	▲ 2	
上山レディースクリニック	1	1	2	1	1	1	2		3	2	1	1		2	2			1				1		1	12	11	▲ 1	
大川胃腸科外科	6	7	8	4	5	8	4	4	3	8	6	8	4	8	5	9	8	8	9	3	9	14	8	6	75	87	12	
おおたか内科クリニック	5	8	6	9	9	6	6	14	11	7	10	5	7	6		5	8	9	6	5	13	7	15	12	96	93	▲ 3	
かとう内科・皮膚科クリニック	3	2	1	3	1	2	2	1			3		1		3	1		2	2		3		1	4	20	15	▲ 5	
木村整形外科クリニック	2	2	6	3	4	3	9	3	2	4	6	5	7	2	4	3	5	5	5	2	5	2	2	5	57	39	▲ 18	
許田医院	7	3	2	1	8	2	6	1	4	4	4	5	6	5	4	3	3	10	3	4	4	10	5	1	56	49	▲ 7	
グレースホームケアクリニック伊東	3	5	5	5	2	6	1	8	2	8	2	1	8	9	1	7	2	6	4	5	7	7	5	7	42	74	32	
佐藤産婦人科医院							1				1	1													2	3	1	
城ヶ崎やまだクリニック		1		3			2		1	3		1		1		1		1					1	1	4	12	8	
祖父尼皮ふ科	1	2		5	1	5	1	2	3	1	3	2	3	1		2	5	3	2	2	3	2	1		23	27	4	
高野医院	8	8	15	9	15	7	16	6	14	5	6	13	12	11	6	12	15	5	14	11	16	6	16	16	153	109	▲ 44	
たかやす医院	4	1	3	3		2	3	3	4	2	4	1	6	2	2	5	4	3	6	2	3	3	8	9	47	36	▲ 11	
田島医院	1	3	5	7	3	5	3	7	5	2	1	5	2	5	4	3	3	4	4		5	5	4	2	40	48	8	
たちばなメディカルクリニック	10	18	12	17	12	14	14	10	13	12	25	14	17	15	8	14	15	23	7	18	14	12	17	15	164	182	18	
たちばなメディカルクリニック広野院	6	10	3	4	4	7	7	8	6	8	5	5	6	9	1	8	7	8	6	10	10	10	14	9	75	96	21	
なかた整形外科クリニック	3	3	4	4	6	2	6	7	1	6	4	4	2	4	5	5	6	5	1	6	8	1	3	5	49	52	3	
なかむら内科・消化器内科クリニック	5	7	8	6	6	4	5	5	13	17	8	9	9	11	9	10	3	2	6	6	3	3	11	11	86	91	5	
なぎさクリニック	2	1	5	6	2	2	2		5	4	7	1	3	3	3	3	2	2		1	1	2	1	37	24	▲ 13		
はあとふる内科泌尿器科伊豆高原	7	11	16	15	16	10	11	13	12	18	11	18	10	14	5	15	7	13	22	14	24	12	22	19	163	172	9	
はあとふる内科泌尿器科川奈	6	5	9	16	7	8	13	12	11	13	8	7	7	5	10	10	10	9	10	7	11	10	20	6	122	108	▲ 14	
ばすぎ整形外科クリニック	5	5	8	7	9	2	10	8	9	5	8	1	14	9	12	7	12	1	11	7	8	5	6	6	112	63	▲ 49	
長谷川胃腸科内科医院	3	2	4	4	2	1	2	6	5	4	4	3	4	2	4		2	4	6	1	2	3	4	3	42	33	▲ 9	
長谷川眼科	4	2	1	1	2	2		2	2	5	4		2	4	4	1	4	1	1	2	3	1	1	1	28	22	▲ 6	
月出整形外科医院	1				2				1				1												5	0	▲ 5	
皮フ科小西医院	1	2	3	4	5	4	5	1	2	3	4	2	3	3	6	6	6	2	2	2	4	5	4	6	45	40	▲ 5	
日吉クリニック	4	3	2	5	3	2	1	4	1	5	2	4	2	5	2	3	1	7	4	4	4	2	1	3	27	47	20	
ヒルサイド眼科クリニック	3			2		3	6	1	2		3	4		3	2	3	1	2	2	1	2	2	4	1	25	22	▲ 3	
藤井クリニック			1		1	2			1	1	1	1			1		2	2	1						7	7	0	
まさき耳鼻科医院	6	7	6	2	1	10	4	5		3	8	3	2	1	4	2	8	1	2	3	6	1	4	1	51	39	▲ 12	
松尾耳鼻咽喉科	4	4	2	3	4	7	4	3	4	3	2	3	3	3	14	2		3	10	1	2	4	2	36	54	18		
むらかみ小児科クリニック		2		3				1		1	1				3	1		1				1	1	2	5	12	7	
メディカルはば伊豆高原	6	8	9	10	7	5	6	9	12	8	7	10	11	9	6	4	9	7	5	12	10	8	15	15	103	105	2	
メディカルはば法華塚	1										1			1	1	1		1							3	3	0	
山本医院	5	11	11	12	8	7	7	12	10	17	4	11	9	16	8	19	5	7	8	8	9	13	12	8	96	141	45	
やまもプラザファミリークリニック	6	5	5	3	7	3	8	6	4	6	2	3	7	5	3	4	8	6	6	8	4	7	11	8	71	64	▲ 7	
横山医院	13	14	19	11	19	22	20	10	12	12	10	14	14	22	20	18	17	25	19	17	18	21	21	22	202	208	6	
伊東市立夜間救急医療センター	1																								1	0	▲ 1	
介護老人保健施設いとうの杜	9	26	11	27	12	18	10	23	19	16	18	17	16	25	20	12	18	21	26	21	19	18	36	18	214	242	28	
介護老人保健施設のぞみ	9	7	3	4	5	8	4	6	3	7	3	4	2	3	4	4	5	4	2	5	6	7	4	3	50	62	12	
介護老人保健施設みはらし	8	11	5	10	8	16	10	12	12	5	11	10	7	12	6	12	12	13	13	15	2	14	6	12	100	142	42	
市内歯科クリニック	4	4	4	5	3	12	2	4	7	8	6	8	7	7	5	4	6	9	5	14	5	4	3	15	57	94	37	
伊東の丘いずみ	2	2			2		2	3		1	2	1	4	1	3			1		2	2	1	1	1	12	18	6	
施設	4	2	3	4	2	4	3	4	3	3	1		1	1	2	2	1	2	4	5	2	3	6	1	32	31	▲ 1	
整骨院																									0	0	0	
その他	9	14	8	8		5	1	3	7	8	4	7	11	4	9	4	11	4	10	6	18	3	19	3	107	69	▲ 38	
																									0	0		
市内合計	209	260	241	287	243	261	242	253	251	269	246	243	263	288	228	273	264	264	276	262	293	258	352	292	3108	3210	102	
伊東市以外	162	199	182	193	181	180	193	188	187	254	169	206	185	258	179	227	212	199	192	217	195	196	224	233	2261	2550	289	
合計	371	459	423	480	424	441	435	441	438	523	415	449	448	546	407	500	476	463	468	479	488	454	576	525	5369	5760	391	
			88	57	17		6	85	34	98		93							▲ 13		11			▲ 34		▲ 51	391	

● オープン検査利用件数

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	4年度	5年度	4年度	5年度																							
オープン検査件数	131	151	144	132	146	137	133	119	101	115	155	117	138	136	128	111	123	115	106	108	128	121	150	149	1583	1511	▲ 72
伊東市以外	1	2	3	2	2	2		1		2	1	1		2	3	3	2	2	3	3	3	3	1		19	23	4
合計	132	153	147	134	148	139	133	120	101	117	156	118	138	138	131	114	125	117	109	111	131	124	151	149	1602	1534	▲ 68

● オープン検査医療機関別件数（伊東市内のみ）

医療機関名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
	4年度	5年度	4年度	5年度																								
青木クリニック	3		2	8	5	5	1	5	2	1	1	1	4	1	4	2	1	5	7	2	1	2	7	4	38	36	▲ 2	
阿部脳神経外科医院		1	3	1			1	1	1			1		3		2		1	1	2	2					8	12	4
伊豆高原クリニック																										0	0	0
伊豆高原メディカルたかなぎ整形外科	5	5	2		6	3	4	6	8	5	6	2	4	3	10	5	5	3	2	6	6	3	3	8	61	49	▲ 12	
伊豆高原ゆうゆうの里診療所	11	13	13	9	12	13	15	7	11	11	13	5	15	15	10	11	15	7	11	17	6	11	13	13	145	132	▲ 13	
伊豆のさと診療所		1		2	1	1					1			1	1	2				1			2	2		5	10	5
伊豆まさき整形外科	10	12	2	13	6	7	12	15	3	8	11	5	8	4	12	5	9	8	3	8	5	6	9	8	90	99	9	
伊東つくしクリニック	4			1		1			1				1		1				1				1		8	3	▲ 5	
伊東ヘルスサポートクリニック	1	2	1		1	2	5		1	2	1	3	4	1	3	1	1	6	2	2	4	2	3	4	27	25	▲ 2	
伊東吉田眼科耳鼻科クリニック																										0	0	0
上山レディースクリニック																										0	0	0
大川胃腸科外科																										0	0	0
おおたか内科クリニック	4	6	3	1	4	5	3	1	4	3	5	3	3	4	3	2	7	1	1	1	8	6	7	3	52	36	▲ 16	
かとう内科・皮膚科クリニック																										0	0	0
木村整形外科クリニック	8	4	7	6	3	4	1	5	1	6	8	6	11	5	4	4	2	4		5	4	4	6	9	55	62	7	
許田医院	5	1	5	2	2	2	3		1	2	1	4		1	4		3	2	1	1		1			25	16	▲ 9	
グレースホームケアクリニック伊東																										0	0	0
佐藤産婦人科医院																										0	0	0
城ヶ崎やまだクリニック																										0	0	0
祖父尼皮膚科																										0	0	0
高野医院	13	20	17	12	18	15	24	13	13	16	24	16	20	19	14	9	16	16	18	8	18	14	20	20	215	178	▲ 37	
たかやす医院				2					1		1						1						1			4	2	▲ 2
田島医院											1				3		1			1	1					6	2	▲ 4
たちばなメディカルクリニック	3	12	12	9	14	8	7	12	10	7	11	9	4	5	5	6	14	5	9	4	13	7	10	11	112	95	▲ 17	
たちばなメディカルクリニック広野院	3	3	9	3	5	2		1	2	1		1	1	1	2				1				2			25	12	▲ 13
なかた整形外科クリニック	2	4	1	2	3	4	4	4	1	2	7	3	1	3	4	5	2	4	2	2	4	5	2	5	33	43	10	
なかむら内科・消化器内科クリニック	6	6	6	4	8	5	5	9	7	6	6	9	8	7	4	5	6	5	4	6	8	8	7	6	75	76	1	
なぎさクリニック																										0	0	0
はあとふる内科泌尿器科伊豆高原	10	16	11	11	9	17	11	3	6	9	7	5	6	14	5	9	6	7	6	12	7	7	9	13	93	123	30	
はあとふる内科泌尿器科川奈	2	6	3	5	4	9	6	6	2	3	6	3	9	2	3	6	2	4	5	3	6	2	4	4	52	53	1	
ぼすぎ整形外科クリニック	15	23	19	13	17	19	12	15	9	11	15	12	14	17	14	15	10	15	11	12	13	23	18	19	167	194	27	
長谷川胃腸科内科医院				1		1		1	1			1		1		1	1		1		4		1		8	6	▲ 2	
長谷川眼科																										0	0	0
月出整形外科医院																										0	0	0
皮フ科小西医院																										0	0	0
日吉クリニック	5	2	2	4	5	2	2	2	1	2	6	4	2	3	7	2	3	3	3	2	4	1	2		42	27	▲ 15	
ヒルサイド眼科クリニック																										0	0	0
藤井クリニック			1		1		1										1				1		1			6	0	▲ 6
まさき耳鼻科医院	2	5	3	5			2	2	1	4	3	2	6	2	2	1	4		3	1	2	3	2	4	30	29	▲ 1	
松尾耳鼻咽喉科	5	1	5	2	10	3	3	1	4		2	2	2	4	4	3	1	5	4	1	1	1	4	3	45	26	▲ 19	
むらかみ小児科クリニック																										0	0	0
メディカルはば伊豆高原	3	1	8	3	7	3	5	1	1	5	2	6	1	8	3	5	4	1	2	3	4	3	7	4	47	43	▲ 4	
メディカルはば法華塚																										0	0	0
山本医院	6	3	7	9	4	2	4	2	5	8	6	9	6	8	5	7	4	11	3	5	4	8	7	3	61	75	14	
やまもプラザファミリークリニック	4	2	2	2		3	1	5	3	3	9	3	5	3	1		2	2	5	3	2	3	3	2	37	31	▲ 6	
横山医院	1	2		2	1	1	1	2			2	1	2	1		2	1					1	2		8	14	6	
伊東市立夜間救急医療センター																										0	0	0
介護老人保健施設											1	1				1	1									2	2	0
市内歯科クリニック									1																	1	0	▲ 1
合計	131	151	144	132	146	137	133	119	101	115	155	117	138	136	128	111	123	115	106	108	128	121	150	149	1583	1511	▲ 72	
伊東市以外	1	2	3	2	2	2		1		2	1	1		2	3	3	2	2	3	3	3	3	1		19	23	4	
合計	132	153	147	134	148	139	133	120	101	117	156	118	138	138	131	114	125	117	109	111	131	124	151	149	1602	1534	▲ 68	

21 ▲13 ▲9 ▲13 16 ▲38 0 ▲17 ▲8 2 ▲7 15 ▲68

令和5年度 紹介率・逆紹介率(地域医療支援病院紹介率) オープン込み 初診のみ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
紹介率 ①/②	5年度	77.7%	73.0%	80.8%	74.7%	75.0%	79.2%	79.2%	75.9%	75.8%	69.3%	70.3%	75.8%
	4年度	74.4%	69.6%	74.8%	57.9%	49.1%	69.9%	76.7%	72.9%	67.8%	61.2%	73.8%	67.4%
逆紹介率 ③/②	5年度	98.5%	109.3%	100.5%	95.1%	104.5%	100.1%	113.0%	109.1%	105.5%	104.1%	111.2%	106.5%
	4年度	87.2%	96.9%	95.3%	68.2%	61.2%	86.6%	91.4%	88.5%	99.0%	93.9%	120.2%	90.2%

50%

70%

紹介)

紹介状あり初診(総数)	358	297	354	366	386	364	376	350	334	308	272	294	4,059
オープンCT・MRI(初診)	120	114	117	97	102	95	114	94	91	103	101	126	1,274
オープン栄養(初診)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(夜間救急センター・みばらし)	除外	-10	-5	-8	-5	-3	-6	-4	-4	-8	-11	-6	-79
(休日及び夜間患者)	除外	-34	-32	-36	-49	-55	-35	-36	-37	-47	-27	-33	-456
(医師不在施設・介護老人保健施設)	除外	-4	-6	-7	-7	-2	-5	-6	-3	-1	-3	-3	-52
① 紹介患者の数	5年度	430	368	419	399	426	444	398	381	355	332	378	4,746
4年度	390	384	422	449	386	428	448	402	373	336	351	395	4,764

逆紹介)

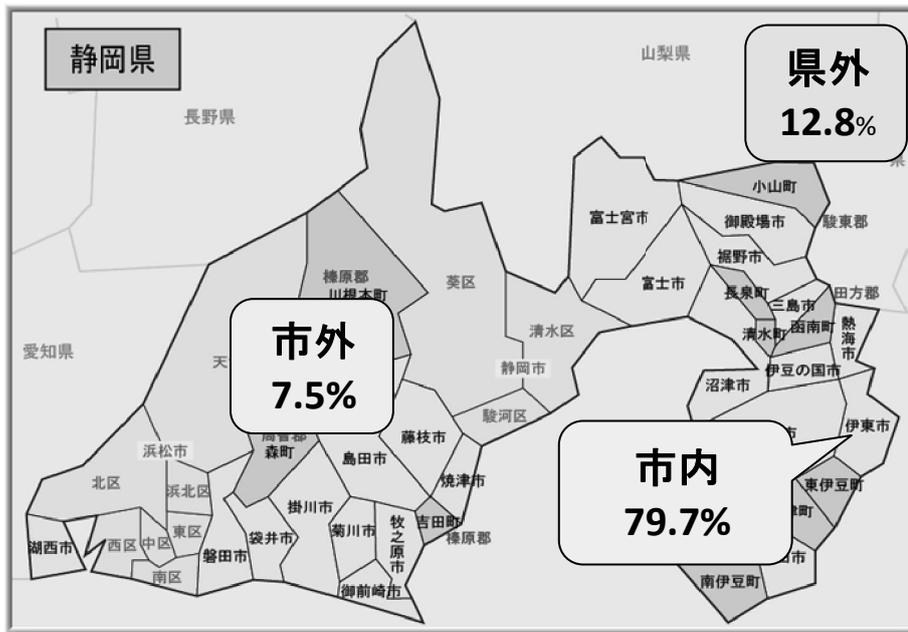
紹介状あり(総数)	459	480	441	441	524	449	546	500	463	479	454	525	5,761
オープンCT・MRI(全件)	153	134	139	120	117	118	138	114	117	111	124	149	1,534
(夜間救急センター・みばらし)	除外	-11	-10	-16	-12	-5	-10	-12	-13	-15	-14	-12	-142
(死ななし・医師不在施設・海外・介護老人保健施設)	除外	-56	-53	-43	-41	-42	-31	-30	-37	-42	-39	-34	-487
③ 逆紹介患者の数	5年度	545	551	521	508	594	633	572	530	533	525	628	6,666
4年度	457	534	538	529	481	530	534	488	545	516	571	650	6,373

初診患者)

初診患者数	847	859	798	931	1,037	894	911	843	866	902	773	813	10,474
救急車初診(総数)	除外	-205	-177	-259	-328	-267	-237	-223	-255	-280	-218	-240	-2,934
休日及び夜間患者(救急車除く)	除外	-89	-110	-103	-138	-141	-114	-96	-109	-110	-83	-91	-1,286
健康診断からの患者	除外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
治療を再開した患者	除外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 初診患者の数	5年度	553	504	518	534	568	560	524	502	512	472	482	6,254
4年度	524	551	564	775	785	612	584	551	550	549	475	538	7,058

地域別救急患者件数

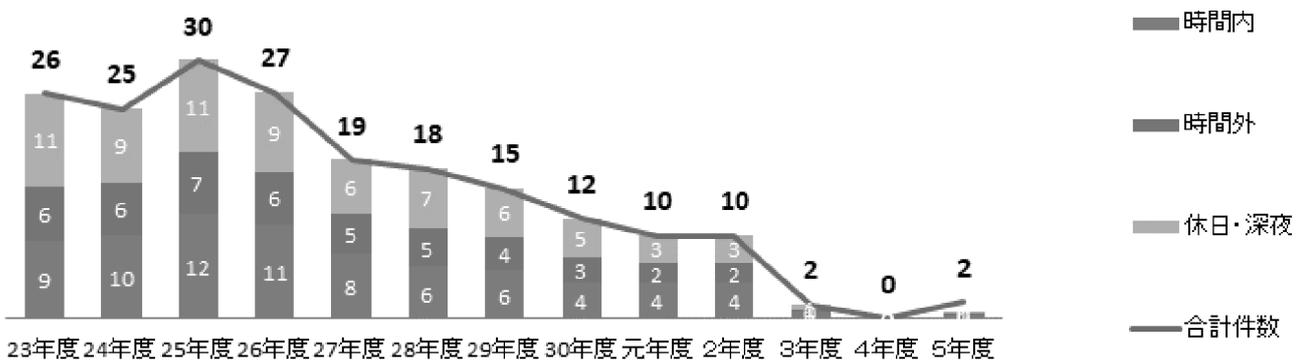
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市内	382	469	372	493	532	491	455	411	469	564	392	461	5,491
(割合)	82.5%	79.0%	81.4%	79.6%	73.9%	82.5%	82.1%	77.8%	78.6%	81.0%	80.0%	80.7%	79.7%
市外	41	40	38	48	53	42	37	40	58	52	28	39	516
(割合)	8.9%	6.7%	8.3%	7.8%	7.4%	7.0%	6.7%	7.6%	9.7%	7.5%	5.7%	6.8%	7.5%
県外	40	85	48	78	135	62	62	77	70	80	70	73	880
(割合)	8.6%	14.3%	10.3%	12.6%	18.8%	10.4%	11.2%	14.6%	11.7%	11.5%	14.3%	12.4%	12.8%
合計	463	594	458	619	720	595	554	528	597	696	490	573	6,887



分娩件数 推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
時間内	0	1	2	0	2	1	1	2	1	0	0	1	11
時間外	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	4
休日・深夜	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	1	0	5
合計件数	0	2	3	0	2	2	3	3	2	1	1	1	20

年度別 1月あたり平均分娩件数 推移



14. その他

(1) 指定医療・認定施設等

二次救急指定病院、労災指定医療機関、生活保護法指定医療機関、結核予防法指定医療機関、母体保護法指定医療機関、被爆者一般疾病医療機関、災害拠点病院、エイズ拠点病院、静岡県地域肝疾患連携拠点病院、静岡県難病協力病院、認知症疾患医療センター

(2) 施設基準一覧

基本診療料に関する施設基準

一般病棟入院基本料 10 対 1 入院基本料、看護必要度加算 2、臨床研修病院入院診療加算、救急医療管理加算、医師事務作業補助体制加算 120 対 1、妊産婦緊急搬送入院診療加算、診療録管理体制加算、急性期看護補助体制加算 25 対 1、急性期看護補助体制加算夜間 100 対 1、療養環境加算、重症者等療養環境特別加算、栄養サポートチーム加算、医療安全対策加算 1、感染防止対策加算 1、患者サポート体制充実加算、ハイリスク妊娠管理加算、退院調整加算 2、救急搬送患者地域連携受入加算、データ提出加算 2、ハイケアユニット入院医療管理料 1、回復期リハビリテーション病棟入院料 2、入院時食事療養費 (I)

(3) 土地、建物、設備等

① 土地

敷地面積 21,956.37 m²
建築面積 8,582.90 m² (うち病院棟 4,511.04 m²)

② 建物

延床面積 18,628.35 m² (病院棟)
1,722.50 m² (アプローチ棟)
4,573.36 m² (立体駐車場棟)
21.00 m² (ボンベ庫棟)

③ 構造 病院棟 鉄筋コンクリート造 (免震構造)

アプローチ棟 鉄筋コンクリート造
立体駐車場棟 鉄骨造

④ 規模 病院棟 地上 5 階

アプローチ棟 地上 1 階
立体駐車場棟 地上 3 階

⑤ 高さ 20.64 m *離着陸場 (ヘリポート) を除く

⑥ 外構 植栽帯

駐車場 321 台 (うち車椅子使用者用 6 台)
駐輪場 (二輪) 12 台
離着陸場 (ヘリポート) 着陸帯 18m×18m
受入想定機種 BK117 (ドクターヘリ、静岡県防災ヘリ)
夜間照明 (航空灯火) 設置

⑧ 病棟構成

* 4階北病棟、5階北病棟は個室的多床室

5階北：51床／4床室×8室、2床室×2室

1床室×15室（うち重症2室、感染2室）

5階南：50床／4床室×8室、2床室×1室、

1床室×16室（うち重症2室）

4階北：43床／4床室×8室、1床室×11室（うちLDR
1室）

4階南：42床／4床室×8室、2床室×1室、1床室×8室

3階南：50床／4床室×8室、2床室×1室、

1床室×16室（うち重症2室）

集中治療室：14床／（ICU4床、CCU4床、HCU6床）

*各階に食堂、談話室

⑨ 各階特徴

4階

産婦人科外来が、産婦人科病棟と同一フロア

分娩可能な部屋 分娩室（清浄度100,000）、

LDR室、陣痛室（畳敷）の計3室

スタッフステーションに隣接した新生児室（清浄度10,000）

リハビリテーション室 全ての疾患に対応可能な広さ確保

3階

手術室4室（清浄度1,000×1室、清浄度10,000×3室）

集中治療室14床（清浄度100,000）

ICU個室（清浄度10,000）は無菌対応、個室は感染対応

2階

ホスピタルモール 災害時に医療行為が可能

（医療ガスアウトレット＋発電機系回路コンセント）

外来診察室×22室、点滴・ケア室×13ベッド、生理機能検

査室

一般撮影×3室、CT室×2室、X線TV室×2室、骨密度・
マンモグラフィ、血管造影（アンギオ）、磁気共鳴画像（MR
I）、外来治療室

（化学療法）×11ベッド、内視鏡室×3室＋内視鏡診察室×

2室、

救急処置室×2室、救急診察室×4室

1階

・薬剤部門・検体検査部門

・中央材料室（洗浄、滅菌）

*小荷物専用昇降機にて、救急部門と手術部門に供給

・健診センター

放射線検査、エコー・心電図、浴室（温泉）

・一般用食堂、職員用食堂、厨房（電化厨房）、中央監視室

その他

温泉は自家泉、温質、単純温泉、弱アルカリ性

効能はリウマチ性疾患、運動障害、神経症

(3) 主要医療機器一覧

医療機器名	数量
膝用 CPM パフォーマ	2
採尿蓄量比重自動測定装置	1
コードレス分娩監視装置システム	1
ノーバスオムニマルチカラーレーザー光凝固装置	1
散瞳一体型眼底カメラファイリングシステム	1
眼科用手術顕微鏡	1
超音波眼科手術装置	1
超音波画像診断装置 (A Bモード)	1
I O Lマスター	1
無散瞳眼底カメラ	1
多項目自動血球分析装置	1
超音波診断装置	22
4D 超音波診断装置	1
超音波メス	1
新生児用 ABR 聴力検査装置	1
耳鼻咽喉科用手術顕微鏡	1
エンドスクラブ 2 システム	1
ナルコメド GS 麻酔管理システム	2
テラソン超音波診断装置	1
脳神経外科手術用顕微鏡	1
脳神経外科手術用ナビゲーションシステム	1
マキシドライバーセット	1
A Vインパルスシステム	1
コブレーター2 サージェリーシステム	1
ハイディフィニションカメラ	1
気腹装置	1
ジンマーエムパワー2	1
関節鏡システム	1
焼灼術用電気手術ユニット	1
手術顕微鏡	1
循環器用超音波診断装置	1
臨床用ポリグラフ検査システム	1
運動負荷試験システム	1
陽圧式人工呼吸器	1
除細動器	1

電子内視鏡システム	2
電子内視鏡システム/経鼻内視鏡	1
長期画像保管装置	1
ポータブル X 線装置	2
三次元画像作成ソフト	1
一般撮影用 X 線装置	3
コンピュータ断層撮影装置(128 列)	2
MRI 装置	1
X 線用画像処理装置	1
X 線 TV システム	1
無線式散薬調剤監査システム	1
全自動散薬分包機	1
全自動錠剤分包機	1
調剤支援システム	1
服薬指導支援システム	1
多用途筋機能評価訓練装置	1
パルスマイクロ波治療器	1
肩用 C P M センチュラ	1
近赤外線治療器	1
総合刺激装置	1
小型全自動尿分析装置	1
富士ドライケム分析器	1
誘発電位筋電図検査装置	1
全自動細菌検査システム	1
多項目自動血球分析装置	1
緊急マルチ自動分析装置	1
全自動科学発光酵素免疫測定システム	1
凍結切片作製装置	1
ティーチング顕微鏡・デジタルカメラ	1
迅速マルチ自動分析装置	1
ホルター心電図	1
簡易呼吸器	1
人工呼吸器	5
血液浄化装置	1
経腸栄養ポンプ	1
除細動器	1
ポケット ECG モニター	2

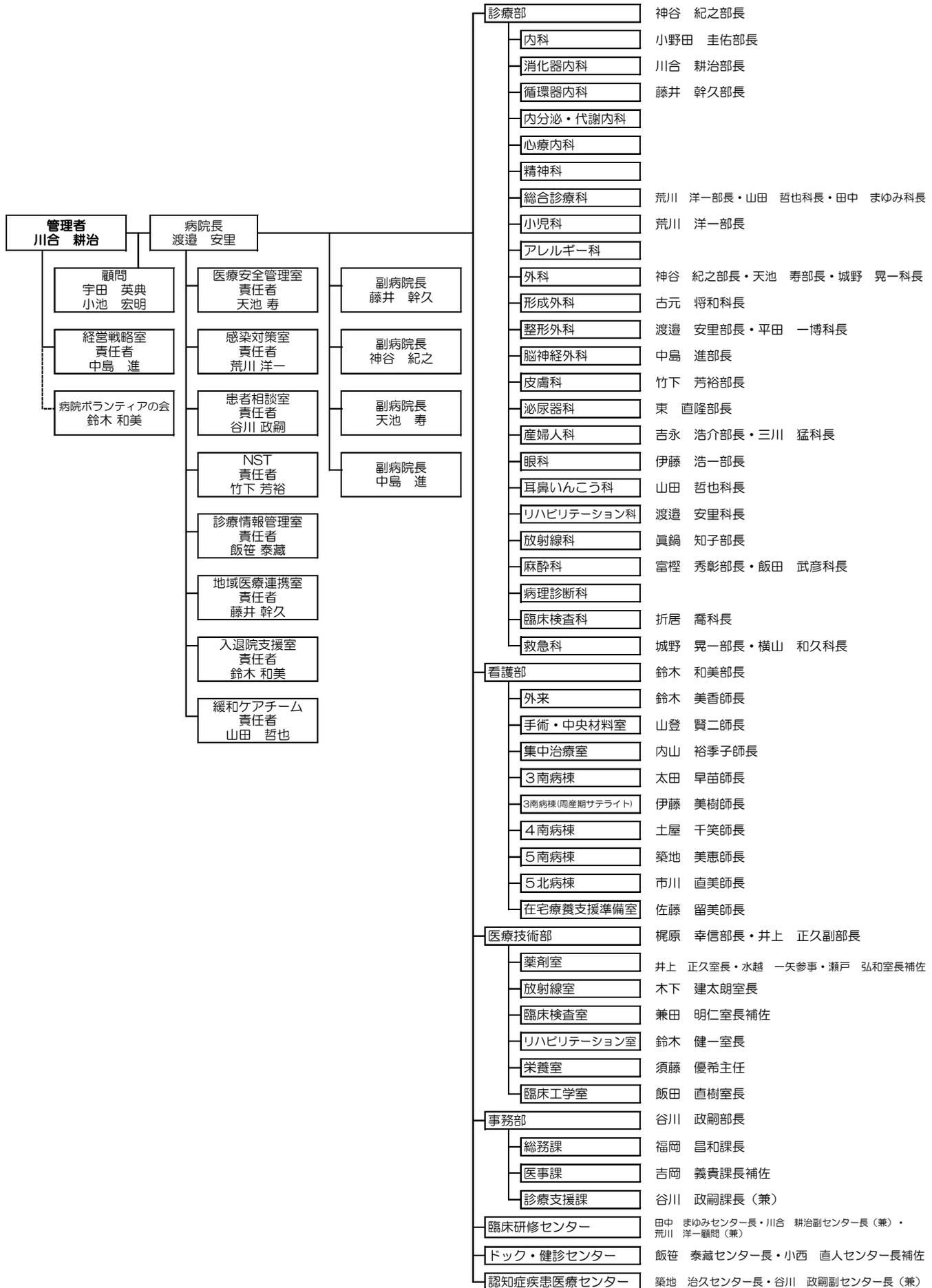
ドブラ胎児診断装置	1
リーチインショーケース	1
内視鏡ビデオシステム一式	1
TPS シェーバーハンドピース	1
簡易人工呼吸器	1
リスホルムブレンデ	1
脳外科用パワーツール	1
開腹器	2
LED 光線治療器	1
エチコンエンドトレーナー	1
骨密度診断装置	1
システム顕微鏡	1
エアウェイスコープ	1
分娩監視装置	1
ポータブル撮影装置	1
血圧脈波検査装置	1
バイオハザード対策用安全キャビネット	1
ベンチレーター840VV+	2
ベンチレーター840	1
尿自動分析装置	1
アクトカルディオグラフ	2
ベンチレーター840VV+	1
ベンチレーター840	1
X線TVシステム	1
マイクロスピードuni	1
補助循環装置	1
高周波手術装置	1
X線骨密度測定装置	1
立位撮影台(FPD)	1
スパイロメーター	1
オーディオボックス	2
オーディオメーター	2
自動視力計	1
血液ガス分析装置(台付)	1
集中管理システム 1 式	1
血沈測定装置	1
生化学自動分析装置	2

全自動血液凝固装置	2
グリコヘモグロビン A1c 測定装置	1
全自動免疫測定装置一式	1
全自動血液塗抹装置	1
薬剤管理システム	1
処方監査システム	1
水剤監査システム	1
散薬監査システム	1
自動軟膏練り機	1
注射薬監査システム	1
水剤台(排水付)	1
安全キャビネット	2
ウォッシャーディスインフェクター	2
全自動チューブ洗浄消毒乾燥装置	1
RO 水製造装置(タンク付)	1
高圧蒸気滅菌装置	2
バッグシーラー	2
耳鼻科用内視鏡システム一式	1
赤外線眼振検査装置	1
手術用顕微鏡(スタンド式)	2
除細動器(ペーシング機能無)	4
紫外線照射装置	1
膀胱鏡(結石破碎装置)	1
尿流量測定装置	1
無散瞳眼底カメラ	1
OCT 装置	1
角膜形状解析装置	1
自動点滴装置	10
内視鏡情報管理システム	1
超音波内視鏡システム一式	1
総合肺機能解析システム	1
生理検査システム	1
ホルター心電図解析装	1
長時間心電図記録装置	5
心電図データマネジメントシステム(移設)	1
中心脈波血圧計	1
採血管準備システム	1

トレッドミル	1
血圧監視装置(運動負荷用)	1
生体情報モニター	2
乳房撮影装置(FPD)	1
立位撮影台(FPD)	1
臥位撮影台(FPD)	1
カーディアックステイムレーター	1
血圧監視装置	1
血管造影撮影装置	1
血液凝固測定装置(ACT)	1
ポリグラフ	1
X線 TV 装置(FPD)	1
手術部門システム	1
手術室映像管理システム 一式	1
フットポンプ(静脈血栓予防)	10
内視鏡外科システム 一式	1
術野カメラシステム	4
麻酔記録装置	1
全身麻酔器	1
患者加温装置	1
コンステレーションビジョンシステム LT(硝子体・白内障手術装置)	1
エンドトレーナー	1
HOPKINS II テレスコープ	1
マイクローム	1
細胞収集装置	1
自動染色装置	1
自動封入装置	1
密閉式自動固定包埋装置	1
有機溶剤再生装置	1
病理検査システム	1
医療機器安全管理システム(ME 管理システム一式)	1
生体情報モニター(ベッドサイドモニター)	14
患者加温装置	1
血液ガス分析装置	1
血液凝固測定装置(ACT)	1
経皮的補助循環装置(PCPS)	1
個人用透析装置	1

個人用純水製造装置	1
生体情報モニター(ベッドサイドモニター)	29
心電計	6
昇降式平行棒(角型支持)	1
昇降式平行棒(標準型)	1
レッグエクステンションスラッシュカール リハブ	1
レッグプレス インクライン リハブ	1
セラ・バイタル	1
渦流浴装置(上下肢用)	1
光線治療ユニット	2
機械浴装置	2
吸引娩出器	2
セントラルモニター(8ch)	7
除細動器(ペーシング機能無)	6
尿流量測定装置	4
心拍出量測定装置	1
電子カルテシステム	1
保健指導支援システム	1
外科用イメージングシステム	1
H.ピロリ呼気テスト測定用機器	1
レンズメータ	1
新生児ベッド	2
睡眠評価装置	1
バイポーラ切開凝固装置	1
モジュール型車椅子	1
AED	2
MRI 用パルスオキシメータ	1
マンモクライアント	1
超音波乳がん検診システム	1
コルポ スコープ OCS-	1
色素性疾患治療用 Q スイッチルビ-レーザー装置	1
イソ浸透式鼓膜麻酔器	1
生物顕微鏡	1
インビ-ダンスオ-ジ-オメータ	1
整形外科手術用工具 コプリ 2	1
ノンコンタクトトノメータ	1
頭部三点固定器	1

全自動血液培養装置	1
画像処理端末	1
セントラルモニター用送信機	4
救急カート	1
ライターアングルダイセ（手術用剥離鉗子）	1
清拭車	1
整形外科用バッテリーパワーシステム	1
保育器デュアルインキュベーター	1
保育器インキュベーター	1
認知機能評価支援システム	1
空気清浄機エアードッグ	3
オゾン発生装置エアフィーノ	1
クリーンパーテーション	1
睡眠評価装置 AlicePDX	1
ネーザルハイフロー	6
臨床検査室用 PCR 検査装置	1
救急外来用 PCR 検査装置	1



(5) 職員の状況

令和6年3月末現在

職 種	職員数
医師	33
臨床研修医	14
薬剤師	7
臨床検査技師	15
診療放射線技師	10
理学療法士	14
作業療法士	9
言語聴覚士	2
管理栄養士	4
栄養士	1
視能訓練士	2
臨床工学技士	2
医療技術助手	
助産師	2
看護師	122
診療看護師	
特定ケア看護師	3
保健師	2
准看護師	2
介護福祉士	11
看護助手	18
医療ソーシャルワーカー	6
精神保健福祉士	1
保育士	5
事務職員	37
クラーク	
システムエンジニア	1
感染対策室長	1
医療安全管理室長	1
合計	325

8) 委員会一覧

- 【病院管理会議】開催：毎月2回
*目的 病院の管理運営全般に関する事項を審議又は決定すること
- 【連絡調整会議】開催：毎月
*目的 部署間の連絡や調整を図ること
- 【診療体制検討委員会】開催：毎月
*目的 診療体制の運営を図ること
- 【手術室運営委員会】開催：毎月
*目的 手術室の運営と充実を図ること
- 【救急委員会】開催：隔月
*目的 救急業務について円滑な運営及び救急医療向上の推進を図ること
- 【情報委員会】開催：毎月
*目的 情報管理及び適正な運用を図ること
- 【患者サービス向上委員会】開催：毎月
*目的 患者サービスの改善及び向上を図ること
- 【広報委員会】開催：毎月
*目的 広報活動を行うための必要な事項を検討すること
- 【SPD委員会】開催：毎月
*目的 診療材料の使用及び適正な管理と効率的な運用を検討し院内で使用する診療材料の質の管理を実践すること
- 【学術委員会】開催：毎月
*目的 職員が円滑な教育・研修を行うための必要な事項を検討すること
- 【医療安全管理委員会】開催：毎月
*目的 医療安全管理体制の確立を図り、安全な医療の遂行を徹底するため、必要な事項を定めること
- 【院内感染防止対策委員会】開催：毎月
*目的 院内感染の発生を未然に防止するとともに、感染症が発生した場合は、迅速、かつ適切な対策を行うことにより、速やかに終息を図ること
- 【医療ガス安全管理委員会】開催：必要の都度
*目的 施設の医療ガス使用について安全を図ること
- 【医療放射線安全管理委員会】開催：必要の都度
*目的 施設の医療放射線について安全管理を図ること

【労働安全衛生委員会】開催：毎月

*目的 労働安全及び衛生に関する総合的対策を計画的に推進することにより、職員の職場における労働災害の防止及び健康の保持増進を図ること

【防災・災害対策委員会】開催：隔月

*目的 施設の火災防止活動及び災害時の適切な活動を推進すること

【褥瘡対策・スキンケア委員会】開催：毎月

*目的 院内褥瘡対策・スキンケアの効率的推進を図ること

【栄養管理委員会】開催：毎月

*目的 栄養業務の運営と充実を図ること

【認知症疾患医療センター運営】開催：四半期毎

*目的 認知症疾患医療センター運営と充実を図ること

【化学療法委員会】開催：隔月

*目的 化学療法を通じて患者さんの QOL の確保、医療整備上の安全性の確立を図ること

【薬事委員会】開催：隔月

*目的 医療品等の使用及び適正な管理と効率的な運用を図ること

【医師看護師負担軽減委員会】開催：隔月

*目的 医師看護師負担軽減の推進を図ること

【臨床・検体検査委員会】開催：隔月

*目的 臨床検査業務及び検体検査業務の適正な運営を図ること

【輸血療法・血液製剤委員会】開催：隔月

*目的 輸血及び血液製剤の適切な使用を図ること

【診療録管理委員会】開催：隔月

*目的 診療録等の保管・管理・記載のあり方等について円滑な運営を図ること

【保険診療委員会】開催：隔月

*目的 保険診療に関する運用を図ること

【研修管理委員会】開催：四半期毎

*目的 臨床研修病院として、医師の臨床研修実施にあたり必要なことを協議すること

【DPC コーディング委員会】開催：年 4 回

*目的 保険診療及びDPCの適正な運用を図ること

【研究審査委員会（IRB）】開催：都度

*目的 研究の審査を図ること

【臨床倫理委員会（CEC）】開催：隔月

*目的 臨床倫理に関わる運用を図ること

【緩和ケア】開催：隔月

*目的 緩和ケアの運用を図ること

【集中治療室運営委員会】開催：適宜

*目的 集中治療室の運営と充実を図ること

【リハビリテーション運営委員会】開催：適宜

*目的 ハビリテーション業務及び回復期リハビリテーション病棟の運営と充実を図ること

【保育所運営委員会】開催：適宜

*目的 職員の扶養する子弟等で、保育を要する子どものために設置する保育所の運営と充実を図ること

【機器選定購買委員会】開催：適宜

*目的 医療機器等の購入に際して、適切な機種選定及び購入を図ること

【シミュレーションセンター運営委員会】開催：適宜

*目的 シミュレーションセンターの運用について図ること

【病院機能評価委員会】開催：毎月

*目的 診療の質の向上と充実を図るため、日本医療機能評価機構の病院機能評価受審に向けての準備を図ること

巻末資料

(1) 院内合同ケースカンファレンス

院内合同ケースカンファレンスは、学術委員会が中心となり、平成27年から開催しています。以下に目的、方法、開催日、テーマを示します。

目的：医療の現場では、日々、自分の行為に対する葛藤や難しい事例に直面する。

そのような時、多職種間の意見交換による情報共通を図りつつ、多面的なアセスメントにより実践に変化をもたらすことで、有益なチーム医療の提供に貢献する。

方法：①事例提供者により、事例の詳細や問題点を提示

②それに関連する職種（スーパーバイザー）が、テーマに沿った知識の提供

③ディスカッション

開催日とテーマ：

第38回

令和5年10月2日

【アフターコロナの外来看護】

第39回

令和5年11月20日

【アフターコロナに関連すること】

第40回

令和6年1月15日

【精神疾患に関すること】

(2) 院内研究発表会

院内研究発表会は、学術委員会が中心となり、平成19年から年2回開催しています。

第35回院内研究発表会（令和5年7月29日）

演題、発表者

演題1 不同弱視の治療と訓練

医療技術部 視能訓練士 浅原さやか、菅野美穂子

演題2 当院の集中治療室におけるスキンテアの発生率と要因の分析

看護部 集中治療室 飯塚由貴

演題3 新型コロナウイルスの3年間

診療部 小児科 荒川洋一

第36回院内研究発表会（令和6年2月24日）

演題1 「当院における医師事務作業補助の現状」～当院の医師事務の業務内容について～

事務部 診療支援課 杉山美智子

演題2 嚥下調整食見直しの取り組み

医療技術部 栄養管理室 須藤優希

演題3 MDS患者が人生の締めくくりを迎えるまでのプロセス

看護部 外来 松岡あゆみ

演題4 DMAT活動報告-令和6年能登半島地震-

診療部 DMATチーム

伊東市民病院年報

Vol. 19 令和五年度

発行所 伊東市民病院

〒414-0055 伊東市岡196-1

電話 0557(37)2626

FAX 0557(35)0631

編集発行 伊東市民病院 学術委員会

印刷所 東海印刷



公益社団法人 地域医療振興協会

伊東市民病院